添 付 資 料

目　　次

添付資料－１　高浜発電所　第４号機　保全計画（第２３保全サイクル）

添付資料－１　高浜発電所　第４号機　保全計画（第２３保全サイクル）

「1.3 構築物、系統及び機器」に示された発電用原子炉施設に係る点検の実施状況等に関して、「高浜発電所　第４号機　保全計画（第２３保全サイクル)」をもとに、点検及び試験の項目、点検頻度等を示す。

高浜発電所　第４号機
保　全　計　画
（第２３保全サイクル）

施設管理の実施に関する計画

１．施設管理実施計画の始期（定期事業者検査の開始する日をいう。）及び期間

本保全計画の適用期間は、第２３回定期事業者検査開始日から次回の定期事業者検査を実施するために発電機を解列する日の前日までの期間（第２３回定期事業者検査終了以降１３ヶ月までの間※）とし、以降、この期間を第２３保全サイクルという。

ただし、この期間内に次回の定期事業者検査を実施するために発電機を解列した場合には、その前日までの期間とする。

※：この間を『実運転期間』という。

２．発電用原子炉施設の工事の方法及び時期

（１）工事の計画

ａ．蒸気発生器伝熱管補修工事：設計及び工事の計画の届出

（蒸気発生器伝熱管に有意な信号指示が認められた場合に工事計画届出予定）

○ 工事概要

蒸気発生器伝熱管の渦流探傷検査の結果、有意な信号指示が認められた場合に、蒸気発生器の健全性を確保するため、メカニカルプラグにて施栓を行う。

○ 予定時期

第２３回定期事業者検査期間中

ｂ．特定重大事故等対処施設設置工事：認可

○ 工事概要

平成２４年６月の核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の改正並びに関連規則等の改正を踏まえ、原子炉補助建屋等への故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる重大事故等に対処するために必要な施設の整備を行う。

○ 予定時期

第２３回定期事業者検査期間中（完了予定：西暦２０２０年１２月）

ｃ.高エネルギーアーク損傷対策工事：設計及び工事の計画の認可申請

○ 工事概要

高エネルギーアーク損傷に係る実用発電用原子炉及びその附属設備の技術基準に関する規則等の一部改正に伴い、非常用ディーゼル発電機に保護リレーの追加等を行う。

○ 予定時期

第２３回定期事業者検査期間中

３．発電用原子炉施設の点検、検査の方法、実施頻度及び時期

（１）点検計画

定期事業者検査中及びプラント運転中の点検について、あらかじめ保全方式を設定し、点検の方法並びにそれらの実施頻度及び時期を定めた点検計画を「高浜発電所　保修業務所則（平成５高原保所則　第２号）」に基づき策定した「保全指針」に従い策定した。また、土木建築に関する設備の点検計画については、「高浜発電所　土木建築業務所則（平成１９高原土所則　第１号）」に従い策定した。

点検計画のうち、定期事業者検査対象機器等に係る主要な点検の計画に基づく点検計画を別紙に記載する。

附帯設備も含めた各機器の詳細な点検計画は、「保全指針」に規定している。

点検計画を策定又は変更するにあたっては、保全活動から得られた情報等から、保全の有効性を評価し、保全が有効に機能していることを確認するとともに、継続的な改善につなげている。なお、保全の有効性評価は、以下の情報を適切に組み合わせて行った。

・保全活動管理指標の監視結果
・保全データの推移及び経年劣化の長期的な傾向監視の実績
・トラブルなど運転経験
・定期安全レビュー結果
・他プラントのトラブル及び経年劣化傾向に係るデータ
・リスク情報、科学的知見

４．発電用原子炉施設の工事及び点検等を実施する際に行う保安の確保のための措置

定期事業者検査に伴う停止時における保安規定の運転上の制限を遵守するための計画は、別図のとおりである。また、定期事業者検査以外の安全上重要な保守点検活動並びに留意事項等については、特にない。

別紙

点　　検　　計　　画
(第２３保全サイクル)

点検計画の記載について

１．点検計画については以下の方針に従い記載している。

（１） 記載している設備について

点検計画には発電所設備の主要機器として、以下設備を対象に記載している。

①核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第４３条の３の１４に規定する技術基準が適用される設備

a.定期事業者検査の対象となる設備

b.実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則別表第２において、設計及び工事の計画に記載が要求されている設備

なお、設計及び工事の計画において仕様が記載されていない設備については、日常の管理の中で健全性が確認でき、かつ、取替が可能な下記のものについて除外する。

(a)防保護具、現地操作時に用いる工具類

(b)一般消耗品（電池類他）

(c)一般産業品（可搬型照明、電話・ファクシミリ他）

②保全の重要度が高い設備

保全重要度が高い設備とは、以下の設備を指す。

a.安全機能の重要度が高い設備

b.供給信頼性重要度が高い設備

c.リスク重要度が高い設備

なお、アクシデントマネジメント（AM）対応設備であることにより、保全の重要度を「高」とした設備については、点検計画において「AM（対応するアクシデントマネジメント名）機器」として明示している。

（２） 記載している点検について

点検計画には上記設備の主要な点検として、以下を記載している。

・定期事業者検査に係る点検
・定期事業者検査の都度性能維持のための措置を伴う点検
・定期事業者検査に係る点検の実施頻度より短い実施頻度で行う性能維持のための措置を伴う点検
・記載対象設備において、上記に該当する点検が無い設備については主要な点検

上記以外の点検（主要機器の上記条件以外の点検や附帯設備※1の点検等）については、「高浜発電所　保修業務所則（平成５高原保所則　第２号）」に基づき策定した「保全指針」及び「高浜発電所　土木建築業務所則（平成１９高原土所則　第１号）」に定めている。

※１：附帯設備の例

（潤滑油、潤滑水、シール水、冷却設備、電源、制御回路、オリフィス、レデューサ、フローグラス　等）

（３） 保全の重要度について

「グレード分け通達（平成１８原品証通達第２号）」等の考え方に従い、「高」又は「低」のいずれかで表記している。

なお、重要度「高」及び定期事業者検査対象の設備については、保全方式として予防保全（時間基準保全、状態基準保全）を選定し、事後保全は選定していない。

（４） 保全方式について

保全方式について以下のとおり記載している。

- 時間基準保全を採用しているもの：点検頻度
- 状態基準保全を採用しているもの：ＣＢＭ
- 事後保全を採用しているもの　　：ＢＭ

（５） 点検頻度について

次の整理により「Ｆ」：保全サイクル、「Ｍ」：月、「Ｙ」：年で表記している。

- 性能維持のための措置を伴う点検及びそれに伴い実施する点検については、「Ｍ」又は「Ｙ」により表記している。なお、記載した頻度のうち「Ｍ」は、運転期間（総合負荷性能検査～解列）に対応した値を示している。
  また、複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目については、その点検頻度の最短及び最長のものを記載している。
- 供用期間中検査のように年度管理するものについては、「Ｙ」により表記している。
- 機器の分解点検時期に合わせて実施する機能・性能試験については、「Ｂ」により表記している。また、その他、性能維持のための措置を伴わない点検のうち、分解・開放点検等の性能維持のための措置を伴う点検と合わせて実施するものについても「Ｂ」※2と表記している。なお、回転機器（ポンプ、ファン等）等、本体と駆動部で構成される機器は、一方が分解点検を実施した場合においても、その後の機能・性能試験で本体と駆動部の機能・性能を確認する。
- これ以外で、性能維持のための措置を伴わない点検については、「Ｆ」※2により表記している。また、性能維持のための措置を伴わない点検であっても、当該点検が、プラント運転期間中の発電用原子炉施設の保安の確保に支障がなく、年度管理するものについては、「Ｙ」により表記している。
- このほか肉厚管理指針に従い管理する肉厚測定は、検査箇所ごとの管理となるため、本表では“肉厚管理指針による”と表記している。
- 定期的な頻度をもたずに実施する点検については、「Ｘ」により表記している。

※２：「Ｂ」「Ｆ」により表記しているものは、基本的に性能維持のための措置を予定していない点検であり、劣化進展がごく軽微なため、分解・開放点検やプラント定期事業者検査停止時期に合わせた実施管理が適しているものを対象にしている。

（６） 点検時期について

・時間基準保全の点検については、“定期事業者検査起動後”、“プラント運転中”の表現により、備考欄に実施時期を記載している。なお、これらの記載のないものについては、定期事業者検査停止中に実施することとしている。

・プラント停止（定期事業者検査）に先立ち、プラント運転中に実施する定期的な点検を「先行実施」とし、その対象設備を備考欄に明記し、区別する。

（７） 状態監視方法の記載について

・ 保全方式として状態基準保全を用いる機器については、経年劣化事象等による劣化の有無・劣化の傾向を監視する方法（状態監視技術、定例試験、巡視点検等）及びその頻度を備考欄に記載している。

・ 保全方式として時間基準保全を採用している機器については、保全をより充実する観点で採用している状態監視技術について方法・頻度を備考欄に記載している。

なお、第２３保全サイクル中に点検を実施するものについては「点検計画」に「○」※3を記載している。

また「点検計画」には、当該点検の前回実績（実施時期）※4も記載している。

※３：複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目については、本保全サイクルの中に一つでも点検の計画があれば「○」としている。

※４：複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目にあっては、最新実績を記載している。

目　次

機器又は系統名	ページ
原子炉本体	1/28
[炉心]	
[原子炉容器]	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	1/28
[燃料取扱設備]	
[使用済燃料貯蔵設備]	
[使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備]	
[燃料取替用水設備]	
原子炉冷却系統施設	3/28
[一次冷却材の循環設備]	
[主蒸気・主給水設備]	
[余熱除去設備]	
[非常用炉心冷却設備]	
[化学体積制御設備]	
[蒸気タービンの附属設備]	
[原子炉補機冷却水設備]	
[原子炉補機冷却海水設備]	
[原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置]	
計測制御系統施設	11/28
[制御材]	
[制御棒駆動装置]	
[工学的安全施設等の作動信号]	
[ほう酸注入機能を有する設備]	
[ほう素再生設備]	
[制御用空気設備]	
[その他設備]	
放射性廃棄物の廃棄施設	14/28
[気体、液体又は固体廃棄物処理設備]	
放射線管理施設	16/28
[放射線管理用計測装置]	
[換気設備]	
原子炉格納施設	20/28
[原子炉格納容器]	
[圧力低減設備その他の安全設備]	
原子力設備	23/28
[その他設備]	
原子力設備・タービン設備	23/28
[その他設備]	

機器又は系統名	ページ
蒸気タービン	23/28
[車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸]	
[調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁]	
[復水器]	
[蒸気タービンに附属する熱交換器]	
[蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備]	
[蒸気タービンに附属する管等]	
[その他設備]	
その他発電用原子炉の附属施設	27/28
[浸水防護施設]	
[常用電源設備]	
[火災防護施設]	
[非常用発電装置]	
[その他の電源装置]	
土木建築設備	28/28
プラント総合	28/28

別表－１：クラス１機器供用期間中検査１０年計画
別表－２：クラス２機器供用期間中検査１０年計画
別表－３：クラス３機器供用期間中検査１０年計画
別表－４：クラス１機器Ｎｉ基合金使用部位特別検査１０年計画
別表－５：クラス２管（原子炉格納容器内）特別検査１０年計画
別表－６：原子炉格納容器供用期間中検査１０年計画
別表－７：重大事故等クラス２機器供用期間中検査１０年計画
別表－８：重大事故等クラス３機器供用期間中検査１０年計画

１．点検計画

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考（ ）内は適用する設備診断技術）
原子炉本体［炉心］	照射済燃料集合体	※　1式	1.外観点検	高	1F	○	22回	燃料集合体外観検査	※：炉心設計による
	照射済燃料集合体（取出燃料）	※　1式	1.外観点検	高	1F	○	22回		※：炉心設計による
	燃料集合体	157体	1.外観点検（炉内配置）	高	1F	○	22回	燃料集合体炉内配置検査	
	内挿物 （１）制御棒クラスタ （２）バーナブルポイズン （３）プラギングデバイス （４）２次中性子源	※　1式	1.外観点検（炉内配置）	高	1F	○	22回	燃料集合体炉内配置検査	※：炉心設計による
	原子炉本体のうち炉心		1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	原子炉停止余裕検査 炉物理検査	定期事業者検査起動後
原子炉本体［原子炉容器］	原子炉容器		1.開放点検	高	13M	○	22回		
	制御棒クラスタ案内管支持ピン	104本	1.外観点検	高	3F	－	21回	構造健全性検査	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設［燃料取扱設備］	燃料移送装置	1式	1.機能・性能試験（リフティングフレーム）	高	1F	○	22回	燃料取扱装置機能検査	一部先行実施
			1.機能・性能試験		1F	○	22回	燃料取扱設備検査（動作・インターロック試験等）	
			2.分解点検他		39M～195M	○	22回		
	燃料取替クレーン		1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱設備検査（動作・インターロック試験等）	
			2.分解点検他		39M～195M	○	22回		
	使用済燃料ピットクレーン		1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	燃料取扱装置機能検査 １次系換気空調設備検査 燃料取扱設備検査（動作・インターロック試験等）	先行実施
			2.分解点検他		39M～195M	－	21回		
	新燃料エレベータ		1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	燃料取扱設備検査 燃料取扱設備検査（動作・インターロック試験等）	先行実施
			2.分解点検他		39M～195M	－	21回		
	燃料取扱建屋クレーン		1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	燃料取扱設備検査 燃料取扱設備検査（動作・インターロック試験等）	先行実施
			2.簡易点検(年次点検)		12M	○	22回		プラント運転中
	燃料取扱工具	1式	1.外観点検	高	1F	○	22回	燃料取扱設備検査（動作・インターロック試験等）	先行実施
	燃料仮置ラック		1.外観点検	高	1F	○	22回	燃料取扱設備検査（動作・インターロック試験等）	
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設［燃料取扱設備］その他機器	1式	1.分解点検他	高・低	13M	○	22回		先行実施
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設［使用済燃料貯蔵設備］	事故時監視計器 水位監視計器 温度監視計器	 2個 2個	1.特性試験	高	13M	○	22回	プラント状態監視設備機能検査	20回施設定検時に設置
	１次系計測制御装置	1式	1.特性試験	高	13M	○	22回	計測制御系監視機能検査	一部20回施設定検時に設置
	使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置	1式	1.機能・性能試験	高	13M	○	22回	可搬型重大事故等対処設備機能検査	20回施設定検時に設置 20回施設定期検査より追加
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設［使用済燃料貯蔵設備］その他機器	1式	1.特性試験他	高	13M	○	22回		

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考（ ）内は適用する設備診断技術）
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設［使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備］	可搬式代替低圧注水ポンプ・電動機	2台	1.機能・性能試験	高	1Y	○	22回	可搬型重大事故等対処設備機能検査	プラント運転中又は定期事業者検査停止中 20回施設定検時に設置 20回施設定期検査より追加
			2.分解点検（ポンプ）		130M	－	－		
			2.分解点検（電動機）		78M	－	－		
	消防ポンプ	72台	1.機能・性能試験	高	1Y	○	22回	可搬型重大事故等対処設備機能検査	プラント運転中又は定期事業者検査停止中 20回施設定検時に設置 20回施設定期検査より追加
			1.外観・機能試験		6M	○	22回		
	使用済燃料ピット浄化冷却設備		1.機能・性能試験(ポンプ、電動機含む)	低	1F	○	22回	使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系機能検査	
	A使用済燃料ピットポンプ・電動機		1.分解点検（ポンプ）	低	78M	－	20回		先行実施 （振動診断：３M）
			1.分解点検（電動機）		CBM	－	11回		
			2.簡易点検（潤滑油入替）		13M	○	22回		
	B使用済燃料ピットポンプ・電動機		1.分解点検（ポンプ）	低	78M	－	21回		先行実施 （振動診断：３M）
			1.分解点検（電動機）		CBM	－	12回		
			2.簡易点検（潤滑油入替）		13M	○	22回		
	A使用済燃料ピットフィルタ		1.開放点検	低	130M	－	20回		先行実施
	B使用済燃料ピットフィルタ		1.開放点検	低	130M	－	19回		先行実施
	A使用済燃料ピット冷却器		1.開放点検(管側)	低	195M	－	20回		先行実施 保全の有効性評価結果No.1の反映
			1.開放点検(胴側)		195M	－	20回		先行実施
			2.非破壊試験		195M	－	20回	1次系熱交換器検査	
	B使用済燃料ピット冷却器		1.開放点検(管側)	低	195M	－	20回		先行実施 保全の有効性評価結果No.2の反映
			1.開放点検(胴側)		195M	－	20回		先行実施
			2.非破壊試験		195M	－	20回	1次系熱交換器検査	
	C使用済燃料ピット冷却器		1.開放点検(ガスケットパッキン取替)	低	130M	○	－		13回施設定検時に設置
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設［使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備］その他の弁	1式	1.機能・性能試験	高・低	B	－	20回	1次系弁検査	
			2.分解点検		130M	○	21回	1次系弁検査 1次系逆止弁検査	一部先行実施
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設［使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備］その他の弁駆動部	1式	1.機能・性能試験	高・低	B	－	21回	1次系弁検査	
			2.分解点検		65M	－	21回		
			3.簡易点検(特性試験)		65M	－	21回		
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設［使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備］その他機器	1式	1.分解点検他	高	104M～130M	○	22回		一部先行実施
			1.分解点検他	低	13M～130M	○	22回		一部ＢＭあり 一部先行実施
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設［燃料取替用水設備］	A燃料取替用水ポンプ・電動機		1.機能・性能試験	高	B※	－	20回	1次系ポンプ機能検査	先行実施 （振動診断：３M） ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
			2.分解点検（ポンプ）		130M	－	20回		
			2.分解点検（電動機）		104M	－	20回		
			3.簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	22回		
	B燃料取替用水ポンプ・電動機		1.機能・性能試験	高	B※	－	22回	1次系ポンプ機能検査	先行実施 （振動診断：３M） ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
			2.分解点検（ポンプ）		130M	－	22回		
			2.分解点検（電動機）		104M	－	20回		
			3.簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	22回		
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設［燃料取替用水設備］その他の弁	1式	1.機能・性能試験	高	B	－	20回	1次系弁検査 1次系安全弁検査	一部先行実施
			2.分解点検		130M	○	20回	1次系弁検査	
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設［燃料取替用水設備］その他の弁駆動部	1式	1.機能・性能試験	高	B	－	16回	1次系弁検査	
			2.分解点検		182M	－	16回		
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設［燃料取替用水設備］その他機器	1式	1.分解点検他	高	65M～260M	○	22回	一部先行実施	一部先行実施
			1.分解点検他	低	104M～130M	○	22回	一部ＢＭあり 一部先行実施	一部ＢＭあり 一部先行実施

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考（ ）内は適用する設備診断技術）
原子炉冷却系統施設 ［一次冷却材の循環設備］	A蒸気発生器	伝熱管 3,244本	1.非破壊試験	高	13M	○	22回	蒸気発生器伝熱管体積検査	
			2.開放点検		13M	○	22回		
			3.簡易点検（スラッジランシング）		13M	○	22回		
			4.簡易点検（ガスケット取替他）		13M	○	22回		
	B蒸気発生器	伝熱管 3,247本	1.非破壊試験	高	13M	○	22回	蒸気発生器伝熱管体積検査	
			2.開放点検		13M	○	22回		
			3.簡易点検（スラッジランシング）		13M	○	22回		
			4.簡易点検（ガスケット取替他）		13M	○	22回		
	C蒸気発生器	伝熱管 3,256本	1.非破壊試験	高	13M	○	22回	蒸気発生器伝熱管体積検査	
			2.開放点検		13M	○	22回		
			3.簡易点検（スラッジランシング）		13M	○	22回		
			4.簡易点検（ガスケット取替他）		13M	○	22回		
	加圧器安全弁	4V-RC-055 4V-RC-056 4V-RC-057	1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	加圧器安全弁機能検査	
			2.漏えい試験		B	○	22回	加圧器安全弁漏えい検査	
			3.分解点検		13M	○	22回	加圧器安全弁分解検査	
	加圧器逃がし弁	4-PCV-454C	1.機能・性能試験（駆動部含む）	高	1F	○	22回	加圧器逃がし弁機能検査	
			2.漏えい試験		1F	○	22回	加圧器逃がし弁漏えい検査	
			3.分解点検		26M	○	21回	加圧器逃がし弁分解検査	
	加圧器逃がし弁駆動部	4-PCV-454C	1.分解点検	高	13M	○	22回		
			2.簡易点検(特性試験)		13M	○	22回		
	加圧器逃がし弁	4-PCV-455A	1.機能・性能試験（駆動部含む）	高	1F	○	22回	加圧器逃がし弁機能検査	
			2.漏えい試験		1F	○	22回	加圧器逃がし弁漏えい検査	
			3.分解点検		26M	ー	22回	加圧器逃がし弁分解検査	
	加圧器逃がし弁駆動部	4-PCV-455A	1.分解点検	高	13M	○	22回		
			2.簡易点検(特性試験)		13M	○	22回		
	加圧器逃がし弁	4-PCV-455B	1.機能・性能試験（駆動部含む）	高	1F	○	22回	加圧器逃がし弁機能検査	
			2.漏えい試験		1F	○	22回	加圧器逃がし弁漏えい検査	
			3.分解点検		26M	ー	22回	加圧器逃がし弁分解検査	
	加圧器逃がし弁駆動部	4-PCV-455B	1.分解点検	高	13M	○	22回		
			2.簡易点検(特性試験)		13M	○	22回		

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考（ ）内は適用する設備診断技術）
原子炉冷却系統施設［一次冷却材の循環設備］	加圧器逃がし弁元弁	4V-RC-054A	1.機能・性能試験（駆動部含む）	高	1F	○	22回	加圧器逃がし弁元弁機能検査	
			2.分解点検		130M	－	20回		
			3.簡易点検(グランドパッキン取替)		65M	－	20回		
	加圧器逃がし弁元弁駆動部	4V-RC-054A	１.分解点検	高	156M	－	20回		
	加圧器逃がし弁元弁	4V-RC-054B	1.機能・性能試験（駆動部含む）	高	1F	○	22回	加圧器逃がし弁元弁機能検査	
			2.分解点検		130M	－	21回		
			3.簡易点検(グランドパッキン取替)		65M	－	21回		
	加圧器逃がし弁元弁駆動部	4V-RC-054B	１.分解点検	高	156M	－	20回		
	加圧器逃がし弁元弁	4V-RC-054C	1.機能・性能試験（駆動部含む）	高	1F	○	22回	加圧器逃がし弁元弁機能検査	
			2.分解点検		130M	－	21回		
			3.簡易点検(グランドパッキン取替)		65M	－	21回		
	加圧器逃がし弁元弁駆動部	4V-RC-054C	１.分解点検	高	156M	－	20回		
	Ａ１次冷却材ポンプ・電動機		1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	１次冷却材ポンプ機能検査	一部定期事業者検査起動後
			2.分解点検（ポンプ）		130M	－	14回		
			2.分解点検（電動機）		104M	－	19回		
			2.分解点検（メカニカルシール）		13M	○	22回	１次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	
			2.分解点検（フライホイール）		104M	－	19回		
			3.簡易点検（潤滑油入替他）		26M	－	22回		
	Ｂ１次冷却材ポンプ・電動機		1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	１次冷却材ポンプ機能検査	一部定期事業者検査起動後
			2.分解点検（ポンプ）		130M	○	13回		
			2.分解点検（電動機）		104M	○	17回		
			2.分解点検（メカニカルシール）		13M	○	22回	１次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	
			2.分解点検（フライホイール）		104M	○	17回		
			3.簡易点検（潤滑油入替他）		26M	○	21回		
	Ｃ１次冷却材ポンプ・電動機		1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	１次冷却材ポンプ機能検査	一部定期事業者検査起動後
			2.分解点検（ポンプ）		130M	－	19回		
			2.分解点検（電動機）		104M	－	20回		
			2.分解点検（メカニカルシール）		13M	○	22回	１次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	
			2.分解点検（フライホイール）		104M	－	20回		
			3.簡易点検（潤滑油入替他）		26M	－	22回		
	加圧器		1.開放点検	高	39M	○	20回		
			2.簡易点検（マンホールガスケット取替）		13M	○	22回		
	原子炉冷却系統施設［一次冷却材の循環設備］その他の弁	1式	1.機能・性能試験	高	B	○	21回	１次系弁検査	
			2.分解点検		26M	○	21回	１次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設［一次冷却材の循環設備］その他の弁駆動部	1式	1.機能・性能試験	高	B	○	22回	１次系弁検査	
			2.分解点検		13M	○	22回		
			3.簡易点検（特性試験）		13M	○	22回		
	原子炉冷却系統施設［一次冷却材の循環設備］その他機器	1式	1.分解点検他	高	65M～260M	○	22回		
			1.分解点検他	低	52M～130M	○	22回		一部ＢＭあり

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考（ ）内は適用する設備診断技術）
原子炉冷却系統施設［主蒸気・主給水設備］	主蒸気安全弁	4V-MS-526A 4V-MS-527A 4V-MS-528A 4V-MS-529A 4V-MS-530A 4V-MS-531A 4V-MS-532A 4V-MS-526C 4V-MS-527C 4V-MS-528C 4V-MS-529C	1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	主蒸気安全弁機能検査	
			2.漏えい試験		B	ー	22回	主蒸気安全弁漏えい検査	
			3.分解点検		26M	ー	22回		
		4V-MS-526B 4V-MS-527B 4V-MS-528B 4V-MS-529B 4V-MS-530B 4V-MS-531B 4V-MS-532B 4V-MS-530C 4V-MS-531C 4V-MS-532C	1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	主蒸気安全弁機能検査	
			2.漏えい試験		B	○	21回	主蒸気安全弁漏えい検査	
			3.分解点検		26M	○	21回		
	主蒸気逃がし弁	4-PCV-3610 4-PCV-3620 4-PCV-3630	1.機能・性能試験（駆動部含む）	高	1F	○	22回	主蒸気逃がし弁機能検査 最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査	最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査は20回施設定期検査より追加
			2.漏えい試験		B	○	22回	主蒸気逃がし弁漏えい検査	
			3.分解点検		13M	○	22回		
	主蒸気逃がし弁駆動部	4-PCV-3610 4-PCV-3620 4-PCV-3630	1.分解点検	高	13M	○	22回		
			2.簡易点検（特性試験）		13M	○	22回		
	主蒸気隔離弁	4V-MS-533A 4V-MS-533B 4V-MS-533C	1.機能・性能試験（駆動部含む）	高	1F	○	22回	主蒸気隔離弁機能検査	
		4V-MS-533A	2.分解点検	高	39M	ー	21回	２次系弁検査	
		4V-MS-533B	2.分解点検	高	39M	○	20回	２次系弁検査	
		4V-MS-533C	2.分解点検	高	39M	ー	22回	２次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設［主蒸気・主給水設備］その他の弁	1式	1.機能・性能試験	高	B	○	22回	２次系弁検査	
			2.分解点検		52M～130M	○	22回	２次系弁検査	
			3.簡易点検（グランドパッキン取替）		65M	○	21回		
	原子炉冷却系統施設［主蒸気・主給水設備］その他の弁駆動部	1式	1.機能・性能試験	高	B	○	22回	２次系弁検査	
			2.分解点検		52M～156M	○	22回		
			3.簡易点検（特性試験）		13M～52M	○	22回		
	原子炉冷却系統施設［主蒸気・主給水設備］その他機器	1式	1.分解点検他	高	13M～195M	○	22回		
			1.分解点検他	低	130M～195M	ー	21回		一部ＢＭあり

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術）
原子炉冷却系統施設 ［余熱除去設備］	A余熱除去ポンプ・電動機		1.機能・性能試験	高	B※	－	20回	1次系ポンプ機能検査	（振動診断：1M） ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 その他原子炉注水系ポンプ分解検査は20回施設定期検査より追加
			2.分解点検（ポンプ）		78M	－	20回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
			2.分解点検（電動機）		130M	－	20回		
			3.簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	22回		
	B余熱除去ポンプ・電動機		1.機能・性能試験	高	B※	－	22回	1次系ポンプ機能検査	（振動診断：1M） ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 その他原子炉注水系ポンプ分解検査は20回施設定期検査より追加
			2.分解点検（ポンプ）		78M	－	22回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
			2.分解点検（電動機）		130M	－	20回		
			3.簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	22回		
	A余熱除去冷却器		1.開放点検	高	130M	－	18回		
			2.非破壊試験		130M	－	18回	1次系熱交換器検査	
	B余熱除去冷却器		1.開放点検	高	130M	－	17回		
			2.非破壊試験		130M	－	17回	1次系熱交換器検査	
	低圧注入系主要弁	4V-RH-041A	1.分解点検	高	130M	－	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加
	低圧注入系主要弁	4V-RH-041B	1.分解点検	高	130M	－	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加
	低圧注入系主要弁	4-PCV-601	1.分解点検	高	130M	－	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
	低圧注入系主要弁	4-PCV-611	1.分解点検	高	130M	○	18回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加
	低圧注入系主要弁	4V-SI-193A	1.分解点検	高	130M	－	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
	低圧注入系主要弁	4V-SI-193B	1.分解点検	高	130M	○	16回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加
	低圧注入系主要弁	4V-SI-202A	1.分解点検	高	130M	○	17回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加
	低圧注入系主要弁	4V-SI-202B	1.分解点検	高	130M	－	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加
	低圧注入系主要弁	4V-SI-202C	1.分解点検	高	130M	－	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加
	低圧注入系主要弁	4V-SI-203A	1.分解点検	高	130M	－	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加
	低圧注入系主要弁	4V-SI-203B	1.分解点検	高	130M	－	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加
	低圧注入系主要弁	4V-SI-203C	1.分解点検	高	130M	○	18回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加
	低圧注入系主要弁	4V-SI-208A	1.分解点検	高	130M	－	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加
	低圧注入系主要弁	4V-SI-208B	1.分解点検	高	130M	○	16回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加
	低圧注入系主要弁	4V-SI-209A	1.分解点検	高	130M	－	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加
	低圧注入系主要弁	4V-SI-209B	1.分解点検	高	130M	－	18回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加
	低圧注入系主要弁駆動部	1式	1.分解点検	高	156M	○	20回		

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考（ ）内は適用する設備診断技術）
原子炉冷却系統施設［余熱除去設備］	原子炉冷却系統施設［余熱除去設備］その他の弁	1式	1.機能・性能試験	高	B	○	22回	1次系弁検査 1次系安全弁検査	
			2.分解点検		52M～130M	○	22回	1次系弁検査	
			3.簡易点検（グランドパッキン取替）		65M～130M	○	22回		
	原子炉冷却系統施設［余熱除去設備］その他の弁駆動部	1式	1.機能・性能試験	高	B	○	22回	1次系弁検査	
			2.分解点検		52M～156M	○	22回		
			3.簡易点検（特性試験）		13M～52M	○	22回		
	原子炉冷却系統施設［余熱除去設備］その他機器	1式	1.分解点検他	高	65M～260M	○	22回		
	その他ＡＭ（代替再循環）機器	1式	1.分解点検他	高	130M～182M	○	22回	1次系弁検査	
原子炉冷却系統施設［非常用炉心冷却設備］	高圧及び低圧注入系［余熱除去設備（低圧注入機能）を含む］		1.機能・性能試験（ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む）	高	1F	○	22回	非常用炉心冷却系機能検査	
	その他原子炉注水系		1.機能・性能試験（ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む）	高	1F	○	22回	その他原子炉注水系機能検査	［対象設備］ ・Ａ高圧注入系 ・Ｂ高圧注入系（自己冷却） ・Ｃ高圧注入系（海水による電動機冷却） ・Ａ低圧注入系 ・Ｂ低圧注入系（海水による電動機冷却） 20回施設定期検査より追加
	高圧注入系主要弁	4-LCV-121D	1.分解点検	高	130M	－	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加
		4-LCV-121E	1.分解点検	高	130M	－	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加
		4V-SI-023A	1.分解点検	高	130M	－	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加
		4V-SI-023B	1.分解点検	高	130M	－	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加
		4V-SI-042A	1.分解点検	高	130M	－	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加
		4V-SI-042B	1.分解点検	高	130M	－	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加
		4V-SI-099A	1.分解点検	高	260M	－	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		4V-SI-099B	1.分解点検	高	260M	－	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		4V-SI-099C	1.分解点検	高	260M	－	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		4V-SI-048A	1.分解点検	高	260M	－	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加
		4V-SI-048B	1.分解点検	高	260M	－	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加
		4V-SI-048C	1.分解点検	高	260M	－	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加
		4V-SI-106A	1.分解点検	高	260M	－	－	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		4V-SI-106B	1.分解点検	高	260M	－	－	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		4V-SI-106C	1.分解点検	高	260M	－	－	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		4V-SI-087A	1.分解点検	高	260M	－	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		4V-SI-087B	1.分解点検	高	260M	－	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		4V-SI-087C	1.分解点検	高	260M	－	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		4V-SI-088	1.分解点検	高	130M	－	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
	高圧注入系主要弁駆動部	1式	1.分解点検	高	156M	－	20回		
	蓄圧注入系		1.機能・性能試験(弁、駆動部含む)	高	1F	○	22回	非常用炉心冷却系機能検査 その他原子炉注水系機能検査	その他原子炉注水系機能検査は20回施設定期検査より追加

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考（ ）内は適用する設備診断技術）
原子炉冷却系統施設［非常用炉心冷却設備］	蓄圧注入系主要弁	4V-SI-132A	1.分解点検	高	130M	－	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加
		4V-SI-132B	1.分解点検	高	130M	○	15回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加
		4V-SI-132C	1.分解点検	高	130M	－	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加
		4V-SI-134A	1.分解点検	高	130M	○	18回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加
		4V-SI-134B	1.分解点検	高	130M	○	17回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加
		4V-SI-134C	1.分解点検	高	130M	－	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加
		4V-SI-136A	1.分解点検	高	130M	－	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加
		4V-SI-136B	1.分解点検	高	130M	－	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加
		4V-SI-136C	1.分解点検	高	130M	－	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加
	蓄圧注入系主要弁駆動部	1式	1.分解点検	高	156M	－	20回		
	A蓄圧タンク		1.開放点検	高	130M	－	20回		
	B蓄圧タンク		1.開放点検	高	130M	－	20回		
	C蓄圧タンク		1.開放点検	高	130M	－	20回		
	ほう酸注入タンク		1.開放点検	高	130M	－	20回		
	燃料取替用水タンク		1.開放点検	高	130M	－	17回		
	格納容器再循環サンプ		1.外観点検	高	1F	○	22回		
	格納容器再循環サンプスクリーン		1.外観点検	高	10Y	－	22回	原子炉格納容器再循環サンプスクリーン検	19回施設定検時に設置
	燃料取替用水タンク補給用移送ポンプ・電動機		1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	その他原子炉注水系機能検査	20回施設定検時に設置 20回施設定期検査より追加
			2.分解点検（ポンプ）		130M	－	－	その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
			2.分解点検（電動機）		78M	－	－		
			3.簡易点検（潤滑用入替他）		13M	○	22回		
	恒設代替低圧注水系		1.機能・性能試験（ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む）	高	1F	○	22回	原子炉格納容器安全系機能検査 その他原子炉注水系機能検査	20回施設定検時に設置 その他原子炉注水系機能検査は20回施設定期検査より追加
	恒設代替低圧注水ポンプ・電動機		1.機能・性能試験	高	B	－	－		20回施設定検時に設置 その他原子炉注水系ポンプ分解検査は20回施設定期検査より追加
			2.分解点検（ポンプ）		130M	－	－	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
			2.分解点検（電動機）		78M	－	－		
			3.簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	22回		
	原子炉冷却系統施設［非常用炉心冷却設備］その他の弁	1式	1.機能・性能試験	高・低	B	○	22回	1次系弁検査 1次系安全弁検査	
			2.分解点検		52M～260M	○	22回	1次系弁検査 1次系逆止弁検査	
	原子炉冷却系統施設［非常用炉心冷却設備］その他の弁駆動部	1式	1.機能・性能試験	高	B	○	22回	1次系弁検査	
			2.分解点検		52M～182M	○	22回		
			3.簡易点検(特性試験)		13M～65M	○	22回		
	原子炉冷却系統施設［非常用炉心冷却設備］その他機器	1式	1.分解点検他	高	13M～260M	○	22回		
			1.分解点検他	低	26M～130M	○	22回		一部ＢＭあり 一部先行実施

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考（ ）内は適用する設備診断技術）
原子炉冷却系統施設［化学体積制御設備］	化学体積制御系		1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	化学体積制御系機能検査	定期事業者検査起動後
	Ａ充てん／高圧注入ポンプ・電動機		1.分解点検（ポンプ）	高	117M	－	20回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	（振動診断：3M） その他原子炉注水系ポンプ分解検査は20回施設定期検査より追加
			1.分解点検（電動機）		104M	－	22回		
			2.簡易点検（潤滑油入替他）		26M	○	22回		
	Ｂ充てん／高圧注入ポンプ・電動機		1.分解点検（ポンプ）	高	117M	－	20回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	（振動診断：3M） その他原子炉注水系ポンプ分解検査は20回施設定期検査より追加
			1.分解点検（電動機）		104M	－	21回		
			2.簡易点検（潤滑油入替他）		26M	○	21回		
	Ｃ充てん／高圧注入ポンプ・電動機		1.分解点検（ポンプ）	高	117M	－	20回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	（振動診断：3M） その他原子炉注水系ポンプ分解検査は20回施設定期検査より追加
			1.分解点検（電動機）		104M	○	20回		
			2.簡易点検（潤滑油入替他）		26M	○	22回		
	体積制御タンク		1.開放点検	高	130M	－	18回		
	冷却材フィルタ		1.開放点検	高	130M	－	20回		
	Ａ冷却材脱塩塔入口フィルタ		1.開放点検	高	130M	－	20回		先行実施
	Ｂ冷却材脱塩塔入口フィルタ		1.開放点検	高	130M	－	20回		先行実施
	非再生冷却器		1.開放点検(管側)	高	130M	－	20回		
			1.開放点検(胴側)		195M	－	20回		
			2.非破壊試験		130M	－	20回	１次系熱交換器検査	
	その他原子炉注水系主要弁	4V-CS-218	1.分解点検	高	130M	○	17回	その他原子炉注水系主要弁分解検査	20回施設定期検査より追加
		4V-CS-219	1.分解点検	高	130M	○	17回	その他原子炉注水系主要弁分解検査	20回施設定期検査より追加
		4V-CS-233	1.分解点検	高	130M	－	19回	その他原子炉注水系主要弁分解検査	20回施設定期検査より追加
		4V-CS-234	1.分解点検	高	130M	－	19回	その他原子炉注水系主要弁分解検査	20回施設定期検査より追加
	原子炉冷却系統施設［化学体積制御設備］その他の弁	1式	1.機能・性能試験	高	B	○	22回	１次系弁検査 １次系安全弁検査	
			2.分解点検	高・低	13M～260M	○	22回	１次系弁検査 １次系逆止弁検査	一部先行実施
	原子炉冷却系統施設［化学体積制御設備］その他の弁駆動部	1式	1.機能・性能試験	高	B	○	22回	１次系弁検査	
			2.分解点検		13M～156M	○	22回		
			3.簡易点検(特性試験)	高・低	13M～65M	○	22回		
	原子炉冷却系統施設［化学体積制御設備］その他機器	1式	1.分解点検他	高	13M～260M	○	22回		一部先行実施
			1.分解点検他	低	26M～130M	○	22回		一部ＢＭあり 一部先行実施
原子炉冷却系統施設［蒸気タービンの附属設備］	補助給水系		1.機能・性能試験（ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む）	高	1F	○	22回	補助給水系機能検査	
	Ａ電動補助給水ポンプ・電動機		1.分解点検（ポンプ）	高	130M	－	21回	補助給水系ポンプ分解検査	（振動診断：1M）
			1.分解点検（電動機）		104M	○	15回		
			2.簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	22回		
	Ｂ電動補助給水ポンプ・電動機		1.分解点検（ポンプ）	高	130M	－	22回	補助給水系ポンプ分解検査	（振動診断：1M）
			1.分解点検（電動機）		104M	－	22回		
			2.簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	22回		
	タービン動補助給水ポンプ		1.機能・性能試験	高	B	○	20回	２次系ポンプ機能検査	
			2.分解点検		52M	○	20回	補助給水系ポンプ分解検査	駆動部のタービン含む
			3.簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	22回		
	原子炉冷却系統施設［蒸気タービンの附属設備］その他の弁	1式	1.機能・性能試験	高	B	○	21回	２次系弁検査	
			2.分解点検		52M～130M	○	21回	２次系弁検査	
			3.簡易点検（グランド入替）		52M	○	20回		
	原子炉冷却系統施設[蒸気タービンの附属設備]その他の弁駆動部	1式	1.機能・性能試験	高	B	○	22回		
			2.分解点検		52M～156M	○	22回		
			3.簡易点検		13M～26M	○	22回		
	原子炉冷却系統施設［蒸気タービンの附属設備］その他機器	1式	1.分解点検他	高	156M	－	21回		一部20回施設定検時に設置
			1.分解点検他	低	13M～130M	○	22回		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考（ ）内は適用する設備診断技術）
原子炉冷却系統施設［原子炉補機冷却水設備］	原子炉補機冷却系	1.機能・性能試験(弁、駆動部含む)	高	1F	○	22回	原子炉補機冷却系機能検査	
	A原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	B※	○	22回	1次系ポンプ機能検査	（振動診断：3M） ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2.分解点検（ポンプ）		130M	○	18回		
		2.分解点検（電動機）		104M	－	22回		
		3.簡易点検（潤滑油入替他）		26M	－	22回		
	B原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	B※	－	20回	1次系ポンプ機能検査	（振動診断：3M） ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2.分解点検（ポンプ）		130M	－	20回		
		2.分解点検（電動機）		104M	－	20回		
		3.簡易点検（潤滑油入替他）		26M	○	22回		
	C原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	B※	－	20回	1次系ポンプ機能検査	（振動診断：12M） ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2.分解点検（ポンプ）		130M	－	19回		
		2.分解点検（電動機）		104M	－	20回		
		3.簡易点検（潤滑油入替他）		26M	○	22回		
	D原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	B※	○	20回	1次系ポンプ機能検査	（振動診断：3M） ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2.分解点検（ポンプ）		130M	－	20回		
		2.分解点検（電動機）		104M	○	20回		
		3.簡易点検（潤滑油入替他）		26M	○	22回		
	E原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	B※	－	21回	1次系ポンプ機能検査	（振動診断：3M） ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2.分解点検（ポンプ）		130M	－	20回		
		2.分解点検（電動機）		104M	－	21回		
		3.簡易点検（潤滑油入替他）		26M	○	22回		
	A原子炉補機冷却水冷却器	1.開放点検	高	13M	○	22回		
		2.非破壊試験		13M	○	22回	1次系熱交換器検査	
		3.漏えい試験		1F	○	22回		
		4.機能・性能試験		※X	－	22回	原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事機能・性能事業者検査	※：1次系熱交換器検査結果にて有意な信号指示が認められた場合に実施
		5.開放点検		※X	－	21回	原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事構造・強度事業者検査	
	B原子炉補機冷却水冷却器	1.開放点検	高	13M	○	22回		
		2.非破壊試験		13M	○	22回	1次系熱交換器検査	
		3.漏えい試験		1F	○	22回		
		4.機能・性能試験		※X	－	22回	原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事機能・性能事業者検査	※：1次系熱交換器検査結果にて有意な信号指示が認められた場合に実施
		5.開放点検		※X	－	21回	原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事構造・強度事業者検査	
	C原子炉補機冷却水冷却器	1.開放点検	高	13M	○	22回		
		2.非破壊試験		13M	○	22回	1次系熱交換器検査	
		3.漏えい試験		1F	○	22回		
		4.機能・性能試験		※X	－	22回	原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事機能・性能事業者検査	※：1次系熱交換器検査結果にて有意な信号指示が認められた場合に実施
		5.開放点検		※X	－	21回	原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事構造・強度事業者検査	
	D原子炉補機冷却水冷却器	1.開放点検	高	13M	○	22回		
		2.非破壊試験		13M	○	22回	1次系熱交換器検査	
		3.漏えい試験		1F	○	22回		
		4.機能・性能試験		※X	－	22回	原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事機能・性能事業者検査	※：1次系熱交換器検査結果にて有意な信号指示が認められた場合に実施
		5.開放点検		※X	－	21回	原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事構造・強度事業者検査	
	原子炉補機冷却水サージタンク	1.開放点検	高	130M	－	20回		
	原子炉補機冷却水サージタンクバキュームリリーフ弁	1.分解点検	高	130M	－	20回	1次系真空破壊弁検査	
	可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ　2台	1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	可搬型重大事故等対処設備機能検査	20回施設定検時に設置 20回施設定期検査より追加

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考（ ）内は適用する設備診断技術）
原子炉冷却系統施設［原子炉補機冷却水設備］	原子炉冷却系統施設［原子炉補機冷却水設備］その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	22回	1次系弁検査 1次系安全弁検査	
			2. 分解点検		130M	○	22回	1次系弁検査 1次系逆止弁検査	
	原子炉冷却系統施設［原子炉補機冷却水設備］その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験	高	B	－	21回	1次系弁検査	
			2. 分解点検		65M～156M	－	21回		
			3. 簡易点検（特性試験）		13M～65M	○	22回		
	原子炉冷却系統施設［原子炉補機冷却水設備］その他機器	1式	1. 分解点検他	高	13M～260M	○	22回		
			1. 分解点検他	低	65M～206M	○	22回		一部ＢＭあり
原子炉冷却系統施設［原子炉補機冷却海水設備］	原子炉補機冷却海水系		1. 機能・性能試験（弁、駆動部含む）	高	1F	○	22回	原子炉補機冷却系機能検査	
	Ａ海水ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	高	B※	○	20回	２次系ポンプ機能検査	先行実施 （振動診断：3M（対象：電動機）） ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
			2. 分解点検（ポンプ）		52M	○	20回	２次系ポンプ分解検査	
			2. 分解点検（電動機）		104M	○	20回		
			3. 簡易点検（潤滑油入替）		26M	○	21回		
	Ｂ海水ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	高	B※	－	22回	２次系ポンプ機能検査	先行実施 （振動診断：3M（対象：電動機）） ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
			2. 分解点検（ポンプ）		52M	－	22回	２次系ポンプ分解検査	
			2. 分解点検（電動機）		104M	－	22回		
			3. 簡易点検（潤滑油入替）		26M	－	22回		
	Ｃ海水ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	高	B※	－	22回	２次系ポンプ機能検査	先行実施 （振動診断：3M（対象：電動機）） ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
			2. 分解点検（ポンプ）		39M	－	21回	２次系ポンプ分解検査	
			2. 分解点検（電動機）		104M	－	22回		
			3. 簡易点検（潤滑油入替）		26M	○	21回		
	原子炉冷却系統施設［原子炉補機冷却海水設備］その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高	B	－	20回		
			2. 分解点検		117M	○	21回	２次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設［原子炉補機冷却海水設備］その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験	高	B	○	22回		
			2. 分解点検		117M	○	22回		
	原子炉冷却系統施設［原子炉補機冷却海水設備］その他機器	1式	1. 分解点検他	高	13M～195M	○	22回		
			1. 分解点検他	低	13M～130M	○	22回		一部ＢＭあり
原子炉冷却系統施設［原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置］	格納容器サンプ、格納容器内凝縮液量測定装置に係る設備	1式	1. 機能・性能試験	高	1F	○	22回	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検出器機能検査	
			2. 特性試験		13M	○	22回	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検出器機能検査	
計測制御系統施設［制御材］	照射済制御棒クラスタ	※　1式	1. 外観点検	高	1F	○	22回	制御棒クラスタ検査	※：炉心設計による
	照射済バーナブルポイズン	※　1式	1. 外観点検	高	1F	○	22回	制御棒クラスタ検査	※：炉心設計による
	照射済プラギングデバイス	※　1式	1. 外観点検	高	1F	○	22回	制御棒クラスタ検査	※：炉心設計による
	照射済２次中性子源	※　1式	1. 外観点検	高	1F	○	22回	制御棒クラスタ検査	※：炉心設計による
計測制御系統施設［制御棒駆動装置］	制御棒クラスタ	計48本	1. 機能・性能試験	高	1F	○	22回	制御棒駆動系機能検査 制御棒クラスタ動作検査	
	Ａ制御棒駆動装置ＭＧセット（発電機・電動機）		1. 機能・性能試験	高	B※	○	20回		（振動診断：3M） ※発電機または電動機の分解点検に合わせて実施
			2. 分解点検（発電機）		78M	○	20回		
			2. 分解点検（電動機）		CBM	－	15回		
			3. 簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	22回		
	Ｂ制御棒駆動装置ＭＧセット（発電機・電動機）		1. 機能・性能試験	高	B※	－	21回		（振動診断：3M） ※発電機または電動機の分解点検に合わせて実施
			2. 分解点検（発電機）		78M	－	21回		
			2. 分解点検（電動機）		CBM	－	17回		
			3. 簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	22回		
計測制御系統施設［工学的安全施設等の作動信号］	ＡＴＷＳ緩和設備	1式	1. 機能・性能試験	高	13M	○	22回	重大事故時安全停止回路機能検査	20回施設定検時に設置 20回施設定期検査より追加
			2. 特性試験		13M	○	22回	重大事故時安全停止回路機能検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考（ ）内は適用する設備診断技術）
計測制御系統施設［ほう酸注入機能を有する設備］	Aほう酸ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	B※	－	22回	ほう酸ポンプ機能検査	（振動診断：1M）※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2.分解点検（ポンプ）		78M	－	20回	ほう酸ポンプ分解検査	
		2.分解点検（電動機）		78M	－	22回		
		3.簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	22回		
	Bほう酸ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	B※	○	20回	ほう酸ポンプ機能検査	（振動診断：1M）※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2.分解点検（ポンプ）		78M	－	20回	ほう酸ポンプ分解検査	
		2.分解点検（電動機）		78M	○	20回		
		3.簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	22回		
	Cほう酸ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	B※	－	20回	ほう酸ポンプ機能検査	（振動診断：1M）※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2.分解点検（ポンプ）		78M	－	20回	ほう酸ポンプ分解検査	
		2.分解点検（電動機）		78M	－	20回		
		3.簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	22回		
	Ａ１次系補給水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※	－	21回	１次系ポンプ機能検査	（振動診断：6M（対象：ポンプ））※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2.分解点検（ポンプ）		CBM	－	7回		
		2.分解点検（電動機）		78M	－	21回		
		3.簡易点検（潤滑油入替）		26M	－	22回		
	Ｂ１次系補給水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※	－	20回	１次系ポンプ機能検査	（振動診断：6M（対象：ポンプ））※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2.分解点検（ポンプ）		CBM	－	8回		
		2.分解点検（電動機）		78M	－	20回		
		3.簡易点検（潤滑油入替）		26M	○	21回		
	Aほう酸タンク	1.開放点検	高	195M	－	11回		
	Bほう酸タンク	1.開放点検	高	195M	－	9回		
	Aほう酸タンクアトモス弁	1.分解点検	高	130M	－	20回	１次系真空破壊弁検査	
	Aほう酸タンクバキュームリリーフ弁	1.分解点検	高	130M	－	20回	１次系真空破壊弁検査	
	Bほう酸タンクアトモス弁	1.分解点検	高	130M	－	20回	１次系真空破壊弁検査	
	Bほう酸タンクバキュームリリーフ弁	1.分解点検	高	130M	－	20回	１次系真空破壊弁検査	
	１次系純水タンク	1.開放点検	低	195M	－	14回		
	１次系純水タンクアトモス弁	1.分解点検	低	130M	－	20回	１次系真空破壊弁検査	
	１次系純水タンクバキュームリリーフ弁	1.分解点検	低	130M	－	20回	１次系真空破壊弁検査	
	ほう酸フィルタ	1.開放点検	高	130M	－	20回		
	計測制御系統施設［ほう酸注入機能を有する設備］その他の弁 1式	1.機能・性能試験	高・低	B	－	22回	１次系弁検査 １次系安全弁検査	一部先行実施
		2.分解点検		104M～130M	○	22回	１次系弁検査 １次系逆止弁検査	
	計測制御系統施設［ほう酸注入機能を有する設備］その他の弁駆動部 1式	1.機能・性能試験	高	B	－	20回	１次系弁検査	
		2.分解点検		156M	－	20回		
	計測制御系統施設［ほう酸注入機能を有する設備］その他機器 1式	1.分解点検他	高	26M～221M	○	22回		
		1.分解点検他	低	195M	－	20回		一部ＢＭあり
計測制御系統施設［ほう素再生設備］	ほう素熱再生抽出水冷却器	1.開放点検(管側)	高	130M	－	17回		先行実施
		1.開放点検(胴側)		195M	－	21回		
		2.非破壊試験		130M	－	17回	１次系熱交換器検査	
	ほう素熱再生再熱器	1.開放点検(管側)	高	130M	－	17回		
		1.開放点検(胴側)		195M	－	21回		
		2.非破壊試験		130M	－	17回	１次系熱交換器検査	
	ほう素熱再生前置熱交換器	1.開放点検(管側)	高	130M	－	21回		先行実施
		1.開放点検(胴側)		195M	－	21回		
		2.非破壊試験		130M	－	21回	１次系熱交換器検査	
	計測制御系統施設［ほう素再生設備］その他の弁 1式	1.機能・性能試験	高・低	B	○	22回	１次系安全弁検査	
		2.分解点検		104M～130M	○	22回	１次系弁検査 １次系逆止弁検査	
	計測制御系統施設［ほう素再生設備］その他機器 1式	1.分解点検他	高	104M～130M	－	21回		一部先行実施
		1.分解点検他	低	156M	－	17回		一部ＢＭあり

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考（ ）内は適用する設備診断技術）
計測制御系統施設［制御用空気設備］	格納容器外制御用空気圧縮機	2台	1.機能・性能試験(圧縮機、電動機含む)	高	1F	○	22回	制御用空気圧縮系機能検査	
	A格納容器外制御用空気圧縮機・電動機		1.分解点検（圧縮機）	高	26M	○	21回		（振動診断：３Ｍ（対象：電動機））
			1.分解点検（電動機）		CBM	－	13回		
			2.簡易点検（Vベルト調整他）		26M	－	22回		
			2.簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	22回		
	B格納容器外制御用空気圧縮機・電動機		1.分解点検（圧縮機）	高	26M	－	22回		（振動診断：３Ｍ（対象：電動機））
			1.分解点検（電動機）		CBM	－	14回		
			2.簡易点検（Ｖベルト調整他）		26M	○	21回		
			2.簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	22回		
	格納容器内制御用空気圧縮機	2台	1.機能・性能試験(圧縮機、電動機含む)	高	1F	○	22回	制御用空気圧縮系機能検査	
	A格納容器内制御用空気圧縮機・電動機		1.分解点検（圧縮機）	高	26M	○	21回		（振動診断：３Ｍ（対象：電動機））
			1.分解点検（電動機）		78M	－	21回		
			2.簡易点検（Vベルト調整他）		26M	－	22回		
			2.簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	22回		
	B格納容器内制御用空気圧縮機・電動機		1.分解点検（圧縮機）	高	26M	－	22回		（振動診断：３Ｍ（対象：電動機））
			1.分解点検（電動機）		78M	○	20回		
			2.簡易点検（Vベルト調整他）		26M	○	21回		
			2.簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	22回		
	計測制御系統施設［制御用空気設備］その他の弁	1式	1.機能・性能試験	高	B	－	22回	１次系安全弁検査	
			2.分解点検		130M～195M	○	22回	１次系逆止弁検査	
	計測制御系統施設［制御用空気設備］その他の弁駆動部	1式	1.分解点検	高	156M	－	22回		
	計測制御系統施設［制御用空気設備］その他機器	1式	1.分解点検他	高	13M～260M	○	22回		
			1.分解点検他	低	13M～260M	○	22回		一部ＢＭあり
計測制御系統施設［その他設備］	1.原子炉保護系ロジック回路 2.安全防護系ロジック回路	34回路 26回路	1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	安全保護系機能検査	
	1.原子炉施設保安規定に定める原子炉トリップ、工学的安全施設の始動、原子炉格納容器隔離等を行うためのすべての伝送器、設定器及び保護継電器 (1)１次冷却材等計測装置 伝送器 設定器 保護継電器 (2)核計測装置 設定器 2.重要な指示計器 (1)１次冷却材等計測装置 (2)核計測装置	 78個 144個 42個 20個 31個 8個	1.特性試験	高・低	13M	○	22回	安全保護系設定値確認検査	
	事故時監視計器 圧力監視計器 水位監視計器 流量監視計器 温度監視計器	 6個 20個 13個 8個	1.特性試験	高	13M	○	22回	プラント状態監視設備機能検査	一部20回施設定検時に設置
	事故時試料採取設備 格納容器ガス試料採取系統設備	1台	1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	プラント状態監視設備機能検査	
	計測制御系統施設　破壊板	4台	1.分解点検	高	130M	－	17回	１次系破壊板検査	
	1.制御棒制御系 2.加圧器水位制御系 3.加圧器圧力制御系 4.蒸気発生器水位制御系	1式	1.特性試験	高・低	13M	○	22回		
			2.機能・性能試験	高	1F	○	22回	計測制御系機能検査	一部定期事業者検査起動後
	１次系及び２次系計測制御装置	1式	1.特性試験	高・低	13M	○	22回	計測制御系監視機能検査	一部定期事業者検査起動後

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術）
計測制御系統施設 ［その他設備］	炉外核計測装置 中性子源領域計測装置 中間領域計測装置 出力領域計測装置	 2台 2台 8台	1.特性試験	高	13M	○	22回	核計装設備検査	一部定期事業者検査起動後
	炉内核計装装置	1式	1.機能・性能試験	高・低	26M	○	22回	核計装設備検査	
			2.分解点検		26M	○	22回		
			3.簡易点検（特性試験）		13M	○	22回		
	炉内計装用シンブルチューブ	50本	1.非破壊試験	高	52M	○	20回	炉内計装用シンブルチューブ体積検査	
	制御棒位置指示装置	1式	1.特性試験	高	13M	○	22回	制御棒位置指示装置設定値検査	
	1.パーミッシブロジック回路 原子炉保護系 2.パーミッシブロジック回路 安全防護系	 5回路 3回路	1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	安全保護系機能検査	
	総合インターロック 1.タービントリップによる原子炉、発電機トリップ回路 2.発電機トリップによる原子炉、タービントリップ回路 3.原子炉トリップによるタービン、発電機トリップ回路	1式	1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	総合インターロック検査	
	原子炉の停止制御回路	1式	1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	原子炉の停止制御回路健全性確認検査	
	可搬型格納容器ガス試料圧縮装置	2台	1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	可搬型重大事故等対処設備機能検査	20回施設定検時に設置 20回施設定期検査より追加
	計測制御系統施設［その他設備］その他の弁	1式	1.機能・性能試験	高・低	B	○	22回	1次系弁検査 1次系安全弁検査	
			2.分解点検		78M～260M	○	22回	1次系弁検査 1次系逆止弁検査	
	計測制御系統施設［その他設備］その他の弁駆動部	1式	1.機能・性能試験	高・低	B	○	21回	1次系弁検査	
			2.分解点検		65M～156M	○	21回		
			3.簡易点検(特性試験)		65M～130M	○	21回		
	計測制御系統施設［その他設備］その他機器	1式	1.分解点検他	高	13M～260M	○	22回		一部先行実施 保全の有効性評価結果No.4､5の反映
			1.分解点検他	低	12M～260M	○	22回		一部先行実施 一部ＢＭあり 保全の有効性評価結果No.3､6､7､8､9の反映
放射性廃棄物の廃棄施設 ［気体、液体又は固体廃棄物処理設備］	ほう酸回収装置	1基	1.機能・性能試験	低	1F	○	22回	液体廃棄物処理系機能検査	先行実施
	ほう酸回収装置（弁、機器）	1式	1.分解点検他	低	65M～130M	○	22回		先行実施
			2.簡易点検（ガスケットパッキン取替）		130M	－	22回		
	Ａ補助建屋冷却材ドレンポンプ・電動機		1.機能・性能試験	低	B※	－	20回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 （振動診断：４Ｍ（対象：ポンプ）） ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
			2.分解点検（ポンプ）		CBM	－	20回		
			2.分解点検（電動機）		117M	－	20回		
			3.簡易点検（潤滑油入替）		39M	－	21回		
	Ｂ補助建屋冷却材ドレンポンプ・電動機		1.機能・性能試験	低	B※	－	20回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 （振動診断：４Ｍ（対象：ポンプ）） ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
			2.分解点検（ポンプ）		CBM	－	15回		
			2.分解点検（電動機）		117M	－	20回		
			3.簡易点検（潤滑油入替）		39M	－	22回		
	Ａほう酸回収装置給水ポンプ・電動機		1.機能・性能試験	低	B※	－	22回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 （振動診断：４Ｍ（対象：ポンプ）） ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
			2.分解点検（ポンプ）		CBM	－	19回		
			2.分解点検（電動機）		130M	－	22回		
			3.簡易点検（潤滑油入替）		39M	－	21回		
	Ｂほう酸回収装置給水ポンプ・電動機		1.機能・性能試験	低	B※	－	21回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 （振動診断：４Ｍ（対象：ポンプ）） ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
			2.分解点検（ポンプ）		CBM	－	21回		
			2.分解点検（電動機）		130M	－	20回		
			3.簡易点検（潤滑油入替）		39M	－	22回		
	Ａ補助建屋サンプポンプ・電動機		1.機能・性能試験	低	B※	－	22回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
			2.分解点検（ポンプ）		260M	－	21回		
			2.分解点検（電動機）		143M	－	22回		
	Ｂ補助建屋サンプポンプ・電動機		1.機能・性能試験	低	B※	－	20回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
			2.分解点検（ポンプ）		260M	－	20回		
			2.分解点検（電動機）		143M	－	20回		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考（ ）内は適用する設備診断技術）
放射性廃棄物の廃棄施設［気体、液体又は固体廃棄物処理設備］	A補助建屋機器ドレンタンクポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※	○	22回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2.分解点検（ポンプ）		260M	－	22回		
		2.分解点検（電動機）		143M	○	17回		
	B補助建屋機器ドレンタンクポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※	－	20回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2.分解点検（ポンプ）		260M	－	20回		
		2.分解点検（電動機）		143M	－	20回		
	A格納容器冷却材ドレンポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※	○	21回	液体廃棄物処理系設備検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2.分解点検（ポンプ）		26M	○	21回		
		2.分解点検（電動機）		78M	－	20回		
		3.簡易点検（潤滑油入替）		13M	○	22回		
	B格納容器冷却材ドレンポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※	－	22回	液体廃棄物処理系設備検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2.分解点検（ポンプ）		26M	－	22回		
		2.分解点検（電動機）		78M	－	20回		
		3.簡易点検（潤滑油入替）		13M	○	22回		
	A格納容器サンプポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※	－	22回	液体廃棄物処理系設備検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2.分解点検（ポンプ）		52M	－	22回		
		2.分解点検（電動機）		52M	－	22回		
	B格納容器サンプポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※	○	20回	液体廃棄物処理系設備検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2.分解点検（ポンプ）		52M	○	20回		
		2.分解点検（電動機）		52M	○	20回		
	A廃液給水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※	－	20回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 （振動診断：４M（対象：ポンプ）） ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2.分解点検（ポンプ）		CBM	－	8回		
		2.分解点検（電動機）		117M	－	20回		
		3.簡易点検（潤滑油入替）		26M	－	22回		
	B廃液給水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※	－	20回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 （振動診断：４M（対象：ポンプ）） ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2.分解点検（ポンプ）		CBM	－	5回		
		2.分解点検（電動機）		117M	－	20回		
		3.簡易点検（潤滑油入替）		26M	○	21回		
	C廃液給水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※	－	20回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 （振動診断：４M（対象：ポンプ）） ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2.分解点検（ポンプ）		CBM	－	7回		
		2.分解点検（電動機）		117M	－	20回		
		3.簡易点検（潤滑油入替）		26M	○	21回		
	液体廃棄物貯蔵設備及び処理設備の漏えい防止に係る警報機能 1式	1.特性試験	低	13M	○	22回	液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の警報機能検査	先行実施
		2.機能・性能試験		1F	○	22回	液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の警報機能検査	
	使用済樹脂スルースポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※	－	20回	固体廃棄物処理系設備検査	先行実施 （振動診断：６M（対象：ポンプ）） ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2.分解点検（ポンプ）		CBM	－	3回		
		2.分解点検（電動機）		117M	－	20回		
		3.簡易点検（潤滑油入替）		39M	－	21回		
	放射性廃棄物の廃棄施設［気体、液体又は固体廃棄物処理設備］その他の弁 1式	1.機能・性能試験	低	B	○	20回	１次系安全弁検査	
		2.分解点検	高・低	130M～260M	○	22回	１次系逆止弁検査 １次系真空破壊弁検査	一部先行実施
	放射性廃棄物の廃棄施設［気体、液体又は固体廃棄物処理設備］その他機器 1式	1.分解点検他	高	65M～260M	○	22回		
		1.分解点検他	低	13M～208M	○	22回		一部ＢＭあり 一部先行実施

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考（ ）内は適用する設備診断技術）
放射線管理施設［放射線管理用計測装置］	格納容器内高レンジエリアモニタ 4個	1.特性試験	高	13M	○	22回	エリアモニタ機能検査	
	格納容器排気筒ガスモニタ(4R－21)	1.機能・性能試験	高	1F	○	22回		
		2.特性試験		13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	補助建屋排気筒ガスモニタ(4R－26)	2.特性試験	高	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	格納容器じんあいモニタ(4R－40)	1.機能・性能試験	低	1F	○	22回		
		2.特性試験		13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	格納容器ガスモニタ（4R－41）	1.機能・性能試験	低	1F	○	22回		
		2.特性試験		13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	復水器空気抽出器ガスモニタ（4R－43）	1.機能・性能試験	高	1F	○	22回		
		2.特性試験		13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後
	安全補機室排気ガスモニタ（4R－46）	1.機能・性能試験	低	1F	○	22回		
		2.特性試験		13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	一般補機室排気ガスモニタ（4R－48A）	1.特性試験	低	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	一般補機室排気ガスモニタ（4R－48B）	1.特性試験	低	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	使用済燃料ピット排気ガスモニタ(4R－49)	1.特性試験	低	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	建屋内漏洩検知ガスモニタB(4R－50B)	1.特性試験	低	13M	○	22回		
	蒸気発生器ブローダウン水モニタ（4R－55）	1.機能・性能試験	高	1F	○	22回		
		2.特性試験		13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後
	原子炉補機冷却水モニタ（4R－56）	1.機能・性能試験	低	1F	○	22回		
		2.特性試験		13M	○	22回		
	補助蒸気復水モニタ（4R－57）	1.機能・性能試験	低	1F	○	22回		
		2.特性試験		13M	○	22回		
	タービンサンプ水モニタ（4R－58）	1.機能・性能試験	低	1F	○	22回		
		2.特性試験		13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	１次系建屋基礎湧水モニタ（4R－59）	1.機能・性能試験	低	1F	○	22回		
		2.特性試験		13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	Ａ高感度型主蒸気管モニタ（4R－65）	1.特性試験	高	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後
	Ｂ高感度型主蒸気管モニタ（4R－66）	1.特性試験	高	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後
	Ｃ高感度型主蒸気管モニタ（4R－67）	1.特性試験	高	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後
	１次冷却材連続モニタ（4R－70）	1.特性試験	低	13M	○	22回		
	ほう酸蒸留水モニタ（4R－71）	1.機能・性能試験	低	1F	○	22回		
		2.特性試験		13M	○	22回		
	格納容器排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)（4R－80A）	1.特性試験	高	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	格納容器排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)（4R－80B）	1.特性試験	高	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	補助建屋排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)（4R－81A）	1.特性試験	高	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	補助建屋排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)（4R－81B）	1.特性試験	高	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	Ａ主蒸気管モニタ（4R－87）	1.特性試験	高	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	Ｂ主蒸気管モニタ（4R－88）	1.特性試験	高	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	Ｃ主蒸気管モニタ（4R－89）	1.特性試験	高	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	格納容器内エアロック区域エリアモニタ（4R－2）	1.特性試験	低	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	Ａ充てんポンプ室エリアモニタ（4R－4A）	1.特性試験	低	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	Ｂ充てんポンプ室エリアモニタ（4R－4B）	1.特性試験	低	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	Ｃ充てんポンプ室エリアモニタ（4R－4C）	1.特性試験	低	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	使用済燃料ピット区域エリアモニタ（4R－5）	1.特性試験	低	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	炉内計装区域エリアモニタ（4R－7）	1.特性試験	低	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	格納容器内オペレーティングフロアエリアモニタ（4R－10）	1.特性試験	低	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	可搬式使用済燃料ピット区域周辺エリアモニタ 2台	1.特性試験	高	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	プラント運転中又は定期事業者検査停止中20回施設定検時に設置
	放射線管理施設［放射線管理用計測装置］その他の弁 1式	1.分解点検	高	130M	－	22回	１次系弁検査	
	放射線管理施設［放射線管理用計測装置］その他機器 1式	1.分解点検他	高	13M	○	22回		
		1.分解点検他	低	13M	○	22回		一部ＢＭあり

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術）
放射線管理施設 ［換気設備］	A格納容器排気フィルタユニット	1.機能・性能試験	低	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2.開放点検		4F	－	20回		
	B格納容器排気フィルタユニット	1.機能・性能試験	低	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2.開放点検		4F	－	20回		
	A格納容器空気浄化フィルタユニット	1.機能・性能試験	低	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	
		2.開放点検		4F	－	20回		
	B格納容器空気浄化フィルタユニット	1.機能・性能試験	低	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	
		2.開放点検		4F	－	20回		
	中央制御室非常用循環系（A系列）	1.機能・性能試験 （ファン、電動機、弁、弁駆動部等含む）	高	1F	－	23回※	中央制御室非常用循環系機能検査	3号設備 ※：3号での実績
	中央制御室非常用循環系（B系列）	1.機能・性能試験 （ファン、電動機、弁、弁駆動部等含む）	高	1F	○	22回	中央制御室非常用循環系機能検査	
	中央制御室非常用循環フィルタユニット（A系列）	1.よう素フィルタ性能検査（よう素除去効率検査）	高	1F	－	23回※	中央制御室非常用循環系フィルター性能検査	3号設備 ※：3号での実績
		1.よう素フィルタ性能検査（漏えい率検査）		1F	－	23回※	中央制御室非常用循環系フィルター性能検査	
		2.機能・性能試験		1F	－	23回※	1次系換気空調設備検査	
		3.開放点検（フィルタ取替）		X※1	－	22回※2		3号設備 ※1：よう素フィルタ性能検査結果により適宜実施 ※2：3号での実績
		3.開放点検		4F	－	22回※		3号設備 ※：3号での実績
	中央制御室非常用循環フィルタユニット（B系列）	1.よう素フィルタ性能検査（よう素除去効率検査）	高	1F	○	22回	中央制御室非常用循環系フィルター性能検査	
		1.よう素フィルタ性能検査（漏えい率検査）		1F	○	22回	中央制御室非常用循環系フィルター性能検査	
		2.機能・性能試験		1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	
		3.開放点検（フィルタ取替）		X※	－	22回		※よう素フィルタ性能検査結果により適宜実施
		3.開放点検		4F	－	20回		
	A補助建屋排気フィルタユニット	1.機能・性能試験	低	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2.開放点検		4F	－	20回		
	B補助建屋排気フィルタユニット	1.機能・性能試験	低	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2.開放点検		4F	－	20回		
	燃料取扱室排気フィルタユニット	1.機能・性能試験	低	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2.開放点検		4F	－	20回		
	34A中央制御室空調ユニット	1.開放点検	高	52M	－	22回※		3号設備
	34B中央制御室空調ユニット	1.開放点検	高	52M	－	22回※		3号設備
	34C中央制御室空調ユニット	1.開放点検	高	52M	－	21回		
	34D中央制御室空調ユニット	1.開放点検	高	52M	－	21回		
	A格納容器給気ユニット	1.開放点検	低	52M	○	20回		先行実施
	B格納容器給気ユニット	1.開放点検	低	52M	○	20回		先行実施
	A補助建屋給気ユニット	1.開放点検	低	52M	○	20回		先行実施
	B補助建屋給気ユニット	1.開放点検	低	52M	○	20回		先行実施
	A格納容器給気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施 （振動診断：2M（対象：電動機））
		2.分解点検（ファン）		260M	－	20回		
		2.分解点検（電動機）		CBM	－	8回		
	B格納容器給気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施 （振動診断：2M（対象：電動機））
		2.分解点検（ファン）		260M	－	18回		
		2.分解点検（電動機）		CBM	－	12回		
	A格納容器排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施 （振動診断：２M）
		2.分解点検（ファン）		260M	－	16回		
		2.分解点検（電動機）		CBM	－	8回		
	B格納容器排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施 （振動診断：２M）
		2.分解点検（ファン）		260M	－	18回		
		2.分解点検（電動機）		CBM	－	3回		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考（ ）内は適用する設備診断技術）
放射線管理施設 ［換気設備］	A格納容器再循環ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	
		2.分解点検（ファン）		260M	－	18回		
		2.分解点検（電動機）		104M	－	21回		
		3.簡易点検（潤滑油入替）		26M	○	21回		
	B格納容器再循環ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	
		2.分解点検（ファン）		260M	－	19回		
		2.分解点検（電動機）		104M	－	21回		
		3.簡易点検（潤滑油入替）		26M	○	21回		
	C格納容器再循環ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	
		2.分解点検（ファン）		260M	－	20回		
		2.分解点検（電動機）		104M	－	22回		
		3.簡易点検（潤滑油入替）		26M	－	22回		
	D格納容器再循環ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	
		2.分解点検（ファン）		260M	－	20回		
		2.分解点検（電動機）		104M	－	22回		
		3.簡易点検（潤滑油入替）		26M	－	22回		
	A格納容器空気浄化ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	
		2.分解点検（ファン）		260M	－	22回		
		2.分解点検（電動機）		91M	－	21回		
	B格納容器空気浄化ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	
		2.分解点検（ファン）		260M	－	21回		
		2.分解点検（電動機）		91M	○	19回		
	34A中央制御室空調ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	－	23回※	1次系換気空調設備検査	（振動診断：4M） 3号設備 ※：3号での実績
		2.分解点検（ファン）		260M	－	20回※		
		2.分解点検（電動機）		78M	－	22回※		
	34B中央制御室空調ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	－	23回※	1次系換気空調設備検査	（振動診断：4M） 3号設備 ※：3号での実績
		2.分解点検（ファン）		260M	－	17回※		
		2.分解点検（電動機）		78M	－	21回※		
	34C中央制御室空調ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	（振動診断：4M）
		2.分解点検（ファン）		260M	－	16回		
		2.分解点検（電動機）		78M	－	21回		
	34D中央制御室空調ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	（振動診断：4M）
		2.分解点検（ファン）		260M	－	17回		
		2.分解点検（電動機）		78M	○	20回		
	34A中央制御室循環ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	－	23回※	1次系換気空調設備検査	（振動診断：4M（対象：電動機）） 3号設備 ※：3号での実績
		2.分解点検（ファン）		260M	－	19回※		
		2.分解点検（電動機）		78M	－	22回※		
	34B中央制御室循環ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	－	23回※	1次系換気空調設備検査	（振動診断：4M（対象：電動機）） 3号設備 ※：3号での実績
		2.分解点検（ファン）		260M	－	15回※		
		2.分解点検（電動機）		78M	－	21回※		
	34C中央制御室循環ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	（振動診断：4M（対象：電動機））
		2.分解点検（ファン）		260M	－	20回		
		2.分解点検（電動機）		78M	－	21回		
	34D中央制御室循環ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	（振動診断：4M（対象：電動機））
		2.分解点検（ファン）		260M	－	16回		
		2.分解点検（電動機）		78M	○	20回		
	34A中央制御室非常用循環ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	－	23回※	1次系換気空調設備検査	（振動診断：1M） 3号設備 ※：3号での実績
		2.分解点検（ファン）		260M	－	16回※		
		2.分解点検（電動機）		117M	－	21回※		
	34B中央制御室非常用循環ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	－	23回※	1次系換気空調設備検査	（振動診断：1M） 3号設備 ※：3号での実績
		2.分解点検（ファン）		260M	－	17回※		
		2.分解点検（電動機）		117M	－	19回※		

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考（ ）内は適用する設備診断技術）
放射線管理施設［換気設備］	34C中央制御室非常用循環ファン・電動機		1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	（振動診断：1M）
			2.分解点検（ファン）		260M	－	16回		
			2.分解点検（電動機）		117M	－	21回		
	34D中央制御室非常用循環ファン・電動機		1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	（振動診断：1M）
			2.分解点検（ファン）		260M	－	16回		
			2.分解点検（電動機）		117M	○	19回		
	A補助建屋給気ファン・電動機		1.機能・性能試験	低	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施（振動診断：4M（対象：電動機））
			2.分解点検（ファン）		260M	－	19回		
			2.分解点検（電動機）		CBM	－	8回		
			3.簡易点検（モータ内部清掃）		156M	－	20回		
	B補助建屋給気ファン・電動機		1.機能・性能試験	低	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施（振動診断：4M（対象：電動機））
			2.分解点検（ファン）		260M	－	20回		
			2.分解点検（電動機）		CBM	－	7回		
			3.簡易点検（モータ内部清掃）		156M	－	19回		
	A補助建屋排気ファン・電動機		1.機能・性能試験	低	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施（振動診断：4M）
			2.分解点検（ファン）		260M	－	20回		
			2.分解点検（電動機）		104M	－	20回		
	B補助建屋排気ファン・電動機		1.機能・性能試験	低	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施（振動診断：4M）
			2.分解点検（ファン）		260M	－	20回		
			2.分解点検（電動機）		104M	－	20回		
	C補助建屋排気ファン・電動機		1.機能・性能試験	低	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施（振動診断：4M）
			2.分解点検（ファン）		260M	－	20回		
			2.分解点検（電動機）		104M	○	20回		
	A燃料取扱室給気ファン・電動機		1.機能・性能試験	低	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施（振動診断：4M（対象：電動機））
			2.分解点検（ファン）		260M	－	20回		
			2.分解点検（電動機）		CBM	－	7回		
	B燃料取扱室給気ファン・電動機		1.機能・性能試験	低	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施（振動診断：4M（対象：電動機））
			2.分解点検（ファン）		260M	－	20回		
			2.分解点検（電動機）		CBM	－	8回		
	A燃料取扱室排気ファン・電動機		1.機能・性能試験	低	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施（振動診断：4M）
			2.分解点検（ファン）		260M	－	20回		
			2.分解点検（電動機）		CBM	－	20回		
	B燃料取扱室排気ファン・電動機		1.機能・性能試験	低	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施（振動診断：4M）
			2.分解点検（ファン）		260M	－	20回		
			2.分解点検（電動機）		CBM	－	20回		
	自動ダンパ	1式	1.機能・性能試験	高・低	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	一部先行実施
			2.分解点検他	高	6SM	○	20回	1次系換気空調設備検査	
	放射線管理施設［換気設備］その他の弁	1式	1.機能・性能試験	高・低	B	－	20回	1次系安全弁検査 1次系弁検査	
			2.分解点検		13SM	－	20回	1次系弁検査 1次系逆止弁検査	
	放射線管理施設［換気設備］その他機器	1式	1.分解点検他	高	13M～26SM	○	22回		一部先行実施
			1.分解点検他	低	13M～26SM	○	22回		一部ＢＭあり 一部先行実施

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考（ ）内は適用する設備診断技術）
原子炉格納施設 ［原子炉格納容器］	原子炉格納容器		1.漏えい率試験	高	3F	－	22回	原子炉格納容器全体漏えい率検査	10年に1回は設計圧力にて実施（第21回施設定検において設計圧力にて実施）
	エアロック	通常用 1個	1.漏えい率試験	高	2回/3F	○	20回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
			2.分解点検		52M	－	20回		
			3.簡易点検（パッキン取替他）		13M	○	22回		
		非常用 1個	1.漏えい率試験	高	2回/3F	○	20回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
			2.分解点検		52M	○	19回		
			3.簡易点検（パッキン取替他）		13M	○	22回		
	機器搬入口	1個	1.漏えい率試験	高	2回/3F	○	20回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
			2.非破壊試験		25%/10Y	－	15回	原子炉格納容器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 ［別表-6］
			3.開放点検		13M	○	22回		
	配管貫通部	1式	1.漏えい率試験	高	2回/3F	○	20回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
			1.開放点検		開放時※	－	22回		※但し、最長1回/10F
	電線貫通部	1式	1.漏えい率試験	高	2回/3F	○	20回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
	原子炉格納容器隔離弁	1式	1.漏えい率試験	高	2回/3F	○	20回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
	格納容器隔離信号（T・V信号）により隔離される弁	70個	1.機能・性能試験（弁、弁駆動部等含む）	高	1F	○	22回	原子炉格納容器隔離弁機能検査	
	格納容器スプレイ・隔離信号（P・V信号）により隔離される弁	20個	1.機能・性能試験（弁、弁駆動部等含む）	高	1F	○	22回	原子炉格納容器隔離弁機能検査	
	原子炉格納容器隔離弁	4V-CS-004A	1.分解点検	高	52M	○	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		4V-CS-004B	1.分解点検	高	52M	○	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		4V-CS-004C	1.分解点検	高	52M	○	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		4V-DP-001A	1.分解点検	高	130M	－	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		4V-DP-001B	1.分解点検	高	130M	－	18回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		4V-DP-003A	1.分解点検	高	130M	－	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		4V-DP-003B	1.分解点検	高	130M	－	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		4V-WL-355	1.分解点検	高	130M	－	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		4V-WL-019	1.分解点検	高	130M	－	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		4V-CS-007	1.分解点検	高	52M	－	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		4V-WL-354	1.分解点検	高	130M	－	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		4V-WL-018	1.分解点検	高	130M	－	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		4V-VR-001A	1.分解点検	高	130M	－	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		4V-VR-001B	1.分解点検	高	130M	－	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		4V-VR-002A	1.分解点検	高	130M	－	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		4V-VR-002B	1.分解点検	高	130M	－	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		4V-IA-508A	1.分解点検	高	130M	－	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		4V-CS-308	1.分解点検	高	130M	－	17回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		4V-CS-310	1.分解点検	高	130M	－	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		4V-CC-489	1.分解点検	高	130M	－	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		4V-CC-482	1.分解点検	高	130M	－	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		4V-CC-523	1.分解点検	高	130M	－	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		4V-CC-521	1.分解点検	高	130M	－	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		4V-CC-546	1.分解点検	高	130M	－	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		4V-CC-544	1.分解点検	高	130M	－	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		4V-IA-508B	1.分解点検	高	130M	○	18回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	原子炉格納容器隔離弁駆動部	1式	1.分解点検	高	52M～156M	○	22回		
			2.簡易点検(特性試験他)		13M～52M	○	22回		

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考（ ）内は適用する設備診断技術）
原子炉格納施設［原子炉格納容器］	原子炉格納容器真空逃がし弁	4個	1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	原子炉格納容器真空逃がし弁機能検査	
			2.簡易点検(漏えい試験)		1F	○	22回		
	原子炉格納施設［原子炉格納容器］その他の弁	1式	1.機能・性能試験	高・低	52M～130M	○	22回	1次系弁検査	
			2.分解点検		52M～130M	○	22回	1次系弁検査	
			3.簡易点検(グランドパッキン取替)		52M	ー	22回		
	原子炉格納施設［原子炉格納容器］その他の弁駆動部	1式	1.機能・性能試験	高・低	52M～65M	○	22回	1次系弁検査	
			2.分解点検		13M～156M	○	22回		
	原子炉格納施設［原子炉格納容器］その他機器	1式	1.分解点検他	高	13M～130M	○	22回		
			1.分解点検他	低	130M	○	22回		一部ＢＭあり
原子炉格納施設［圧力低減設備その他の安全設備］	原子炉格納容器スプレイ系		1.機能・性能試験（ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む）	高	1F	○	22回	原子炉格納容器安全系機能検査	
			2.機能・性能試験（ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む）		1F	○	22回	その他原子炉注水系機能検査	［対象設備］ ・Ａ原子炉格納容器スプレイポンプによる代替炉心注入系 20回施設定期検査より追加
	Ａ原子炉格納容器スプレイポンプ・電動機		1.分解点検（ポンプ）	高	130M	ー	22回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	（振動診断：１M） その他原子炉注水系ポンプ分解検査は20回施設定期検査より追加
			1.分解点検（電動機）		130M	○	18回		（振動診断：１M）
			2.簡易点検（潤滑油入替他）		26M	○	22回		
	Ｂ原子炉格納容器スプレイポンプ・電動機		1.分解点検（ポンプ）	高	130M	ー	21回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	（振動診断：１M）
			1.分解点検（電動機）		130M	ー	19回		
			2.簡易点検（潤滑油入替他）		26M	ー	22回		
	Ａ格納容器スプレイ冷却器		1.開放点検(管側)	高	130M	ー	19回		
			1.開放点検(胴側)		195M	ー	19回		
			2.非破壊試験		130M	ー	19回	1次系熱交換器検査	
	Ｂ格納容器スプレイ冷却器		1.開放点検(管側)	高	130M	ー	20回		
			1.開放点検(胴側)		195M	ー	20回		
			2.非破壊試験		130M	ー	20回	1次系熱交換器検査	
	原子炉格納容器スプレイ系主要弁	4V-CP-024A	1.分解点検	高	130M	ー	17回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		4V-CP-024B	1.分解点検	高	130M	ー	17回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		4V-CP-054A	1.分解点検	高	130M	ー	17回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		4V-CP-054B	1.分解点検	高	130M	ー	17回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		4V-CP-001A	1.分解点検	高	130M	ー	21回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		4V-CP-001B	1.分解点検	高	130M	ー	21回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		4V-CP-003A	1.分解点検	高	130M	ー	21回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		4V-CP-003B	1.分解点検	高	130M	ー	22回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
	原子炉格納容器スプレイ系主要弁駆動部	1式	1.分解点検	高	156M	○	19回		
	可燃性ガス濃度制御系主要弁	4V-VS-101A	1.分解点検	高	65M	ー	20回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	20回施設定期検査より追加
		4V-VS-101B	1.分解点検	高	65M	ー	20回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	20回施設定期検査より追加
		4V-VS-102A	1.分解点検	高	65M	ー	22回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	20回施設定期検査より追加
		4V-VS-102B	1.分解点検	高	65M	ー	21回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	20回施設定期検査より追加
		4V-VS-103A	1.分解点検	高	65M	○	20回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	20回施設定期検査より追加
		4V-VS-103B	1.分解点検	高	65M	ー	21回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	20回施設定期検査より追加
		4-PCV-2465	1.分解点検	高	65M	ー	20回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	20回施設定期検査より追加
		4-PCV-2485	1.分解点検	高	65M	ー	20回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	20回施設定期検査より追加
	よう素除去薬品タンク		1.開放点検	高	130M	ー	22回		
	よう素除去薬品タンクバキュームリリーフ弁	2台	1.分解点検	高	130M	ー	22回	1次系真空破壊弁検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考（ ）内は適用する設備診断技術）
原子炉格納施設［圧力低減設備その他の安全設備］	アニュラス空気浄化系		1.機能・性能試験（ファン、電動機、弁、弁駆動部等含む）	高	1F	○	22回	アニュラス循環排気系機能検査	
	A，Bアニュラス空気浄化フィルタユニット		1.よう素フィルタ性能検査（よう素除去効率検査）	高	1F	○	22回	アニュラス循環排気系フィルター性能検査	A系、B系交互に実施
			1.よう素フィルタ性能検査（漏えい率検査）		1F	○	22回	アニュラス循環排気系フィルター性能検査	
			2.開放点検（フィルタ取替）		X※	－	22回		※よう素フィルタ性能検査結果により適宜実施
	A，Bアニュラス空気浄化フィルタユニット	A系	1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	
			2.開放点検		4F	－	20回		
		B系	1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	
			2.開放点検		4F	－	20回		
	Aアニュラス空気浄化ファン・電動機		1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	（振動診断：1M）
			2.分解点検（ファン）		260M	－	20回		
			2.分解点検（電動機）		78M	－	20回		
	Bアニュラス空気浄化ファン・電動機		1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	（振動診断：1M）
			2.分解点検（ファン）		260M	○	13回		
			2.分解点検（電動機）		78M	－	20回		
	安全補機室空気浄化フィルタユニット		1.機能・性能検査（よう素フィルタ性能検査）	高	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	
			1.機能・性能検査		1F	○	22回		
			2.開放点検（フィルタ取替）		X※	－	22回		※よう素フィルタ性能検査結果により適宜実施
			2.開放点検		4F	－	20回		
	A安全補機室空気浄化ファン・電動機		1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	（振動診断：1M）
			2.分解点検（ファン）		260M	－	22回		
			2.分解点検（電動機）		78M	－	21回		
	B安全補機室空気浄化ファン・電動機		1.機能・性能試験	高	1F	○	22回		（振動診断：1M）
			2.分解点検（ファン）		260M	－	20回		
			2.分解点検（電動機）		78M	－	21回		
	静的触媒式水素再結合装置	MB-045	1.外観点検	高	5F	－	22回		20回施設定検時に設置
			2.機能・性能試験		1F	○	22回	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	20回施設定期検査より追加
		MB-046	1.外観点検	高	5F	－	22回		20回施設定検時に設置
			2.機能・性能試験		1F	○	22回	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	20回施設定期検査より追加
		MB-047	1.外観点検	高	5F	－	22回		20回施設定検時に設置
			2.機能・性能試験		1F	○	22回	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	20回施設定期検査より追加
		MB-048	1.外観点検	高	5F	－	22回		20回施設定検時に設置
			2.機能・性能試験		1F	○	22回	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	20回施設定期検査より追加
		MB-049	1.外観点検	高	5F	－	22回		20回施設定検時に設置
			2.機能・性能試験		1F	○	22回	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	20回施設定期検査より追加
	原子炉格納容器水素燃焼装置	13個	1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	20回施設定検時に設置
	1次系計測制御装置	1式	1.特性点検	高	13M	○	22回	計測制御系監視機能検査	20回施設定検時に設置
	原子炉格納施設［圧力低減設備その他の安全設備］その他の弁	1式	1.機能・性能試験	高	B	○	22回	1次系弁検査 1次系安全弁検査	
			2.分解点検		130M	○	22回	1次系弁検査 1次系逆止弁検査	
	原子炉格納施設［圧力低減設備その他の安全設備］その他の弁駆動部	1式	1.機能・性能試験	高	B	－	22回	1次系弁検査	
			2.分解点検		65M～156M	－	22回		
			3.簡易点検(特性試験)		65M	－	21回		
	原子炉格納施設［圧力低減設備その他の安全設備］その他機器	1式	1.分解点検他	高	13M～260M	○	22回		
			1.分解点検他	低	65M～130M	○	22回		一部ＢＭあり
	その他ＡＭ（代替再循環、格納容器内注水）機器	1式	1.分解点検	高	130M	－	20回	1次系逆止弁検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考（ ）内は適用する設備診断技術）
原子力設備 ［その他設備］	クラス１機器(供用期間中検査対象) （重大事故等クラス２機器供用期間中検査対象含む）	1式	1. 非破壊試験	高	10Y	－	22回	クラス１機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 ［別表-1］
			2. 漏えい試験		1Y	○	22回	クラス１機器供用期間中検査	
	クラス２機器（供用期間中検査対象） （重大事故等クラス２機器供用期間中検査対象含む）	1式	1. 非破壊試験	高	10Y	○	22回	クラス２機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 ［別表-2］
			2. 漏えい試験		10Y	○	22回	クラス２機器供用期間中検査	
	クラス３機器（供用期間中検査対象）	1式	1. 非破壊試験	高	10Y	－	22回	クラス３機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 ［別表-3］
			2. 漏えい試験		10Y	－	22回	クラス３機器供用期間中検査	
	クラス１機器Ni基合金使用部位（重大事故等クラス２機器供用期間中検査対象含む）	1式	1. 非破壊検査	高	5～10Y	－	21回	供用期間中特別検査のうちクラス１機器Ｎｉ基合金使用部位特別検査	ISIプログラムによる。 ［別表-4］
	クラス２管（原子炉格納容器内） （重大事故等クラス２機器供用期間中検査対象含む）	1式	1. 非破壊試験	高	25%/10Y	－	22回	供用期間中特別検査のうちクラス２管（原子炉格納容器内）特別検査	ISIプログラムによる。 ［別表-5］
	蒸気発生器管台（重大事故等クラス２機器供用期間中検査対象含む）	1式	1. 非破壊試験	高	10Y	－	18回		ISIプログラムによる。 ［別表-1］
	重大事故等クラス２機器	1式	1. 非破壊試験	高	10Y	－	22回	重大事故等クラス２機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 ［別表-7］
			2. 漏えい試験		1Y～10Y	○	22回	重大事故等クラス２機器供用期間中検査	
	重大事故等クラス３機器	1式	1. 漏えい試験	高	10Y	－	－	重大事故等クラス３機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 ［別表-8］ 22回施設定期検査より設定 一部先行実施
	クラス３機器、クラス４管、排気筒及び安全上重要なダクト耐圧部(クラス３機器ＩＳＩは除く)	1式	1. 外観点検	高・低	100%/5Y～100%/10Y	－	20回	構造健全性検査	
	RCPBのベント・ドレン弁の閉止栓	1式	1. 漏えい試験	高	1F	○	22回	構造健全性検査	
	レストレイント 1. １次冷却材管ﾎｲｯﾌﾟﾚｽﾄﾚｲﾝﾄ 2. 主蒸気配管ﾎｲｯﾌﾟﾚｽﾄﾚｲﾝﾄ 3. 主給水配管ﾎｲｯﾌﾟﾚｽﾄﾚｲﾝﾄ	1式	1. 外観点検	高	100%/10Y	－	16回	レストレイント検査	
	原子力設備［その他設備］その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	－	22回	１次系安全弁検査	
			2. 分解点検		130M	○	22回	１次系逆止弁検査	
	原子力設備［その他設備］その他機器	1式	1. 分解点検他	高	13M～130M	○	22回		
			1. 分解点検他	低	12M～156M	○	22回		一部ＢＭあり 一部先行実施
原子力設備・タービン設備 ［その他設備］	耐震クラスＳ，Ｂに属する設備の支持構造物（クラス１，２，３供用期間中検査対象機器を除く）	1式	1. 外観点検	高・低	100%/10Y	○	22回	耐震健全性検査	
	その他ＡＭ（格納容器内注水）機器	1式	1. 分解点検他	高	52M～260M	－	22回		
蒸気タービン ［車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸］	高圧タービン		1. 開放点検	高	26M	－	22回	蒸気タービン開放検査	
			2. 組立状況点検		B	－	22回	蒸気タービン開放検査	
			3. 簡易点検（軸受箱内部清掃		13M	○	22回		
	第１低圧タービン		1. 開放点検	高	26M	○	21回	蒸気タービン開放検査	
			2. 外観点検		2F	－	22回	蒸気タービン開放検査	
			3. 簡易点検（軸受箱内部清掃		13M	○	22回		
	第２低圧タービン		1. 開放点検	高	26M	－	22回	蒸気タービン開放検査	
			2. 外観点検		2F	○	21回	蒸気タービン開放検査	
			3. 簡易点検（軸受箱内部清掃		13M	○	22回	蒸気タービン開放検査	
	第３低圧タービン		1. 開放点検	高	26M	○	21回	蒸気タービン開放検査	
			2. 外観点検		2F	－	22回	蒸気タービン開放検査	
			3. 簡易点検（軸受箱内部清掃		13M	○	22回		
	ロータ		1. 組立状況点検	高	B	○	22回	蒸気タービン開放検査	タービン開放点検に合わせて実施
	蒸気タービン本体及び附属設備		1. 保安装置点検	高	1F	○	22回	蒸気タービン性能検査	一部定期事業者検査起動後
			2. 負荷点検		1F	○	22回	総合負荷性能検査	定期事業者検査起動後

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考（ ）内は適用する設備診断技術）
蒸気タービン［調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁］	＃１主蒸気止め弁	1.開放点検	高	39M	－	21回	蒸気タービン開放検査	
		2.組立状況点検		B	－	21回	蒸気タービン開放検査	
	＃２主蒸気止め弁	1.開放点検	高	39M	－	21回	蒸気タービン開放検査	
		2.組立状況点検		B	－	21回	蒸気タービン開放検査	
	＃３主蒸気止め弁	1.開放点検	高	39M	－	21回	蒸気タービン開放検査	
		2.組立状況点検		B	－	21回	蒸気タービン開放検査	
	＃４主蒸気止め弁	1.開放点検	高	39M	－	21回	蒸気タービン開放検査	
		2.組立状況点検		B	－	21回	蒸気タービン開放検査	
	＃1蒸気加減弁	1.開放点検	高	39M	－	21回	蒸気タービン開放検査	
		2.組立状況点検		B	－	21回	蒸気タービン開放検査	
	＃２蒸気加減弁	1.開放点検	高	39M	－	21回	蒸気タービン開放検査	
		2.組立状況点検		B	－	21回	蒸気タービン開放検査	
	＃３蒸気加減弁	1.開放点検	高	39M	－	21回	蒸気タービン開放検査	
		2.組立状況点検		B	－	21回	蒸気タービン開放検査	
	＃４蒸気加減弁	1.開放点検	高	39M	－	21回	蒸気タービン開放検査	
		2.組立状況点検		B	－	21回	蒸気タービン開放検査	
	Ａ１再熱蒸気止め弁	1.開放点検	高	39M	－	22回	蒸気タービン開放検査	
	Ａ２再熱蒸気止め弁	1.開放点検	高	39M	○	20回	蒸気タービン開放検査	
	Ａ３再熱蒸気止め弁	1.開放点検	高	39M	－	22回	蒸気タービン開放検査	
	Ｂ１再熱蒸気止め弁	1.開放点検	高	39M	－	22回	蒸気タービン開放検査	
	Ｂ２再熱蒸気止め弁	1.開放点検	高	39M	○	20回	蒸気タービン開放検査	
	Ｂ３再熱蒸気止め弁	1.開放点検	高	39M	○	20回	蒸気タービン開放検査	
	Ａ１インターセプト弁	1.開放点検	高	39M	－	22回	蒸気タービン開放検査	
	Ａ２インターセプト弁	1.開放点検	高	39M	○	20回	蒸気タービン開放検査	
	Ａ３インターセプト弁	1.開放点検	高	39M	－	22回	蒸気タービン開放検査	
	Ｂ１インターセプト弁	1.開放点検	高	39M	－	22回	蒸気タービン開放検査	
	Ｂ２インターセプト弁	1.開放点検	高	39M	○	20回	蒸気タービン開放検査	
	Ｂ３インターセプト弁	1.開放点検	高	39M	○	20回	蒸気タービン開放検査	
	調速装置（非常調速装置）	1.外観点検	高	1F	○	22回	蒸気タービン開放検査	
蒸気タービン［復水器］	復水、循環水系統	1.機能・性能試験(ポンプ、電動機含む)	高	1F	○	22回	蒸気タービン附属設備機能検査	定期事業者検査起動後
	復水器	1.開放点検	高	13M	○	22回	蒸気タービン開放検査	
		2.防汚塗装		26M	○	22回		
	Ａ循環水ポンプ・電動機	1.分解点検（ポンプ）	高	26M	○	21回		
		1.分解点検（電動機）		104M	－	20回		
		2.簡易点検(翼油ユニット作動油清浄度管理)		13M	○	22回		
	Ｂ循環水ポンプ・電動機	1.分解点検（ポンプ）	高	26M	－	22回		
		1.分解点検（電動機）		104M	－	21回		
		2.簡易点検(翼油ユニット作動油清浄度管理)		13M	○	22回		
	Ａ復水器真空ポンプ・電動機	1.分解点検（ポンプ）	高	39M	○	20回		（振動診断：３M）
		1.分解点検（電動機）		CBM	－	20回		
		2.簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	22回		
	Ｂ復水器真空ポンプ・電動機	1.分解点検（ポンプ）	高	39M	－	22回		（振動診断：３M）
		1.分解点検（電動機）		CBM	－	20回		
		2.簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	22回		
	Ｃ復水器真空ポンプ・電動機	1.分解点検（ポンプ）	高	39M	－	21回		（振動診断：３M）
		1.分解点検（電動機）		CBM	－	20回		
		2.簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	22回		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考（ ）内は適用する設備診断技術）
蒸気タービン［復水器］	A復水ポンプ・電動機	1.分解点検（ポンプ）	高	39M	－	21回		（振動診断：６M（対象：電動機））
		1.分解点検（電動機）		104M	－	21回		
		2.簡易点検(ストレーナ清掃)		13M	○	22回		
	B復水ポンプ・電動機	1.分解点検（ポンプ）	高	39M	－	22回		（振動診断：６M（対象：電動機））
		1.分解点検（電動機）		104M	－	17回		
		2.簡易点検(ストレーナ清掃)		13M	○	22回		
	C復水ポンプ・電動機	1.分解点検（ポンプ）	高	39M	○	20回		（振動診断：６M（対象：電動機））
		1.分解点検（電動機）		104M	○	16回		
		2.簡易点検(ストレーナ清掃)		13M	○	22回		
	蒸気タービン［復水器］その他機器 1式	1.分解点検他	高	78M～260M	○	22回		
		1.分解点検他	低	13M～130M	○	22回		一部ＢＭあり
蒸気タービン［蒸気タービンに附属する熱交換器］	A湿分分離加熱器 胴側	1.開放点検	高	26M	－	22回	蒸気タービン開放検査	
	A湿分分離加熱器 管側（発電機側）	1.開放点検	高	130M	－	18回	蒸気タービン開放検査	
		2.非破壊試験		130M	－	18回		
	A湿分分離加熱器 管側（調速機側）	1.開放点検	高	130M	－	20回	蒸気タービン開放検査	
		2.非破壊試験		130M	－	20回		
	B湿分分離加熱器 胴側	1.開放点検	高	26M	○	21回	蒸気タービン開放検査	
	B湿分分離加熱器 管側（発電機側）	1.開放点検	高	130M	－	17回	蒸気タービン開放検査	
		2.非破壊試験		130M	－	17回		
	B湿分分離加熱器 管側（調速機側）	1.開放点検	高	130M	－	19回	蒸気タービン開放検査	
		2.非破壊試験		130M	－	19回		
	A脱気器	1.開放点検	高	26M	－	22回	２次系容器検査	
	B脱気器	1.開放点検	高	26M	○	21回	２次系容器検査	
	脱気器タンク	1.開放点検	高	13M	○	22回	２次系容器検査	
	第１A低圧給水加熱器	1.開放点検	高	65M	－	21回	２次系熱交換器検査	
		2.漏えい試験		B	－	21回		
		3.非破壊試験		130M	－	16回		
	第１B低圧給水加熱器	1.開放点検	高	65M	－	22回	２次系熱交換器検査	
		2.漏えい試験		B	－	22回		
		3.非破壊試験		130M	－	17回		
	第１C低圧給水加熱器	1.開放点検	高	65M	○	18回	２次系熱交換器検査	
		2.漏えい試験		B	○	18回		
		3.非破壊試験		130M	－	18回		
	第２A低圧給水加熱器	1.開放点検	高	65M	－	21回	２次系熱交換器検査	
		2.漏えい試験		B	－	21回		
		3.非破壊試験		130M	－	16回		
	第２B低圧給水加熱器	1.開放点検	高	65M	－	22回	２次系熱交換器検査	
		2.漏えい試験		B	－	22回		
		3.非破壊試験		130M	－	17回		
	第２C低圧給水加熱器	1.開放点検	高	65M	○	18回	２次系熱交換器検査	
		2.漏えい試験		B	○	18回		
		3.非破壊試験		130M	－	18回		
	第３A低圧給水加熱器	1.開放点検	高	65M	－	22回	２次系熱交換器検査	
		2.漏えい試験		B	－	22回		
		3.非破壊試験		130M	－	17回		
	第３B低圧給水加熱器	1.開放点検	高	65M	○	18回	２次系熱交換器検査	
		2.漏えい試験		B	○	18回		
		3.非破壊試験		130M	－	18回		
	第３C低圧給水加熱器	1.開放点検	高	65M	－	19回	２次系熱交換器検査	
		2.漏えい試験		B	－	19回		
		3.非破壊試験		130M	－	19回		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考（ ）内は適用する設備診断技術）
蒸気タービン［蒸気タービンに附属する熱交換器］	第４Ａ低圧給水加熱器	1.開放点検	高	65M	－	22回	２次系熱交換器検査	
		2.漏えい試験		B	－	22回		
		3.非破壊試験		130M	－	17回		
	第４Ｂ低圧給水加熱器	1.開放点検	高	65M	○	18回	２次系熱交換器検査	
		2.漏えい試験		B	○	18回		
		3.非破壊試験		130M	－	18回		
	第４Ｃ低圧給水加熱器	1.開放点検	高	65M	－	19回	２次系熱交換器検査	
		2.漏えい試験		B	－	19回		
		3.非破壊試験		130M	－	19回		
	第６Ａ高圧給水加熱器	1.開放点検	高	130M	－	19回	２次系熱交換器検査	
		2.漏えい試験		B	－	19回		
		3.非破壊試験		130M	－	16回		
	第６Ｂ高圧給水加熱器	1.開放点検	高	130M	－	19回	２次系熱交換器検査	
		2.漏えい試験		B	－	19回		
		3.非破壊試験		130M	－	17回		
	グランド蒸気復水器	1.開放点検	高	65M	－	22回	２次系熱交換器検査	
		2.漏えい試験		B	－	22回		
		3.非破壊試験		130M	－	17回		
蒸気タービン［蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備］	給水、復水系統	1.機能・性能試験(ポンプ、電動機含む)	高	1F	○	22回	蒸気タービン附属設備機能検査	定期事業者検査起動後
	Ａタービン動主給水ポンプ	1.機能・性能試験（ポンプ）	高	B	－	22回		
		1.機能・性能試験（駆動タービン）		B	－	22回	２次系ポンプ機能検査	
		2.分解点検（ポンプ）		26M	－	22回		
		2.分解点検（駆動タービン）		26M	－	22回	２次系ポンプ分解検査	
		3.簡易点検(オイルフィルタ取替)		13M	○	22回		
	Ｂタービン動主給水ポンプ	1.機能・性能試験（ポンプ）	高	B	○	21回		
		1.機能・性能試験（駆動タービン）		B	○	21回	２次系ポンプ機能検査	
		2.分解点検（ポンプ）		26M	○	21回		
		2.分解点検（駆動タービン）		26M	○	21回	２次系ポンプ分解検査	
		3.簡易点検(オイルフィルタ取替)		13M	○	22回		
	電動主給水ポンプ・電動機	1.分解点検（ポンプ）	高	130M	－	20回		
		1.分解点検（電動機）		156M	○	21回		
		2.簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	22回		
	Ａタービン動主給水ブースタポンプ	1.分解点検	高	52M	－	20回		
		2.簡易点検(ストレーナ点検)		13M	○	22回		
	Ｂタービン動主給水ブースタポンプ	1.分解点検	高	52M	○	19回		
		2.簡易点検(ストレーナ点検)		13M	○	22回		
	電動主給水ブースタポンプ	1.分解点検（ポンプ）	高	130M	－	21回		
		2.簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	22回		
	Ａ復水ブースタポンプ・電動機	1.分解点検（ポンプ）	高	39M	－	22回		
		1.分解点検（電動機）		104M	○	15回		
		2.簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	22回		
	Ｂ復水ブースタポンプ・電動機	1.分解点検（ポンプ）	高	39M	○	20回		
		1.分解点検（電動機）		104M	－	16回		
		2.簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	22回		
	Ｃ復水ブースタポンプ・電動機	1.分解点検（ポンプ）	高	39M	○	20回		
		1.分解点検（電動機）		104M	－	17回		
		2.簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	22回		

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術）
蒸気タービン ［蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備］	A復水脱塩塔		1.開放点検	高	130M	－	21回	２次系容器検査	
	B復水脱塩塔		1.開放点検	高	130M	－	22回	２次系容器検査	
	C復水脱塩塔		1.開放点検	高	130M	○	13回	２次系容器検査	
	D復水脱塩塔		1.開放点検	高	130M	－	14回	２次系容器検査	
	E復水脱塩塔		1.開放点検	高	130M	－	15回	２次系容器検査	
	復水タンク		1.開放点検	高	130M	－	15回		
			2.簡易点検(通気管金網清掃)		13M	○	22回		
	蒸気タービン［蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備］その他機器	1式	1.分解点検他	高	26M～260M	○	22回		一部先行実施
			1.分解点検他	低	13M～260M	○	22回		一部ＢＭあり 一部先行実施
蒸気タービン ［蒸気タービンに附属する管等］	主な配管(主蒸気系統、抽気系統)	1式	1.開放点検	高	1F	○	22回	蒸気タービン開放検査	
			2.非破壊試験		肉厚管理指針による	○	22回	蒸気タービン開放検査	
	２次系配管他(上記以外の主蒸気系統・給水系統・抽気系統・ドレン系統・復水系統・その他系統)※ ※配管の他、ポンプ、熱交換器、弁等を含む（外観点検のみ）	1式	1.外観点検	高	100%/10Y	○	22回	２次系配管検査	定期事業者検査起動後
			2.非破壊試験	高・低	肉厚管理指針による	○	22回	２次系配管検査	
蒸気タービン ［その他設備］	タービンバイパス弁	15個	1.機能・性能試験（駆動部含	高	26M～52M	○	22回	タービンバイパス弁機能検査	
			2.分解点検		26M～52M	○	22回		
			3.簡易点検（グランドパッキン取替）		26M	○	22回		
	タービンバイパス弁駆動部	15個	1.分解点検	高	13M～65M	○	22回		
			2.簡易点検（特性試験）		13M	○	22回		
	蒸気タービン［その他設備］その他の弁	1式	1.機能・性能試験	高・低	B	○	22回	１次系安全弁検査 ２次系弁検査 ２次系安全弁検査	
			2.分解点検		52M～130M	○	22回	１次系逆止弁検査	
	蒸気タービン［その他設備］その他の弁駆動部	1式	1.機能・性能試験	高	B	○	20回	２次系弁検査	
			2.分解点検		52M	○	20回	２次系弁検査	
			3.簡易点検(特性試験)		13M～52M	○	22回		
	蒸気タービン［その他設備］その他機器	1式	1.分解点検他	高	13M～260M	○	22回		一部先行実施
			1.分解点検他	低	12M～260M	○	22回		一部ＢＭあり 一部先行実施 保全の有効性評価結果No.10、11の反映
その他発電用原子炉の附属施設 ［浸水防護施設］	浸水防止堰	1式	1.外観点検	高	1F	○	22回		20回施設定検時に設置
	伝播防止堰	1式	1.外観点検	高	10Y	－	－		20回施設定検時に設置
	水密扉	1式	1.外観点検	高	1Y	○	22回		プラント運転中又は定期事業者検査検停止中 20回施設定検時に設置
	蒸気漏えい検知システム	1式	1.機能・性能試験	低	1F	○	22回		20回施設定検時に設置
	湧水ピット排水系統		1.機能・性能試験（ポンプ、電動機含む）	低	B※	－	23回	浸水防護設備検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 20回施設定検時に設置
	湧水サンプポンプ（吐出ラインを含む）	2台	1.分解点検（ポンプ）	低	1Y	○	22回		20回施設定検時に設置
			1.分解点検（電動機）		CBM	－	－		
その他発電用原子炉の附属施設 ［常用電源設備］	発電機設備	1式	1.分解点検他	高・低	13M～208M	○	22回		
	変圧器設備	1式	1.分解点検他	高	39M～156M	○	22回		
	しゃ断器	1式	1.分解点検他	高	52M～156M	－	21回		
	その他発電用原子炉の附属施設［常用電源設備］その他機器	1式	1.分解点検他	高	26M～104M	○	22回		一部先行実施
			1.分解点検他	低	13M～240M	○	22回		一部ＢＭあり
その他発電用原子炉の附属施設 ［火災防護施設］	煙等流入防止装置	1式	1.分解点検	低	260M	－	－	１次系弁検査	20回施設定検時に設置 20回施設定期検査より追加
	その他発電用原子炉の附属施設［火災防護施設］その他機器	1式	1.分解点検他	低	12M～13M	○	22回		

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考（ ）内は適用する設備診断技術）
その他発電用原子炉の附属施設［非常用発電装置］	ディーゼル発電機	2台	1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	非常用予備発電装置機能検査（ディーゼル発電機の作動検査） 非常用予備発電装置機能検査（ディーゼル発電機定格容量検査）	
	安全注入信号及び格納容器スプレイ信号発信時にディーゼル発電機に電源を求める機器	45台	1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	非常用予備発電装置機能検査（ディーゼル発電機の作動検査）	
	Aディーゼル機関のシリンダ（ピストン、ピストン連接棒、シリンダカバー、クランク軸）	No.1,8	1.分解点検	高	130M	－	20回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No.2,3,9,10	1.分解点検	高	130M	－	21回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No.4,5,11,12	1.分解点検	高	130M	○	18回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No.6,13	1.分解点検	高	130M	－	20回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No.7,14	1.分解点検	高	130M	－	20回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
	Bディーゼル機関のシリンダ（ピストン、ピストン連接棒、シリンダカバー、クランク軸）	No.1,8	1.分解点検	高	130M	－	20回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No.2,3,9,10	1.分解点検	高	130M	－	22回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No.4,5,11,12	1.分解点検	高	130M	－	19回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No.6,13	1.分解点検	高	130M	－	20回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No.7,14	1.分解点検	高	130M	－	20回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
	Aディーゼル機関の吸気弁		1.分解点検	高	26M	○	21回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
	Bディーゼル機関の吸気弁		1.分解点検	高	26M	－	22回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
	Aディーゼル機関の排気弁		1.分解点検	高	26M	○	21回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
	Bディーゼル機関の排気弁		1.分解点検	高	26M	－	22回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
	Aディーゼル機関の燃料噴射弁		1.分解点検	高	13M	○	22回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
	Bディーゼル機関の燃料噴射弁		1.分解点検	高	13M	○	22回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
	ディーゼル発電機付属設備	1式	1.外観点検	高	1F	○	22回	非常用予備発電機付属設備検査	
			2.非破壊試験		13M～78M	○	22回	非常用予備発電機付属設備検査	
			3.機能・性能試験		1F	○	22回	非常用予備発電機付属設備検査	
			4.特性試験	高・低	13M	○	22回	非常用予備発電機付属設備検査	
	空冷式非常用発電装置	2台	1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	その他非常用発電装置の機能検査 その他非常用発電装置の付属設備検査	20回施設定検時に設置 20回施設定期検査より追加
			2.取替他		130M	－	－		
			3.発電機ベアリング交換		195M	－	－		
	可搬式代替低圧注水ポンプ用電源車	2台	1.機能・性能試験	高	1Y	○	22回	可搬型代替電源設備検査	
	電源車	2台	1.機能・性能試験	高	1Y	○	22回	可搬型代替電源設備検査	
	非常用電源設備［非常用予備発電装置］その他機器	1式	1.分解点検他	高	13M～234M	○	22回		
			1.分解点検他	低	13M～182M	○	22回		一部ＢＭあり
その他発電用原子炉の附属施設［その他の電源装置］	直流電源装置蓄電池	2組（60個／組）	1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	直流電源系機能検査	
			1.機能・性能試験（作動機能）		1F	○	22回	直流電源系作動検査	
			2.簡易点検（充電）		2回/Y	○	22回		
	計器用電源	4台	1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	インバータ機能検査	
			2.簡易点検(特性試験他)		13M	○	22回		
	可搬型バッテリ（加圧器逃がし弁用）	2個	1.機能・性能試験	高	1F	○	22回		20回施設定検時に設置
			2.外観点検		1F	○	22回		
	可搬式整流器	2個	1.機能・性能試験	高	1F	○	22回		20回施設定検時に設置
			2.外観点検		1F	○	22回		
	非常用電源設備［その他の電源装置］その他機器	1式	1.分解点検他	高	6M～180M	○	22回		
			1.分解点検他	低	12M～180M	○	22回		
土木建築設備	原子炉建屋	1式	1.外観点検	高・低	1F	○	22回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	外周建屋	1式	1.外観点検	高	1F	○	22回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	中間建屋	1式	1.外観点検	高	1F	○	22回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	原子炉補助建屋	1式	1.外観点検	高	1F	○	22回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	燃料取扱建屋	1式	1.外観点検	高	1F	○	22回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	制御建屋	1式	1.外観点検	高	1F	○	22回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	燃料取替用水タンク建屋	1式	1.外観点検	高	1F	○	22回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	ディーゼル発電機建屋	1式	1.外観点検	高	1F	○	22回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	取水口設備	1式	1.外観点検	高	1F	○	22回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
プラント総合	原子炉及びその附属設備(補助ボイラー及び非常用予備発電装置を除く)		1.総合性能試験	高	1F	○	22回	総合負荷性能検査	定期事業者検査起動後

クラス１機器供用期間中検査

検査間隔延長プログラム

１．原子炉容器（１／２）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００２年改訂版）　JSME S NA1-2002※1,※2					高浜発電所第４号機検査計画（10ヵ年）																備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	
								－	第17回	第18回	－	第19保全サイクル	第20保全サイクル							第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	
B1.102	B-A	下部胴の長手溶接継手	体　積	可能範囲各１００％	３	水中ＵＴ（内面）	可能範囲各１００％	－			－		可能範囲各１００％										（重大事故等クラス２機器）
B2.111	B-B	上部胴と下部胴との周溶接継手	体　積	５％※3	１	水中ＵＴ（内面）	５％※3	－			－		５％										（重大事故等クラス２機器）
		下部胴とトランジションリングとの周溶接継手	体　積	５％※3	１	水中ＵＴ（内面）	５％※3	－			－		５％										（重大事故等クラス２機器）
		トランジションリングと下部鏡板との周溶接継手	体　積	５％※3	１	水中ＵＴ（内面）	５％※3	－			－		５％										（重大事故等クラス２機器）
B3.105	B-C	上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体　積	可能範囲各１００％	１	水中ＵＴ（内面）	可能範囲各１００％	－			－		可能範囲各１００％										（重大事故等クラス２機器）
B3.10	B-D	冷却材入口管台と胴との溶接継手	体　積	可能範囲各１００％	３	水中ＵＴ（内面）	可能範囲各１００％	－			－		ＡＢＣ可能範囲各１００％										（重大事故等クラス２機器）
		冷却材出口管台と胴との溶接継手	体　積	可能範囲各１００％	３	水中ＵＴ（内面）	可能範囲各１００％	－			－		ＡＢＣ可能範囲各１００％										（重大事故等クラス２機器）
B3.20	B-D	冷却材入口管台内面の丸みの部分	体　積	可能範囲各１００％	３	水中ＵＴ（内面）	可能範囲各１００％	－			－		ＡＢＣ可能範囲各１００％										（重大事故等クラス２機器）
		冷却材出口管台内面の丸みの部分	体　積	可能範囲各１００％	３	水中ＵＴ（内面）	可能範囲各１００％	－			－		ＡＢＣ可能範囲各１００％										（重大事故等クラス２機器）
B5.10	B-F	冷却材入口管台とセーフエンドの溶接継手（呼び径100ｍｍ以上）※4	体積及び表　面	可能範囲各１００％	３	水中ＵＴ（内面）ＰＴ	可能範囲各１００％	－		Ａ（ＰＴ）１００％ＡＢＣ（ＵＴ）可能範囲各１００％	－									Ｂ（ＰＴ）１００％	Ｃ（ＰＴ）１００％		23年、690系Ni基合金に補修実施（重大事故等クラス２機器）
		冷却材出口管台とセーフエンドの溶接継手（呼び径100ｍｍ以上）※4	体積及び表　面	可能範囲各１００％	３	水中ＵＴ（内面）ＰＴ	可能範囲各１００％	－		Ａ（ＰＴ）１００％ＡＢＣ（ＵＴ）可能範囲各１００％	－									Ｂ（ＰＴ）１００％	Ｃ（ＰＴ）１００％		23年、690系Ni基合金に補修実施（重大事故等クラス２機器）
B6.10	B-G-1	ナット	ＶＴ－１	１００％	５８	ＶＴ－１（漏えい時又は取外し時）	１００％５８	－	１０	１０	－		１３							１３	１２		（重大事故等クラス２機器）
B6.30	B-G-1	スタッドボルト	体　積	１００％	５８	ＵＴ	１００％５８	－	１０	１０	－		１３							１３	１２		（重大事故等クラス２機器）
B6.40	B-G-1	胴フランジネジ穴のネジ部	体　積	１００％	５８	ＵＴ	１００％５８	－		２０	－		１９								１９		（重大事故等クラス２機器）
B6.50	B-G-1	ワッシャ	ＶＴ－１	１００％	５８	ＶＴ－１（漏えい時又は取外し時）	１００％５８	－	１０	１０	－		１３							１３	１２		（重大事故等クラス２機器）
B7.10	B-G-2	マーマンカップリング	ＶＴ－１	２５％	３	ＶＴ－１（漏えい時又は取外し時）	２５％１	－			－		１										（重大事故等クラス２機器）

※1：新規制基準施行(Ｈ２５年７月)後は、維持規格　JSME S NA1-2008を適用する。
※2：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格　JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
※3：第23保全サイクルより維持維持　JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、「５％」は「可能範囲１００％」と読み替える。
※4：新規制基準施行(Ｈ２５年７月)後は、維持規格　JSME S NA1-2008を適用し、ｍｍはＡと読み替える。

検査間隔延長プログラム

1．原子炉容器（２／２）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００２年改訂版）　JSME S NA1-2002※1,※2					高浜発電所第４号機検査計画（10ヵ年）																備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	
								－	第17回	第18回	－	第19保全サイクル	第20保全サイクル							第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	
G1.10	G-P-1	容器内部	ＶＴ－３	可能範囲１００％各検査時期毎	1	ＶＴ－３	可能範囲１００％各検査時期毎	－		可能範囲１００％	－	可能範囲１００％											維持規格JSME S NA1-2002
G1.10	G-P-1	容器内部	ＶＴ－３	全範囲の７．５％各検査時期毎※3	1	ＶＴ－３	可能範囲１００％各検査時期毎														可能範囲１００％		維持規格JSME S NA1-2008（重大事故等クラス２機器）
G1.60	G-P-1	炉心領域外の内部取付物	ＶＴ－３	可能範囲１００％	4	ＶＴ－３	可能範囲１００％4	－			－		可能範囲１００％4										維持規格JSME S NA1-2002
G1.40	G-P-1	上部炉心支持構造物の内部取付物	ＶＴ－３	全範囲の７．５％	1	ＶＴ－３	可能範囲１００％														可能範囲１００％		維持規格JSME S NA1-2008（重大事故等クラス２機器）
		下部炉心支持構造物の内部取付物	ＶＴ－３	全範囲の７．５％	1	ＶＴ－３	可能範囲１００％																維持規格JSME S NA1-2008（重大事故等クラス２機器）
		炉心内部取付物	ＶＴ－３	全範囲の７．５％	4	ＶＴ－３	可能範囲１００％																維持規格JSME S NA1-2008（重大事故等クラス２機器）
G1.70	G-P-2	上部炉心支持構造物	ＶＴ－３	可能範囲１００％	1	ＶＴ－３	可能範囲１００％	－			－												維持規格JSME S NA1-2002
		下部炉心支持構造物	ＶＴ－３	可能範囲１００％	1	ＶＴ－３	可能範囲１００％	－			－		可能範囲１００％										維持規格JSME S NA1-2002
G1.50	G-P-2	上部炉心支持構造物	ＶＴ－３	全範囲の７．５％	1	ＶＴ－３	可能範囲１００％														可能範囲１００％		維持規格JSME S NA1-2008（重大事故等クラス２機器）
		下部炉心支持構造物	ＶＴ－３	全範囲の７．５％	1	ＶＴ－３	可能範囲１００％																維持規格JSME S NA1-2008（重大事故等クラス２機器）
B14.10	B-O	制御棒駆動ハウジングの溶接継手（上部）	体積又は表　面	最外周の２５％	最外周２０（全５２）	ＰＴ	最外周の２５％5	－			－										5		第１７回定検にて上蓋取替え実施（重大事故等クラス２機器）
		制御棒駆動ハウジングの溶接継手（下部）			最外周２３（全５５）	ＰＴ	最外周の２５％6	－		2	－		2								2		
B15.10	B-P	圧力保持範囲	ＶＴ－２	可能範囲１００％	－	ＶＴ－２	可能範囲１００％	－	可能範囲１００％	可能範囲１００％	－	可能範囲１００％	可能範囲１００％						可能範囲１００％	可能範囲１００％	可能範囲１００％	可能範囲１００％	（重大事故等クラス２機器）
F1.41	F-A	支持構造物（サポートブラケット、サポートシュー、基礎ボルト）	ＶＴ－３	２５％	6	ＶＴ－３	２５％2	－		Ａ出口1	－										Ｃ出口1		（重大事故等クラス２機器）

※1：新規制基準施行(Ｈ２５年７月)後は、維持規格 JSME S NA1-2008を適用する。
※2：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
※3：第23保全サイクルより維持維持 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、「全範囲の７．５％ 各検査時期毎」は「全範囲の７．５％」と読み替える。

検査間隔延長プログラム

2．加圧器（１／１）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００２年改訂版）　JSME S NA1-2002※1,※2					高浜発電所第４号機検査計画（10ヵ年）																	備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	
								－	第17回	第18回	－	第19保全サイクル	第20保全サイクル							第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	
B2.11	B-B	上部胴と上部鏡板との周継手	体　積	５％	1	ＵＴ	５％	－			－		５％										（重大事故等クラス２機器）
		下部胴と下部鏡板との周継手	体　積	５％	1	ＵＴ	５％	－		５％	－												（重大事故等クラス２機器）
B2.12	B-B	上部胴の長手継手	体　積	各１０％	2	ＵＴ	各１０％	－	Ａ１０％		－		Ｂ１０％										（重大事故等クラス２機器）
		下部胴の長手継手	体　積	各１０％	2	ＵＴ	各１０％	－		Ａ１０％	－										Ｂ１０％		（重大事故等クラス２機器）
B2.13	B-B	上部胴と下部胴との周継手	体　積	５％	1	ＵＴ	５％	－			－		５％										（重大事故等クラス２機器）
B3.30	B-D	管台と容器との溶接継手	体　積	２５％	6	ＵＴ	２５％ 2	－	1 （サージ管台）		－		1 （スプレイ管台）										（重大事故等クラス２機器）
B3.40	B-D	管台内面の丸みの部分	体　積	２５％	6	ＵＴ	２５％ 2	－	1 （サージ管台）		－		1 （スプレイ管台）										（重大事故等クラス２機器）
B5.40	B-F	管台とセーフエンドの溶接継手（呼び径100ｍｍ以上）※3																					
		加圧器逃がし弁管台	体積及び表　面	２５％	1	ＵＴ ＰＴ	２５％ 2	－			－												H22年、690系Ni基合金に補修実施 （重大事故等クラス２機器）
		加圧器安全弁管台			3			－		Ａ	－												
		加圧器スプレイ管台			1			－			－												
		加圧器サージ管台			1			－	1		－												
B7.20	B-G-2	マンホールの取付けボルト	ＶＴ－１	２５％	１６	ＶＴ－１ （漏えい時又は取外し時）	２５％ 4	－		1	－		1								2		（重大事故等クラス２機器）
B8.20	B-H	支持部材の容器への取付け溶接継手（スカート溶接継手）	表　面	７．５％	1	ＰＴ	７．５％	－		２．５％	－		２．５％								２．５％		（重大事故等クラス２機器）
B15.20	B-P	圧力保持範囲	ＶＴ－２	可能範囲１００％	－	ＶＴ－２	可能範囲１００％	－	可能範囲１００％	可能範囲１００％	－	可能範囲１００％	可能範囲１００％						可能範囲１００％	可能範囲１００％	可能範囲１００％	可能範囲１００％	（重大事故等クラス２機器）
F1.41	F-A	支持構造物（スカート、基礎ボルト）	ＶＴ－３	２５％	1	ＶＴ－３	２５％ 1	－			－										1		（重大事故等クラス２機器）

※1：新規制基準施行(Ｈ２５年７月)後は、維持規格　JSME S　NA1-2008を適用する。
※2：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格　JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
※3：新規制基準施行(Ｈ２５年７月)後は、維持規格　JSME S　NA1-2008を適用し、ｍｍはＡと読み替える。

検査間隔延長プログラム

3．蒸気発生器（１／１）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００２年改訂版）　JSME S NA1-2002※1,※2					高浜発電所第４号機検査計画（10ヵ年）																備　考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	
								－	第17回	第18回	－	第19保全サイクル	第20保全サイクル							第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	
B2.40	B-B	管板と水室鏡との溶接継手	体　積	１基の２５％	３	ＵＴ	１基の２５％	－	Ｃ　９％		－		Ｃ　８％								Ｃ　８％		（重大事故等クラス２機器）
B3.60	B-D	冷却材入口管台の内面の丸みの部分，冷却材出口管台の内面の丸みの部分	体　積	１基の２５％	６	ＵＴ	１基の２５％１	－			－										Ｃ 入口１		（重大事故等クラス２機器）
B5.70	B-F	冷却材入口管台とセーフエンドの溶接継手，冷却材出口管台とセーフエンドの溶接継手（呼び径100ｍｍ以上）※3	体積及び表　面	１基の２５％	６	ＵＴ ＰＴ	１基の２５％１	－	Ａ入口１ (UT)	Ｂ出口１ (*1)	－										Ｂ 入口１ (*2)		・H20年、入口管台について690系Ni基合金に補修実施 ・H22年、出口管台について予防保全対策(USP)の応力腐食割れ防止の有効性が実証（回答通知書） （重大事故等クラス２機器）
B7.30	B-G-2	１次側マンホールの取付けボルト	ＶＴ－１	１基の２５％	９６	ＶＴ－１ （漏えい時又は取外し時）	１基の２５％８	－	Ｃ入口３		－				Ｃ 入口２						Ｃ 入口３		（重大事故等クラス２機器）
B15.30	B-P	圧力保持範囲	ＶＴ－２	可能範囲１００％	－	ＶＴ－２	可能範囲１００％	－	可能範囲１００％	可能範囲１００％	－	可能範囲１００％	可能範囲１００％						可能範囲１００％	可能範囲１００％	可能範囲１００％	可能範囲１００％	（重大事故等クラス２機器）
F1.41	F-A	支持構造物（支持脚、ベースプレート、基礎ボルト）	ＶＴ－３	１基の２５％	１２	ＶＴ－３	１基の２５％１	－			－										Ｃ１		（重大事故等クラス２機器）

※1：新規制基準施行(Ｈ２５年７月)後は、維持規格　JSME S NA1-2008を適用する。
※2：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格　JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
※3：新規制基準施行(Ｈ２５年７月)後は、維持規格　JSME S NA1-2008を適用し、ｍｍはＡと読み替える。
(*1)代替試験として内面ＥＣＴを合わせて実施
(*2)代替試験については第２２回定検で内面ＥＣＴを実施予定

検査間隔延長プログラム

4．配管（１／４）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００２年改訂版）　JSME S NA1-2002※1,※2					高浜発電所第４号機検査計画（10ヵ年）																備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	
								－	第17回	第18回	－	第19保全サイクル	第20保全サイクル							第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	
B7.50	B-G-2	圧力保持用ボルト締付け部（直径50mm以下）																					
		１次冷却材ポンプ封水注入ライン　Ａ，Ｂ，Ｃループ	ＶＴ－１	２５％	３	ＶＴ－１（漏えい時又は取外し時）	２５％　１	－			－										Ｃ１		
B9.11	B-J	配管の同種金属溶接継手（呼び径100mm以上）※3																					
		１次冷却材管（27.5INID,836.00mm,29INID,31INID）Ａ，Ｂ，Ｃループ	体　積	２５％	４０	ＵＴ	２５％　１０	－	Ａ１	Ａ２	－	Ａ１　Ｂ１								Ｂ２	Ｃ３		（重大事故等クラス２機器）
		加圧器サージ管　（14B,355.60mm）	体　積	２５％	７	ＵＴ	２５％　２	－		１	－									１			（重大事故等クラス２機器）
		加圧器安全弁ライン　（6B）Ａ，Ｂ，Ｃライン	体　積	２５％	３０	ＵＴ	２５％　８	－	Ａ１	Ｂ１	－		Ａ１　Ｃ１							Ｂ１　Ｃ１	Ａ１　Ｃ１		（重大事故等クラス２機器）
		加圧器逃がし弁ライン　（6B）	体　積	２５％	１２	ＵＴ	２５％　３	－	１		－		１								１		（重大事故等クラス２機器）
		加圧器スプレイライン（4B,144.30mm）Ａ，Ｃループ	体　積	２５％	４９	ＵＴ	２５％　１３	－	Ａ２	Ｃ１	－			Ａ１　Ｃ１						Ａ２　Ｃ１	Ａ３　Ｃ２		
		余熱除去ポンプ入口ライン　（12B）Ｂ，Ｃループ	体　積	２５％	５０	ＵＴ	２５％　１３	－		Ｃ１	－	Ｂ２								Ｃ１	Ｂ３　Ｃ１		（重大事故等クラス２機器）
		余熱除去ポンプ入口ライン　（12B）Ｂ，Ｃループ	体　積	２５％	２８	ＵＴ	※4　１００％　２８								※4　Ｂ１４　Ｃ１４								※4　第20保全サイクル全数実施（重大事故等クラス２機器）
		加圧器補助スプレイライン　（4B）	体　積	２５％	１	ＵＴ	２５％　１	－			－										１		
		ＳＩＳ蓄圧注入ライン（12B,318.50mm）Ａ，Ｂ，Ｃループ	体　積	２５％	３２	ＵＴ	２５％　８	－	Ａ１	Ｂ１	－	Ｃ１	Ａ１　Ｂ１							Ｂ１　Ｃ１	Ａ１		（重大事故等クラス２機器）
		ＳＩＳ高温側低圧注入ライン（6B,165.20mm）Ａ，Ｂループ	体　積	２５％	２７	ＵＴ	２５％　７	－	Ａ１	Ｂ１	－	Ａ２								Ａ１	Ｂ２		
		ＳＩＳ低温側低圧注入ライン　（6B）Ａ，Ｂ，Ｃループ	体　積	２５％	５１	ＵＴ	２５％　１３	－	Ａ１	Ｂ２	－	Ｃ２		Ａ１						Ｂ２　Ｃ１	Ａ１　Ｃ３		（重大事故等クラス２機器）
		ＳＩＳ高温側補助注入ライン（4B,6B）Ｃループ	体　積	２５％	６	ＵＴ	２５％　２	－	１		－		１										
B9.21	B-J	配管の同種金属溶接継手（呼び径100mm未満）※3																					
		加圧器逃がし弁ライン　（3B）	表　面	２５％	２０	ＰＴ	２５％　５	－	１		－		２							１	１		（重大事故等クラス２機器）
		加圧器補助スプレイライン（2B,60.50mm）	表　面	２５％	１９	ＰＴ	２５％　５	－		１	－			１						１	２		
		余熱除去ポンプ入口ライン（1l/4B）Ｂ，Ｃループ	表　面	２５％	４	ＰＴ	※4　１００％　４								※4　Ｂ２　Ｃ２								※4　第20保全サイクル全数実施

※1：新規制基準施行(Ｈ２５年７月)後は、維持規格　JSME S　NA1-2008を適用する。
※2：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格　JSME S　NA1-2012/2013/2014を適用する。
※3：新規制基準施行(Ｈ２５年７月)後は、維持規格　JSME S　NA1-2008を適用し、mmはＡと読み替える。
※4：新規制基準施行(Ｈ２５年７月)に伴い、ＲＣＰＢ拡大により、全数実施する。

検査間隔延長プログラム

4．配管（２／４）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００２年改訂版）　JSME S NA1-2002※1,※2					高浜発電所第４号機検査計画（10ヵ年）																	備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	
								－	第17回	第18回	－	第19保全サイクル	第20保全サイクル							第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	
B9.21	B-J	配管の同種金属溶接継手（呼び径100mm未満）※3																					
		ＲＴＤウェル及び閉止分岐管　(3B) Ａ，Ｂ，Ｃループ	表　面	２５％	６	ＰＴ	２５％ ２	－		Ａ１	－									Ｂ１			
		抽出・余剰抽出及びドレンライン (2B,3B,60.50mm,89.10mm) Ａ，Ｂ，Ｃループ	表　面	２５％	３２	ＰＴ	２５％ ８	－	Ａ１	Ｃ１	－	Ａ１	Ｃ２								Ｃ３		
		ＣＶＣＳ充てんライン (3B,89.10mm) Ｂループ	表　面	２５％	８	ＰＴ	２５％ ２	－	Ａ１		－	Ｂ１											（重大事故等クラス２機器）
		１次冷却材ポンプ封水注入ライン (1 1/2B,48.60mm) Ａ，Ｂ，Ｃループ	表　面	２５％	４	ＰＴ	２５％ １	－			－		Ａ１										
		ＳＩＳ高温側補助注入ライン (2B,60.50mm) Ａ，Ｂ，Ｃループ	表　面	２５％	１４	ＰＴ	２５％ ４	－	Ａ１		－	Ａ１								Ｃ１	Ｂ１		
		ＳＩＳ低温側補助注入ライン (2B,60.50mm) Ａ，Ｂ，Ｃループ	表　面	２５％	１０	ＰＴ	２５％ ３	－		Ａ１	－			Ｃ１							Ｂ１		
		ＳＩＳ低温側ほう酸注入ライン (2B,60.50mm) Ａ，Ｂ，Ｃループ	表　面	２５％	１８	ＰＴ	２５％ ５	－	Ａ１	Ａ１	－	Ｂ１								Ｃ１	Ｃ１		（重大事故等クラス２機器）
B9.31	B-J	母管と管台との溶接継手（呼び径100mm以上）※3																					
		１次冷却材管　(4B,6B,12B,14B) Ａ，Ｂ，Ｃループ	体　積	２５％	１１	ＵＴ	２５％ ３	－	Ａ１		－		Ｂ１								Ｃ１		（重大事故等クラス２機器）
B9.32	B-J	母管と管台との溶接継手（呼び径100mm未満）※3																					
		１次冷却材管　(2B,3B,63.50mm) Ａ，Ｂ，Ｃループ	表　面	２５％	１７	ＰＴ	２５％ ５	－	Ａ１	Ｂ１	－		Ｃ１							Ｂ１	Ａ１		（重大事故等クラス２機器）
		ＳＩＳ高温側低圧注入ライン　(2B) Ａ，Ｂループ	表　面	２５％	２	ＰＴ	２５％ １	－			－	Ｂ１											
		ＳＩＳ低温側低圧注入ライン　(2B) Ａ，Ｂ，Ｃループ	表　面	２５％	６	ＰＴ	２５％ ２	－		Ａ１	－										Ｂ１		（重大事故等クラス２機器）
		余熱除去ポンプ入口ライン (1I/4B) Ｂ，Ｃループ	表　面	２５％	２	ＰＴ	※4 １００％ ２								※4 Ｂ１ Ｃ１								※4 第20保全サイクル全数実施
B9.40	B-J	ソケット溶接継手																					
		加圧器補助スプレイライン　(2B)	表　面	２５％	１	ＰＴ	２５％ １	－	１		－			１									

※1：新規制基準施行（Ｈ２５年７月）後は、維持規格　JSME S NA1-2008を適用する。
※2：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格　JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
※3：新規制基準施行（Ｈ２５年７月）後は、維持規格　JSME S NA1-2008を適用し、mmはＡと読み替える。
※4：新規制基準施行（Ｈ２５年７月）に伴い、ＲＣＰＢ拡大により、全数実施する。

検査間隔延長プログラム

4．配管（3／4）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００２年改訂版）　JSME S NA1-2002※1,※2					高浜発電所第４号機検査計画（10ヵ年）																	備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	
								－	第17回	第18回	－	第19保全サイクル	第20保全サイクル							第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	
B9.40	B-J	ソケット溶接継手																					
		ＲＴＤウェル及び閉止分岐管 (91.00mm) Ａ，Ｂ，Ｃループ	表　面	２５％	３	ＰＴ	２５％ １	－			－		Ａ１										
		抽出・余剰抽出及びドレンライン (2B) Ａ，Ｂ，Ｃループ	表　面	２５％	６	ＰＴ	２５％ ２	－		Ａ１	－									Ｂ１			
		１次冷却材ポンプ封水注入ライン (1 1/2B) Ａ，Ｂ，Ｃループ	表　面	２５％	５１	ＰＴ	２５％ １３	－	Ａ２	Ｂ２	－	Ｃ２	Ａ１ Ｂ２							Ａ１ Ｂ１	Ｃ２		
		ＳＩＳ高温側補助注入ライン　(2B) Ａ，Ｂ，Ｃループ	表　面	２５％	１５	ＰＴ	２５％ ４	－	Ａ１		－	Ｂ１								Ｃ１	Ａ１		
		ＳＩＳ低温側補助注入ライン　(2B) Ａ，Ｂ，Ｃループ	表　面	２５％	３	ＰＴ	２５％ １	－		Ａ１	－												
		ＳＩＳ低温側ほう酸注入ライン (2B) Ａ，Ｂ，Ｃループ	表　面	２５％	３	ＰＴ	２５％ １	－			－		Ｂ１										（重大事故等クラス２機器）
B10.20	B-K	配管の支持部材取付け溶接継手																					
		抽出ライン　(89.10mm) Ｃループ	表　面	７．５％	０	ＰＴ	７．５％ ０	－			－												
		余熱除去ポンプ入口ライン Ｂ，Ｃループ	表　面	７．５％	２	ＰＴ	※3 １００％ ２								※3 Ｂ１ Ｃ１								※3 第20保全サイクル全数実施 （重大事故等クラス２機器）
B15.50	B-P	圧力保持範囲	ＶＴ－２	可能範囲 １００％	－	ＶＴ－２	可能範囲 １００％	－	可能範囲 100%	可能範囲 100%	－	可能範囲 100%	可能範囲 100%						可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	（重大事故等クラス２機器）
F1.10	F-A	支持構造物																					
		加圧器サージ管	ＶＴ－３	２５％	９	ＶＴ－３	２５％ ３	－			－		１								２		（重大事故等クラス２機器）
		加圧器逃がし弁ライン	ＶＴ－３	２５％	１９	ＶＴ－３	２５％ ５	－	１		－		２							１	１		（重大事故等クラス２機器）
		加圧器スプレイライン Ａ，Ｃループ	ＶＴ－３	２５％	６２	ＶＴ－３	２５％ １６	－	Ａ２	Ｃ２	－									Ａ５ Ｃ３	Ｃ４		
		余熱除去ポンプ入口ライン Ｂ，Ｃループ	ＶＴ－３	２５％	４２	ＶＴ－３	２５％ １１	－	Ｂ１		－		Ｂ１							Ｃ３	Ｂ２		（重大事故等クラス２機器）
		余熱除去ポンプ入口ライン Ｂ，Ｃループ	ＶＴ－３	２５％	３１	ＶＴ－３	※3 １００％ ３１								※3 Ｂ１６ Ｃ１５								※3 第20保全サイクル全数実施 （重大事故等クラス２機器）
		加圧器補助スプレイライン	ＶＴ－３	２５％	２２	ＶＴ－３	２５％ ６	－	１	１	－									２	２		

※1：新規制基準施行(Ｈ２５年７月)後は、維持規格　JSME S NA1-2008を適用する。
※2：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格　JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
※3：新規制基準施行(Ｈ２５年７月)に伴い、ＲＣＰＢ拡大により、全数実施する。

検査間隔延長プログラム

4．配管（４／４）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００２年改訂版）　JSME S NA1-2002※1,※2					高浜発電所第４号機検査計画（10ヵ年）																	備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	
								－	第17回	第18回	－	第19保全サイクル	第20保全サイクル							第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	
F1.10	Ｆ－Ａ	支持構造物																					
		ＣＶＣＳ充てんライン Ｂループ	ＶＴ－３	２５％	６	ＶＴ－３	２５％ 2	－	Ａ１		－		Ｂ１										（重大事故等クラス２機器）
		抽出・余剰抽出及びドレンライン Ａ，Ｂ，Ｃループ	ＶＴ－３	２５％	２９	ＶＴ－３	２５％ 8	－	Ａ１	Ｂ１	－		Ａ１ Ｃ２							Ｂ１	Ｃ２		
		１次冷却材ポンプ封水注入ライン Ａ，Ｂ，Ｃループ	ＶＴ－３	２５％	１９	ＶＴ－３	２５％ 5	－	Ａ１	Ｂ１	－		Ａ１							Ｂ１	Ｃ１		
		ＳＩＳ蓄圧注入ライン Ａ，Ｂ，Ｃループ	ＶＴ－３	２５％	３２	ＶＴ－３	２５％ 8	－	Ａ１	Ｂ１	－	Ｃ１	Ａ１ Ｂ１							Ｂ１	Ｃ２		（重大事故等クラス２機器）
		ＳＩＳ高温側低圧注入ライン Ａ，Ｂループ	ＶＴ－３	２５％	１８	ＶＴ－３	２５％ 5	－	Ａ１	Ｂ１	－		Ａ１							Ａ１	Ｂ１		
		ＳＩＳ低温側低圧注入ライン Ａ，Ｂ，Ｃループ	ＶＴ－３	２５％	２９	ＶＴ－３	２５％ 8	－	Ａ１	Ｂ１	－	Ｃ１		Ａ１						Ａ１	Ｂ１ Ｃ２		（重大事故等クラス２機器）
		ＳＩＳ高温側補助注入ライン Ａ，Ｂ，Ｃループ	ＶＴ－３	２５％	２３	ＶＴ－３	２５％ 6	－	Ａ１	Ｂ１	－	Ｃ２								Ｂ１	Ｃ１		
		ＳＩＳ低温側補助注入ライン Ａ，Ｂ，Ｃループ	ＶＴ－３	２５％	１５	ＶＴ－３	２５％ 4	－		Ａ１	－	Ｂ１								Ｃ１	Ｂ１		
		ＳＩＳ低温側ほう酸注入ライン Ａ，Ｂ，Ｃループ	ＶＴ－３	２５％	２８	ＶＴ－３	２５％ 7	－	Ａ１	Ｂ１	－	Ｃ１								Ａ１ Ｃ１	Ｂ１ Ｃ１		（重大事故等クラス２機器）

※1：新規制基準施行（Ｈ２５年７月）後は、維持規格　JSME S NA1-2008を適用する。
※2：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格　JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

検査間隔延長プログラム

５．１次冷却材ポンプ（１／１）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００２年改訂版）　JSME S NA1-2002※1,※2					高浜発電所第４号機検査計画（10ヵ年）																備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	
								－	第17回	第18回	－	第19保全サイクル	第20保全サイクル							第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	
B6.180	B-G-1	スタッドボルト	体　積	１台の25%	７２	ＵＴ（装着時又は取外し時）	１台の25%６	－			－	Ｃ６											（重大事故等クラス２機器）
B6.190	B-G-1	フランジ表面	ＶＴ－１	１台の25%	７２	ＶＴ－１	１台の25%６	－			－	Ｃ６											ポンプ分解点検時に実施（重大事故等クラス２機器）
B6.200	B-G-1	ナット	ＶＴ－１	１台の25%	７２	ＶＴ－１（漏えい時又は取外し時）	１台の25%６	－			－	Ｃ６											（重大事故等クラス２機器）
		ワッシャ	ＶＴ－１	１台の25%	７２	ＶＴ－１（漏えい時又は取外し時）	１台の25%６	－			－	Ｃ６											（重大事故等クラス２機器）
B12.20	B-L-2	ケーシングの内表面	ＶＴ－３	１	３	ＶＴ－３	１	－			－	Ｃ１											ポンプ分解点検時に実施（重大事故等クラス２機器）
B15.60	B-P	圧力保持範囲	ＶＴ－２	可能範囲１００%	－	ＶＴ－２	可能範囲１００%	－	可能範囲１００%	可能範囲１００%	－	可能範囲１００%	可能範囲１００%						可能範囲１００%	可能範囲１００%	可能範囲１００%	可能範囲１００%	（重大事故等クラス２機器）
F1.41	F-A	支持構造物（支持脚、ベースプレート、基礎ボルト）	ＶＴ－３	１台の25%	９	ＶＴ－３	１台の25%１	－			－	Ｃ１											（重大事故等クラス２機器）

※1：新規制基準施行(Ｈ２５年７月)後は、維持規格 JSME S NA1-2008を適用する。
※2：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

検査間隔延長プログラム

６．弁（１／２）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００２年改訂版）　JSME S NA1-2002※1,※2					高浜発電所第４号機検査計画（10ヵ年）																		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	
								－	第17回	第18回	－	第19保全サイクル	第20保全サイクル							第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	
B7.70	B-G-2	圧力保持用ボルト締付け部（直径５０ｍｍ以下）																					
		加圧器安全弁ライン Ａ，Ｂ，Ｃライン　4V-RC-055 4V-RC-056 4V-RC-057	ＶＴ－１	類似弁ごとに１台の25%	２４	ＶＴ－１（漏えい時又は取外し時）	類似弁ごとに１台分８	－	4V-RC-0578		－												（重大事故等クラス２機器）
		加圧器逃がし弁ライン 4V-RC-054A 4V-RC-054B 4V-RC-054C	ＶＴ－１	類似弁ごとに１台の25%	３０	ＶＴ－１（漏えい時又は取外し時）	類似弁ごとに１台分１０	－		4V-RC-054A１０	－												（重大事故等クラス２機器）
		4PCV-455A 4PCV-455B 4PCV-454C	ＶＴ－１	類似弁ごとに１台の25%	１８	ＶＴ－１（漏えい時又は取外し時）	類似弁ごとに１台分６	－			－		4PCV-455A6										（重大事故等クラス２機器）
		加圧器スプレイライン Ａ，Ｃループ　4PCV-454A 4PCV-454B	ＶＴ－１	類似弁ごとに１台の25%	１６	ＶＴ－１（漏えい時又は取外し時）	類似弁ごとに１台分８	－			－		4PCV-454A8										
		加圧器補助スプレイライン 4V-CS-225	ＶＴ－１	類似弁ごとに１台の25%	６	ＶＴ－１（漏えい時又は取外し時）	類似弁ごとに１台分６	－			－									4V-CS-2256			
		ＣＶＣＳ充てんライン Ｂループ　4V-CS-233 4V-CS-234	ＶＴ－１	類似弁ごとに１台の25%	２０	ＶＴ－１（漏えい時又は取外し時）	類似弁ごとに１台分１０	－			－										4V-CS-234１０		（重大事故等クラス２機器）
		抽出・余剰抽出及びドレンライン Ａ，Ｂ，Ｃループ　4V-RC-019A 4V-RC-019B 4V-RC-019C	ＶＴ－１	類似弁ごとに１台の25%	２４	ＶＴ－１（漏えい時又は取外し時）	類似弁ごとに１台分８	－			－										4V-RC-019C8		
		4V-RC-017	ＶＴ－１	類似弁ごとに１台の25%	１０	ＶＴ－１（漏えい時又は取外し時）	類似弁ごとに１台分１０	－	4V-RC-01710		－												
		4LCV-451 4LCV-452	ＶＴ－１	類似弁ごとに１台の25%	１２	ＶＴ－１（漏えい時又は取外し時）	類似弁ごとに１台分６	－		4LCV-4516	－												
		余熱除去ポンプ入口ライン Ｂ，Ｃループ　4PCV-420 4PCV-430	ＶＴ－１	類似弁ごとに１台の25%	３６	ＶＴ－１（漏えい時又は取外し時）	類似弁ごとに１台分１８	－			－	4PCV-420１８											（重大事故等クラス２機器）
		余熱除去ポンプ入口ライン Ｂ，Ｃループ　4V-RH-003A 4V-RH-003B	ＶＴ－１	類似弁ごとに１台の25%	３６	ＶＴ－１（漏えい時又は取外し時）	※3 １００% ２台分 ３６								※3 4V-RH-003A１８ 4V-RH-003B１８								※3 第20保全サイクル全数実施 （重大事故等クラス２機器）
		ＳＩＳ蓄圧注入ライン Ａ，Ｂ，Ｃループ4V-SI-134A,136A 4V-SI-134B,136B 4V-SI-134C,136C	ＶＴ－１	類似弁ごとに１台の25%	９６	ＶＴ－１（漏えい時又は取外し時）	類似弁ごとに１台分１６	－			－		4V-SI-136B１６										（重大事故等クラス２機器）
		ＳＩＳ高温側低圧注入ライン Ａ，Ｂループ　4V-SI-208A,209A 4V-SI-208B,209B	ＶＴ－１	類似弁ごとに１台の25%	５６	ＶＴ－１（漏えい時又は取外し時）	類似弁ごとに１台分１４	－			－									4V-SI-209A１４			
		ＳＩＳ低温側低圧注入ライン Ａ，Ｂ，Ｃループ4V-SI-202A,203A 4V-SI-202B,203B 4V-SI-202C,203C	ＶＴ－１	類似弁ごとに１台の25%	８４	ＶＴ－１（漏えい時又は取外し時）	類似弁ごとに１台分１４	－			－									4V-SI-203C１４			（重大事故等クラス２機器）
		ＳＩＳ高温側補助注入ライン Ｃループ　4V-SI-088	ＶＴ－１	類似弁ごとに１台の25%	１４	ＶＴ－１（漏えい時又は取外し時）	類似弁ごとに１台分１４	－			－										4V-SI-088１４		

※1：新規制基準施行(Ｈ２５年７月)後は、維持規格　JSME S NA1-2008を適用する。
※2：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
※3：新規制基準施行(Ｈ２５年７月)に伴い、ＲＣＰＢ拡大により、全数実施する。

検査間隔延長プログラム

6．弁(2／2)

発電用原子力設備規格　維持規格(２００２年改訂版)　JSME S NA1-2002※1,※2					高浜発電所第４号機検査計画（10ヵ年）																		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	
								－	第17回	第18回	－	第19保全サイクル	第20保全サイクル							第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	
B12,50	B-M-2	弁本体の内表面																					
		加圧器安全弁ライン A，B，Cライン　4V-RC-055 4V-RC-056 4V-RC-057	ＶＴ－３	類似弁ごとに1	3	ＶＴ－３	類似弁ごとに1	－	4V-RC-055		－												（重大事故等クラス２機器）
		余熱除去ポンプ入口ライン B，Cループ　4PCV-420 4PCV-430	ＶＴ－３	類似弁ごとに1	2	ＶＴ－３	類似弁ごとに1	－			－									4PCV-420			（重大事故等クラス２機器）
		余熱除去ポンプ入口ライン B，Cループ　4V-RH-003A 4V-RH-003B	ＶＴ－３	類似弁ごとに1	2	ＶＴ－３	※3 １００％ 2								※3 4V-RH-003A 4V-RH-003B								※3 第20保全サイクル全数実施 （重大事故等クラス２機器）
		ＳＩＳ蓄圧注入ライン A，B，Cループ 4V-SI-134A,136A 4V-SI-134B,136B 4V-SI-134C,136C	ＶＴ－３	類似弁ごとに1	6	ＶＴ－３	類似弁ごとに1	－			－										4V-SI-136A		（重大事故等クラス２機器）
		ＳＩＳ高温側低圧注入ライン A，Bループ 4V-SI-208A,209A 4V-SI-208B,209B	ＶＴ－３	類似弁ごとに1	4	ＶＴ－３	類似弁ごとに1	－			－									4V-SI-209A			
		ＳＩＳ低温側低圧注入ライン A，B，Cループ 4V-SI-202A,203A 4V-SI-202B,203B 4V-SI-202C,203C	ＶＴ－３	類似弁ごとに1	6	ＶＴ－３	類似弁ごとに1	－			－										4V-SI-203A		（重大事故等クラス２機器）
		ＳＩＳ高温側補助注入ライン Cループ　4V-SI-088	ＶＴ－３	類似弁ごとに1	1	ＶＴ－３	類似弁ごとに1	－			－	4V-SI-088											
B15,70	B-P	圧力保持範囲	ＶＴ－２	可能範囲１００％	－	ＶＴ－２	可能範囲１００％	－	可能範囲１００％	可能範囲１００％	－	可能範囲１００％	可能範囲１００％						可能範囲１００％	可能範囲１００％	可能範囲１００％	可能範囲１００％	（重大事故等クラス２機器）
F1,41	F-A	支持構造物																					
		加圧器安全弁ライン A，B，Cライン　4V-RC-055 4V-RC-056 4V-RC-057	ＶＴ－３	類似弁ごとに1台の２５％	3	ＶＴ－３	類似弁ごとに1台の２５％ 1	－	4V-RC-055 1		－												（重大事故等クラス２機器）
		加圧器逃がし弁ライン 4V-RC-054A 4V-RC-054B 4V-RC-054C	ＶＴ－３	類似弁ごとに1台の２５％	6	ＶＴ－３	類似弁ごとに1台の２５％ 1	－		4V-RC-054A 1	－												（重大事故等クラス２機器）
		4PCV-455A 4PCV-455B 4PCV-454C	ＶＴ－３	類似弁ごとに1台の２５％	6	ＶＴ－３	類似弁ごとに1台の２５％ 1	－			－									4PCV-455B 1			（重大事故等クラス２機器）
		加圧器スプレイライン A，Cループ　4PCV-454A 4PCV-454B	ＶＴ－３	類似弁ごとに1台の２５％	4	ＶＴ－３	類似弁ごとに1台の２５％ 1	－			－		4PCV-454B 1										
		加圧器補助スプレイライン 4V-CS-225	ＶＴ－３	類似弁ごとに1台の２５％	1	ＶＴ－３	類似弁ごとに1台の２５％ 1	－			－										4V-CS-225 1		
		抽出ライン Cループ　4LCV-451 4LCV-452	ＶＴ－３	類似弁ごとに1台の２５％	4	ＶＴ－３	類似弁ごとに1台の２５％ 1	－			－										4LCV-451 1		
		余熱除去ポンプ入口ライン B，Cループ　4PCV-420 4PCV-430	ＶＴ－３	類似弁ごとに1台の２５％	4	ＶＴ－３	類似弁ごとに1台の２５％ 1	－	4PCV-420 1		－												（重大事故等クラス２機器）
		余熱除去ポンプ入口ライン B，Cループ　4V-RH-003A 4V-RH-003B	ＶＴ－３	類似弁ごとに1台の２５％	4	ＶＴ－３	※3 １００％ 4								※3 4V-RH-003A 2 4V-RH-003B 2								※3 第20保全サイクル全数実施 （重大事故等クラス２機器）

※1：新規制基準施行(Ｈ２５年７月)後は、維持規格　JSME S NA1-2008を適用する。
※2：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格　JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
※3：新規制基準施行(Ｈ２５年７月)に伴い、ＲＣＰＢ拡大により、全数実施する。

クラス２機器供用期間中検査

１．余熱除去冷却器（１／１）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1-2008※1					高浜発電所第４号機検査計画（10ヵ年）※2												備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	
								第20保全サイクル	第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	－	第24保全サイクル	第25保全サイクル	－	第26保全サイクル	
C1.10	C-A	管側胴と管側フランジとの周溶接継手	体　積	１基の7.5%	２	ＵＴ	１基の7.5%		Ａ ７．５％			－			－		（重大事故等クラス２機器）
C1.20	C-A	管側鏡と管側胴との溶接継手	体　積	１基の7.5%	２	ＵＴ	１基の7.5%		Ａ ７．５％			－			－		（重大事故等クラス２機器）
C2.21	C-B	管側入口管台及び管側出口管台と管側胴との溶接継手	体積及び表　面	７．５％	４	ＵＴ ＰＴ	７．５％ １			Ａ１ （入口）		－			－		（重大事故等クラス２機器）

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格　JSME　S　NA1-2012/2013/2014を適用する。
※2：前検査間隔を維持規格2008年版のIA-2310(2)を適用し11ヵ年としたため、本検査間隔は9ヵ年としている。

２．配管（１／３）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1-2008※1					高浜発電所第４号機検査計画（10ヵ年）※2												備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	
								第20保全サイクル	第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	－	第24保全サイクル	第25保全サイクル	－	第26保全サイクル	
C3.20	C-C	配管の支持部材取付け溶接継手															
		余熱除去ポンプ入口ライン (318.50mm,355.60mm) A，Bライン	表　面	７．５％	１２	ＰＴ	７．５％ 1		Ａ１			－			－		（重大事故等クラス２機器）
		余熱除去ポンプ出口ライン (267.40mm) A，Bライン	表　面	７．５％	３	ＰＴ	７．５％ 1		Ａ１			－			－		（重大事故等クラス２機器）
		ＳＩＳ高温側低圧注入ライン (165.20mm,267.40mm) Aライン	表　面	７．５％	３	ＰＴ	７．５％ 1			Ａ１		－			－		
		ＳＩＳ低温側低圧注入ライン (165.20mm,267.40mm) A，B，Cライン	表　面	７．５％	９	ＰＴ	７．５％ 1				Ｃ１	－			－		（重大事故等クラス２機器）
		ＳＩＳ高温側補助注入ライン (60.50mm,89.10mm) A，B，C，共通ライン	表　面	７．５％	１５	ＰＴ	７．５％ 2		Ｃ１			－		共通１	－		
		ＳＩＳ低温側補助注入ライン (60.50mm,89.10mm) A，B，C，共通ライン	表　面	７．５％	４	ＰＴ	７．５％ 1					－		Ｃ１	－		
		補助注入ライン (89.10mm,114.30mm)	表　面	７．５％	５	ＰＴ	７．５％ 1					－		１	－		
		ＳＩＳ低温側ほう酸注入ライン (60.50mm,89.10mm) A，B，共通ライン	表　面	７．５％	５	ＰＴ	７．５％ 1					－		共通１	－		（重大事故等クラス２機器）
		充てん／高圧注入ポンプ入口ライン (216.30mm)	表　面	７．５％	３	ＰＴ	７．５％ 1		１			－			－		（重大事故等クラス２機器）
		充てん／高圧注入ポンプ出口ライン (89.10mm,114.30mm)	表　面	７．５％	３	ＰＴ	７．５％ 1			１		－			－		（重大事故等クラス２機器）
		１次冷却材管高温側高圧注入ライン (89.10mm)	表　面	７．５％	２	ＰＴ	７．５％ 1			１		－			－		
		１次冷却材管低温側高圧注入ライン (89.10mm)	表　面	７．５％	２	ＰＴ	７．５％ 1				１	－			－		
		１次冷却材管高温側高圧注入ライン ほう酸注入タンク入口側 (89.10mm)	表　面	７．５％	２	ＰＴ	７．５％ 1					－		１	－		
		１次冷却材管低温側高圧注入ライン ほう酸注入タンク出口側 (89.10mm)	表　面	７．５％	２	ＰＴ	７．５％ 1					－		１	－		（重大事故等クラス２機器）
		格納容器再循環サンプ出口ライン (355.60mm) A，Bライン	表　面	７．５％	８	ＰＴ	７．５％ 1		Ａ１			－			－		（重大事故等クラス２機器）

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格　JSME　S　NA1-2012/2013/2014を適用する。
※2：前検査間隔を維持規格2008年版のIA-2310(2)を適用し11ヵ年としたため、本検査間隔は9ヵ年としている。

２．配管（２／３）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1-2008※1					高浜発電所第４号機検査計画（10ヵ年）※2												備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	
								第20保全サイクル	第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	－	第24保全サイクル	第25保全サイクル	－	第26保全サイクル	
C5.11	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手（呼び径100Ａを超え公称肉厚9.5mmを超えるもの）															
		余熱除去ポンプ入口ライン (12B,14B,318.50mm) Ａ，Ｂライン	体積又は表　面	７．５％	６９	ＰＴ	７．５％ 6		Ｂ１	Ａ２	Ｂ１	－		Ａ１ Ｂ１	－		（重大事故等クラス２機器）
		ＳＩＳ高温側低圧注入ライン (6B,10B,267.40mm) Ａ，Ｂライン	体積及び表　面	７．５％	１９	ＵＴ ＰＴ	７．５％ 2		Ａ１			－		Ａ１	－		
		ＳＩＳ低温側低圧注入ライン (6B,10B,,165.20mm,267.40mm) Ａ，Ｂ，Ｃライン	体積及び表　面	７．５％	５７	ＵＴ ＰＴ	７．５％ 5		Ａ１ Ｂ１			－	Ｂ１	Ｃ２	－		（重大事故等クラス２機器）
		格納容器再循環サンプ出口ライン (14B,355.60mm) Ａ，Ｂライン	体積又は表　面	７．５％	２３	ＰＴ	７．５％ 2		Ａ１			－		Ｂ１	－		（重大事故等クラス２機器）
C5.21	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手（呼び径50Ａ以上100Ａ以下で公称肉厚5mmを超えるもの）															
		ＳＩＳ高温側補助注入ライン (2B,3B,60.50mm,89.10mm) Ａ，Ｂ，Ｃ，共通ライン	表　面	７．５％	１０８	ＰＴ	７．５％ 9		Ａ１ Ｂ２	Ｃ２	共通１	－		Ｃ１ 共通２	－		
		ＳＩＳ低温側補助注入ライン (2B,3B,60.50mm,89.10mm) Ａ，Ｂ，Ｃ，共通ライン	表　面	７．５％	５２	ＰＴ	７．５％ 4		Ａ１	Ｂ１		－		Ｃ１ 共通１	－		
		補助注入ライン　(3B,4B,89.10mm)	表　面	７．５％	３３	ＰＴ	７．５％ 3		1		1	－		1	－		
		ＳＩＳ低温側ほう酸注入ライン (2B,3B,60.50mm,89.10mm) Ａ，Ｂ，Ｃ，共通ライン	表　面	７．５％	５５	ＰＴ	７．５％ 5		Ａ１	Ｂ１	Ｃ１	－		共通２	－		（重大事故等クラス２機器）
		充てん／高圧注入ポンプ出口ライン (3B,4B,89.10mm)	表　面	７．５％	３５	ＰＴ	７．５％ 3		1	1		－		1	－		（重大事故等クラス２機器）
C5.30	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手（ソケット溶接継手）															
		ＳＩＳ高温側補助注入ライン (2B) Ａ，Ｂ，Ｃライン	表　面	７．５％	１８	ＰＴ	７．５％ 2		Ａ１			－		Ｂ１	－		
		ＳＩＳ低温側補助注入ライン (2B) Ａ，Ｂ，Ｃライン	表　面	７．５％	９	ＰＴ	７．５％ 1				Ａ１	－			－		
		ＳＩＳ低温側ほう酸注入ライン (2B) Ａ，Ｂ，Ｃライン	表　面	７．５％	９	ＰＴ	７．５％ 1					－		Ｂ１	－		（重大事故等クラス２機器）

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格　JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
※2：前検査間隔を維持規格2008年版のIA-2310(2)を適用し11ヵ年としたため、本検査間隔は9ヵ年としている。

２．配管（３／３）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1-2008※1					高浜発電所第４号機検査計画（10ヵ年）※2												備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	
								第20保全サイクル	第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	－	第24保全サイクル	第25保全サイクル	－	第26保全サイクル	
F1.21	F-A	支持構造物															
		余熱除去ポンプ入口ライン Ａ，Ｂライン	ＶＴ－３	７．５％	４９	ＶＴ－３	７．５％ ４		Ａ１ Ｂ１		Ｂ１	－		Ａ１	－		（重大事故等クラス２機器）
		余熱除去ポンプ出口ライン Ａ，Ｂライン	ＶＴ－３	７．５％	８０	ＶＴ－３	７．５％ ６		Ａ１ Ｂ１	Ａ１	Ｂ１	－		Ａ１ Ｂ１	－		（重大事故等クラス２機器）
		ＳＩＳ高温側低圧注入ライン Ａライン	ＶＴ－３	７．５％	１２	ＶＴ－３	７．５％ １				Ａ１	－			－		
		ＳＩＳ低温側低圧注入ライン Ａ，Ｂ，Ｃライン	ＶＴ－３	７．５％	５５	ＶＴ－３	７．５％ ５		Ａ１	Ｂ１		－	Ｃ１	Ｂ１ Ｃ１	－		（重大事故等クラス２機器）
		補助注入ライン	ＶＴ－３	７．５％	２４	ＶＴ－３	７．５％ ２		１			－	１		－		
		充てん／高圧注入ポンプ出口ライン	ＶＴ－３	７．５％	２７	ＶＴ－３	７．５％ ３		１			－	１	１	－		（重大事故等クラス２機器）
		充てん／高圧注入ポンプ入口ライン	ＶＴ－３	７．５％	２３	ＶＴ－３	７．５％ ２		１			－		１	－		
		格納容器再循環サンプ出口ライン Ａ，Ｂライン	ＶＴ－３	７．５％	１４	ＶＴ－３	７．５％ ２		Ａ１			－		Ｂ１	－		（重大事故等クラス２機器）

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
※2：前検査間隔を維持規格2008年版のIA-2310(2)を適用し11ヵ年としたため、本検査間隔は9ヵ年としている。

３．余熱除去ポンプ（１／１）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1-2008※1					高浜発電所第４号機検査計画（10ヵ年）※2											備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	
								第20保全サイクル	第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	－	第24保全サイクル	第25保全サイクル	－	第26保全サイクル	
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表　面	１台の7.5%	４	ＰＴ	１台の7.5% 1		Ａ１			－			－		（重大事故等クラス２機器）
F1.43	F-A	ポンプの台板脚	ＶＴ－３	１台の7.5%	４	ＶＴ－３	１台の7.5% 1				Ａ１	－			－		（重大事故等クラス２機器）

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
※2：前検査間隔を維持規格2008年版のIA-2310(2)を適用し11ヵ年としたため、本検査間隔は9ヵ年としている。

４．弁（１／１）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1-2008※1					高浜発電所第４号機検査計画（10ヵ年）※2												備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	
								第20保全サイクル	第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	－	第24保全サイクル	第25保全サイクル	－	第26保全サイクル	
F1.43	F-A	支持構造物															
		余熱除去ポンプ入口ライン Ａ，Ｂライン　4V-RH-041A 4V-RH-041B	ＶＴ－３	類似弁ごとに1台の7.5%	4	ＶＴ－３	類似弁ごとに1台の7.5% 1		4V-RH-041A 1			－			－		（重大事故等クラス２機器）
		余熱除去ポンプ出口ライン Ａ，Ｂライン　4V-RH-024A 4V-RH-024B	ＶＴ－３	類似弁ごとに1台の7.5%	2	ＶＴ－３	類似弁ごとに1台の7.5% 1			4V-RH-024A 1		－			－		（重大事故等クラス２機器）
		余熱除去ポンプ出口ライン Ａ，Ｂライン　4PCV-601 4PCV-611	ＶＴ－３	類似弁ごとに1台の7.5%	2	ＶＴ－３	類似弁ごとに1台の7.5% 1				4PCV-611 1	－			－		（重大事故等クラス２機器）
		余熱除去ポンプ出口ライン Ａ，Ｂライン　4HCV-603 4HCV-613	ＶＴ－３	類似弁ごとに1台の7.5%	4	ＶＴ－３	類似弁ごとに1台の7.5% 1					－		4HCV-603 1	－		（重大事故等クラス２機器）
		余熱除去ポンプ出口ライン Ａ，Ｂライン　4FCV-604 4FCV-614	ＶＴ－３	類似弁ごとに1台の7.5%	4	ＶＴ－３	類似弁ごとに1台の7.5% 1					－		4FCV-614 1	－		（重大事故等クラス２機器）
		ＳＩＳ低温側低圧注入ライン Ａ，Ｃライン　4V-SI-197A 4V-SI-197B	ＶＴ－３	類似弁ごとに1台の7.5%	2	ＶＴ－３	類似弁ごとに1台の7.5% 1		4V-SI-197A 1			－			－		（重大事故等クラス２機器）
		ＳＩＳ高温側補助注入ライン 4V-SI-082 4V-SI-101 4V-SI-301 4V-SI-303	ＶＴ－３	類似弁ごとに1台の7.5%	8	ＶＴ－３	類似弁ごとに1台の7.5% 1		4V-SI-101 1			－			－		
		充てん／高圧注入ポンプ出口ライン 4V-SI-023A 4V-SI-023B	ＶＴ－３	類似弁ごとに1台の7.5%	4	ＶＴ－３	類似弁ごとに1台の7.5% 1					－		4V-SI-023A 1	－		（重大事故等クラス２機器）

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格　JSME　S　NA1-2012/2013/2014を適用する。
※2：前検査間隔を維持規格2008年版のIA-2310(2)を適用し11ヵ年としたため、本検査間隔は9ヵ年としている。

５．クラス２機器漏えい検査（１／７）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1-2008※1				高浜発電所第４号機検査計画（10ヵ年）※2												備考（漏えい区分）
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	
							第20保全サイクル	第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	－	第24保全サイクル	第25保全サイクル	－	第26保全サイクル	
		化学体積制御系統														
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	体積制御タンク及び出入口ライン	VT－2	0.11	0.11	VT－2					－		○	－		※1　一部又は全部を気圧により検査 （3－1）
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	B－充てん／高圧注入ポンプ出口ライン	VT－2	17.76	17.76	VT－2			○		－			－		（3－3）
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	抽出ライン（1）	VT－2	15.41	15.41	VT－2			○		－			－		（3－5）
		抽出ライン（2）	VT－2	2.16	2.16	VT－2			○		－			－		（3－6）
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	体積制御タンク入口ライン	VT－2	0.19	0.19	VT－2		○			－			－		（3－8）
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	ほう酸タンク出入口ライン	VT－2	大気圧	水張り	VT－2		○			－			－		（3－9）
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	ほう酸ポンプ出口ライン	VT－2	0.71	0.71	VT－2					－		○	－		（3－10）

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格　JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
※2：前検査間隔を維持規格2008年版のIA-2310(2)を適用し11ヵ年としたため、本検査間隔は9ヵ年としている。

５．クラス２機器漏えい検査（２／７）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1-2008※1				高浜発電所第４号機検査計画（10ヵ年）※2												備考（漏えい区分）
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	
							第20保全サイクル	第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	－	第24保全サイクル	第25保全サイクル	－	第26保全サイクル	
		余熱除去系統														
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	Ａ－余熱除去ポンプ入口ライン	VT－２	2.75	2.75	VT－２					－		○	－		（３－１１）
		Ｂ－余熱除去ポンプ入口ライン	VT－２	2.75	2.75	VT－２				○	－			－		（３－１２）
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	Ｂ－余熱除去ポンプ出口ライン	VT－２	3.56	3.56	VT－２			○		－			－		（３－１４）
		燃料取替用水系統									－			－		
C7.30 C7.70	C-H	燃料取替用水タンク出口ライン	VT－２	大気圧	水張り	VT－２			○		－			－		（３－１５）
		燃料取替用水タンク原子炉キャビティ連絡ライン（PEN＃２２２）	VT－２	0.14	0.14	VT－２		○			－			－		（３－４１）
		安全注入系統									－			－		
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	蓄圧タンク及び出入口ライン	VT－２	4.22	4.22	VT－２			○		－			－		※1一部又は全部を気圧により検査 （３－１６）
		ほう酸注入タンク及び出入口ライン	VT－２	8.00	8.00	VT－２			○		－			－		（３－１７）
C7.30 C7.70	C-H	蓄圧タンク注入ライン（PEN＃２１６）	VT－２	4.40	4.40	VT－２					－			－	○	（３－４３）
		蓄圧タンクテストライン（PEN＃２２７）	VT－２	6.90	6.90	VT－２					－			－	○	（３－４４）
		充てん／高圧注入ポンプ出口安全注入ライン（２）	VT－２	8.00	8.00	VT－２			○		－			－		（３－１９）

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
※2：前検査間隔を維持規格2008年版のIA-2310(2)を適用し11ヵ年としたため、本検査間隔は9ヵ年としている。

５．クラス2機器漏えい検査（3／7）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1-2008※1				高浜発電所第４号機検査計画（10ヵ年）※2												備考（漏えい区分）
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	
							第20保全サイクル	第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	－	第24保全サイクル	第25保全サイクル	－	第26保全サイクル	
		安全注入系統														
C7.30 C7.70	C-H	充てん／高圧注入ポンプ出口安全注入ライン（4）	VT－2	8.00	8.00	VT－2			○		－			－		（3－21）
		格納容器再循環サンプ出口ライン（余熱除去ポンプ側）	VT－2	4.91kPa	4.91kPa	VT－2					－		○	－		（3－22）
		格納容器スプレイ系統									－			－		
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	よう素除去薬品タンク及び出入口ライン	VT－2	34.4kPa	34.4kPa	VT－2			○		－			－		※1　一部又は全部を気圧により検査 （3－23）
C7.30 C7.70	C-H	よう素除去薬品タンク出口ライン	VT－2	34.4kPa	34.4kPa	VT－2				○	－			－		（3－88）
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A－格納容器スプレイポンプ入口ライン	VT－2	0.36	0.36	VT－2					－		○	－		（3－24）
		B－格納容器スプレイポンプ入口ライン	VT－2	0.36	0.36	VT－2					－		○	－		（3－25）
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A－格納容器スプレイポンプ出口ライン	VT－2	1.97	1.97	VT－2					－		○	－		（3－26）
		B－格納容器スプレイポンプ出口ライン	VT－2	1.97	1.97	VT－2					－		○	－		（3－27）
C7.30 C7.70	C-H	格納容器スプレイポンプ出口ライン	VT－2	1.64	1.64	VT－2			○		－			－		（3－28）
		格納容器再循環サンプ出口ライン（格納容器スプレイポンプ側）	VT－2	4.91kPa	4.91kPa	VT－2				○	－			－		（3－29）

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格　JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
※2：前検査間隔を維持規格2008年版のIA-2310(2)を適用し11ヵ年としたため、本検査間隔は9ヵ年としている。

５．クラス2機器漏えい検査（4／7）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1-2008※1				高浜発電所第４号機検査計画（10ヵ年）※2												備考（漏えい区分）
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	
							第20保全サイクル	第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	－	第24保全サイクル	第25保全サイクル	－	第26保全サイクル	
		主給水系統														
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	Ａ－蒸気発生器給水入口ライン	VT－2	5.30	5.30	VT－2			○		－			－		（3－30）
		主蒸気系統														
C7.30 C7.70	C-H	Ａ－蒸気発生器出口ライン	VT－2	5.30	5.30	VT－2			○		－			－		（3－33）
		1次系補給水系統														
C7.30 C7.70	C-H	加圧器逃がしタンクPMW供給ライン（PEN＃279）	VT－2	0.80	0.80	VT－2				○	－			－		（3－38）
		1次系補給水ライン（PEN＃268）	VT－2	0.60	0.60	VT－2		○			－			－		（3－56）
		廃棄物処理系統														
C7.30 C7.70	C-H	蓄圧タンク窒素充てんライン（PEN＃218）	VT－2	4.40	4.40	VT－2				○	－			－		※1　一部又は全部を気圧により検査 （3－42）
		格納容器冷却材ドレンポンプ出口ライン（PEN＃225）	VT－2	0.70	0.70	VT－2				○	－			－		（3－86）
		格納容器サンプポンプ出口ライン（PEN＃234）	VT－2	0.15	0.15	VT－2		○			－			－		（3－87）

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格　JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
※2：前検査間隔を維持規格2008年版のIA-2310(2)を適用し11ヵ年としたため、本検査間隔は9ヵ年としている。

５．クラス2機器漏えい検査(5／7)

発電用原子力設備規格　維持規格(２００８年版)　JSME S NA1-2008※1				高浜発電所第４号機検査計画(10ヵ年)※2												備考 (漏えい区分)
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	
							第20保全サイクル	第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	－	第24保全サイクル	第25保全サイクル	－	第26保全サイクル	
		蒸気発生器ブローダウン系統														
C7.30 C7.70	C-H	A－蒸気発生器ブローダウンライン(PEN＃319)	VT－2	4.80	4.80	VT－2		○			－			－		(3－45－1)
		B－蒸気発生器ブローダウンライン(PEN＃318)	VT－2	4.80	4.80	VT－2		○			－			－		(3－45－2)
		C－蒸気発生器ブローダウンライン(PEN＃317)	VT－2	4.80	4.80	VT－2		○			－			－		(3－45－3)
		試料採取系統														
C7.30 C7.70	C-H	A－蒸気発生器ブローダウンサンプルライン(PEN＃259L)	VT－2	4.80	4.80	VT－2					－			－	○	(3－46－1)
		B－蒸気発生器ブローダウンサンプルライン(PEN＃259M)	VT－2	4.80	4.80	VT－2					－			－	○	(3－46－2)
		C－蒸気発生器ブローダウンサンプルライン(PEN＃259R)	VT－2	4.80	4.80	VT－2					－			－	○	(3－46－3)
		加圧器気相部サンプルライン(PEN＃231R)	VT－2	15.41	15.41	VT－2					－		○	－		(3－67)
		加圧器液相部・Bループ高温側サンプルライン(PEN＃231M)	VT－2	15.41	15.41	VT－2					－		○	－		(3－68)
		Aループ高温側サンプルライン(PEN＃235)	VT－2	15.41	15.41	VT－2					－		○	－		(3－69)
		蓄圧タンクサンプルライン(PEN＃231L)	VT－2	4.40	4.40	VT－2					－		○	－		(3－70)

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格　JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
※2：前検査間隔を維持規格2008年版のIA-2310(2)を適用し11ヵ年としたため、本検査間隔は9ヵ年としている。

5. クラス2機器漏えい検査(6／7)

発電用原子力設備規格　維持規格(２００８年版)　JSME S NA1-2008※1				高浜発電所第4号機検査計画(10ヵ年)※2												備考 (漏えい区分)
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	
							第20保全サイクル	第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	－	第24保全サイクル	第25保全サイクル	－	第26保全サイクル	
		原子炉補機冷却水系統														
C7.30 C7.70	C-H	CRDM冷却ユニット他冷却水入口ライン(PEN#313)	VT－2	0.60	0.60	VT－2					－			－	○	(3－63)
		CRDM冷却ユニット他冷却水出口ライン(PEN#314)	VT－2	0.07	0.07	VT－2					－			－	○	(3－64)
		RCP冷却水入口ライン(PEN#312)	VT－2	0.50	0.50	VT－2		○			－			－		(3－65)
		RCP冷却水出口ライン(PEN#311)	VT－2	0.07	0.07	VT－2		○			－			－		(3－66)
		A・B－C／V再循環ユニット冷却水入口ライン(PEN#255)	VT－2	0.60	0.60	VT－2				○	－			－		(3－57)
		A－C／V再循環ユニット冷却水出口ライン(PEN#256)	VT－2	0.50	0.50	VT－2				○	－			－		(3－59)
		B－C／V再循環ユニット冷却水出口ライン(PEN#257)	VT－2	0.50	0.50	VT－2		○			－			－		(3－60)
		C・D－C／V再循環ユニット冷却水入口ライン(PEN#229)	VT－2	0.60	0.60	VT－2		○			－			－		(3－58)
		C－C／V再循環ユニット冷却水出口ライン(PEN#230)	VT－2	0.50	0.50	VT－2		○			－			－		(3－61)
		D－C／V再循環ユニット冷却水出口ライン(PEN#232)	VT－2	0.50	0.50	VT－2					－			－	○	(3－62)
		DRPI室冷却ユニット冷却水入口ライン(PEN#274)	VT－2	0.25	0.25	VT－2					－			－	○	(3－93)
		DRPI室冷却ユニット冷却水出口ライン(PEN#275)	VT－2	0.25	0.25	VT－2		○			－			－		(3－94)

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
※2：前検査間隔を維持規格2008年版のIA-2310(2)を適用し11ヵ年としたため、本検査間隔は9ヵ年としている。

5．クラス2機器漏えい検査(7／7)

発電用原子力設備規格　維持規格(２００８年版)　JSME S NA1-2008※1				高浜発電所第４号機検査計画(10ヵ年)※2												備考 (漏えい区分)
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	
							第20保全サイクル	第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	－	第24保全サイクル	第25保全サイクル	－	第26保全サイクル	
		空気系統														
C7.30 C7.70	C-H	制御用空気ライン(PEN＃260)	VT－2	0.66	0.66	VT－2					－			－	○	※1　一部又は全部を気圧により検査 (3－79)
		制御用空気加圧器逃がし弁用供給ライン(1)(PEN＃262)	VT－2	0.66	0.66	VT－2					－			－	○	※1　一部又は全部を気圧により検査 (3－80)
		制御用空気加圧器逃がし弁用供給ライン(2)(PEN＃284)	VT－2	0.68	0.68	VT－2			○		－			－		※1　一部又は全部を気圧により検査 (3－81)
		所内用空気供給ライン(PEN＃265)	VT－2	0.71	0.71	VT－2			○		－			－		※1　一部又は全部を気圧により検査 (3－82)
		消火水系統														
C7.30 C7.70	C-H	消火水ライン(PEN＃271)	VT－2	1.30	1.30	VT－2		○			－			－		(3－83)
		炭酸ガス系統														
C7.30 C7.70	C-H	CO2消火ライン(PEN＃316)	VT－2	4.40	4.40	VT－2					－			－	○	※1　一部又は全部を気圧により検査 (3－91)

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
※2：前検査間隔を維持規格2008年版のIA-2310(2)を適用し11ヵ年としたため、本検査間隔は9ヵ年としている。

検査間隔延長プログラム

１．配管（１／１）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００２年改訂版）　JSME S NA1-2002※1,※2					高浜発電所第４号機検査計画（１０ヵ年）																備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	
								－	第17回	第18回	－	第19保全サイクル	第20保全サイクル							第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	
F1.21	F-A	支持構造物																					
		ＳＩＳ高温側補助注入ライン Ａ，Ｂ，Ｃ，共通ライン	ＶＴ－３	７．５％	１０７	ＶＴ－３	７．５％ 9	－	Ａ１	Ｂ１	－	Ｃ２	共通１							Ｃ３ 共通１			
		ＳＩＳ低温側補助注入ライン Ａ，Ｂ，Ｃ，共通ライン	ＶＴ－３	７．５％	４９	ＶＴ－３	７．５％ 4	－	Ａ１		－	Ｃ１			共通１					共通１			
		ＳＩＳ低温側ほう酸注入ライン Ａ，Ｂ，Ｃ，共通ライン	ＶＴ－３	７．５％	４７	ＶＴ－３	７．５％ 4	－	Ａ１		－	Ｃ１			共通１					共通１			（重大事故等クラス２機器）

※1：新規制基準施行（Ｈ２５年７月）後は、維持規格　JSME S NA1-2008を適用する。
※2：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

検査間隔延長プログラム

２．弁（１／１）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００２年改訂版）　JSME S NA1-2002※1,※2					高浜発電所第４号機検査計画（１０ヵ年）																	備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	
								－	第17回	第18回	－	第19保全サイクル	第20保全サイクル							第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	
F1.43	F-A	支持構造物																					
		ＳＩＳ高温側低圧注入ライン Ａライン　4V-SI-206	ＶＴ－３	類似弁ごとに1台の7.5%	1	ＶＴ－３	類似弁ごとに1台の7.5% 1	－			－										4V-SI-206 1		
		ＳＩＳ低温側補助注入ライン 4V-SI-094 4V-SI-302	ＶＴ－３	類似弁ごとに1台の7.5%	4	ＶＴ－３	類似弁ごとに1台の7.5% 1	－			－		4V-SI-094 1										
		ＳＩＳ低温側ほう酸注入ライン 4V-SI-042A 4V-SI-042B	ＶＴ－３	類似弁ごとに1台の7.5%	4	ＶＴ－３	類似弁ごとに1台の7.5% 1	－			－		4V-SI-042A 1										（重大事故等クラス２機器）

※1：新規制基準施行（Ｈ２５年７月）後は、維持規格　JSME S NA1-2008を適用する。
※2：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

検査間隔延長プログラム

３．クラス２機器漏えい検査（１／２）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００２年改訂版）　JSME S NA1-2002※1,※2				高浜発電所第４号機検査計画（１０ヵ年）																	備考（漏えい区分）
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	
							－	第17回	第18回	－	第19保全サイクル	第20保全サイクル							第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	
		化学体積制御系統																			
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	Ａ－充てん／高圧注入ポンプ出口ライン	VT－２	17.76	17.76	VT－２	－			－		○									（３－２）
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	Ｃ－充てん／高圧注入ポンプ出口ライン	VT－２	17.76	17.76	VT－２	－			－										○	（３－４）
C7.30 C7.70	C-H	抽出ライン（３）	VT－２	0.40	0.40	VT－２	－			－		○									（３－３１）
		封水戻りライン（PEN#２１７）	VT－２	0.10	0.10	VT－２	－			－		○									（３－３９）
		余熱除去系統																			
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	Ａ－余熱除去ポンプ出口ライン	VT－２	3.56	3.56	VT－２	－			－		○									（３－１３）
		安全注入系統																			
C7.30 C7.70	C-H	充てん／高圧注入ポンプ出口安全注入ライン（１）	VT－２	8.00	8.00	VT－２	－			－										○	（３－１８）

※1：新規制基準施行（Ｈ２５年７月）後は、維持規格　JSME S NA1-2008を適用する。
※2：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

検査間隔延長プログラム

３．クラス２機器漏えい検査（２／２）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００２年改訂版）　JSME S NA1-2002※1,※2				高浜発電所第４号機検査計画（１０ヵ年）																	備考（漏えい区分）
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	
							－	第17回	第18回	－	第19保全サイクル	第20保全サイクル							第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	
		安全注入系統																				
C7.30 C7.70	C-H	充てん／高圧注入ポンプ出口安全注入ライン（３）	VT－２	8.00	8.00	VT－２	－			－		○										（３－２０）
		主給水系統																				
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	Ｂ－蒸気発生器給水入口ライン	VT－２	5.30	5.30	VT－２	－			－		○										（３－３１）
		Ｃ－蒸気発生器給水入口ライン	VT－２	5.30	5.30	VT－２	－			－				○								（３－３２）
		主蒸気系統																				
C7.30 C7.70	C-H	Ｂ－蒸気発生器出口ライン	VT－２	5.30	5.30	VT－２	－			－		○										（３－３４）
		Ｃ－蒸気発生器出口ライン	VT－２	5.30	5.30	VT－２	－			－				○								（３－３５）

※1：新規制基準施行（Ｈ２５年７月）後は、維持規格　JSME S NA1-2008を適用する。
※2：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

クラス３機器供用期間中検査

1.余熱除去冷却器(胴側)（1／1）

発電用原子力設備規格　維持規格(2008年版) JSME S NA1－2008※1					高浜発電所第4号機検査計画（10ヵ年）												備　考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	
								第20保全サイクル				第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	－	第24保全サイクル	第25保全サイクル	
D1.10	D－A	胴と当板との溶接継手	VT－3 ※2	1基の 7.5%	4	VT－3 ※2	1基の7.5% 1					A1			－			
F1.44	F－A	支持脚	VT－3	1基の 7.5%	4	VT－3	1基の7.5% 1		A1						－			

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
※2：第23保全サイクルより維持維持 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、VT-3はVT-1と読み替える。

2.格納容器スプレイ冷却器（胴側）（1／1）

発電用原子力設備規格　維持規格(2008年版) JSME S NA1－2008※1					高浜発電所第4号機検査計画（10ヵ年）												備　考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	
								第20保全サイクル				第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	－	第24保全サイクル	第25保全サイクル	
D1.10	D－A	胴と当板との溶接継手	VT－3 ※2	1基の 7.5%	4	VT－3 ※2	1基の7.5% 1					A1			－			
F1.44	F－A	支持脚	VT－3	1基の 7.5%	4	VT－3	1基の7.5% 1					A1			－			

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
※2：第23保全サイクルより維持維持 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、VT-3はVT-1と読み替える。

3.原子炉補機冷却水冷却器（1／1）

発電用原子力設備規格　維持規格(2008年版) JSME S NA1－2008※1					高浜発電所第4号機検査計画（10ヵ年）												備　考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	
								第20保全サイクル				第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	－	第24保全サイクル	第25保全サイクル	
D1.10	D－A	胴と当板との溶接継手	VT－3 ※2	1基の7.5%	8	VT－3 ※2	1基の7.5% 1					A1			－			
F1.44	F－A	支持脚	VT－3	1基の7.5%	8	VT－3	1基の7.5% 1					A1			－			

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年6月5日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
※2：第23保全サイクルより維持維持 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、VT-3はVT-1と読み替える。

4.非常用ディーゼル発電機清水冷却器（1／1）

発電用原子力設備規格　維持規格(2008年版) JSME S NA1－2008※1					高浜発電所第4号機検査計画（10ヵ年）												備　考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	
								第20保全サイクル				第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	－	第24保全サイクル	第25保全サイクル	
D1.10	D－A	胴と補強板との溶接継手	VT－3 ※2	1基の7.5%	4	VT－3 ※2	1基の7.5% 1						A1		－			
F1.44	F－A	取付脚	VT－3	1基の7.5%	4	VT－3	1基の7.5% 1						A1		－			

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年6月5日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
※2：第23保全サイクルより維持維持 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、VT-3はVT-1と読み替える。

5. 非常用ディーゼル発電機潤滑油冷却器（1／1）

発電用原子力設備規格　維持規格(2008年版) JSME S NA1－2008※1					高浜発電所第4号機検査計画（10ヵ年）												備　考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	
								第20保全サイクル				第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	－	第24保全サイクル	第25保全サイクル	
D1.10	D－A	胴と補強板との溶接継手	VT－3 ※2	1基の 7.5%	4	VT－3 ※2	1基の7.5% 1								－	A1		
F1.44	F－A	取付脚	VT－3	1基の 7.5%	4	VT－3	1基の7.5% 1								－	A1		

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
※2：第23保全サイクルより維持維持 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、VT-3はVT-1と読み替える。

6. 配管（1／1）

発電用原子力設備規格　維持規格(2008年版) JSME S NA1－2008※1					高浜発電所第4号機検査計画（10ヵ年）												備　考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	
								第20保全サイクル				第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	－	第24保全サイクル	第25保全サイクル	
D1.20	D－A	配管の支持部材取付け溶接継手																
		原子炉補機冷却水系統	VT－3 ※2	7.5%	76	VT－3 ※2	7.5% 6	1	1			1	1		－	2		
		原子炉補機冷却海水系統	VT－3 ※2	7.5%	30	VT－3 ※2	7.5% 3		1			1			－	1		
F1.31	F－A	支持構造物																
		原子炉補機冷却水系統	VT－3	7.5%	430	VT－3	7.5% 33	5	5			9	4		－	10		
		原子炉補機冷却海水系統	VT－3	7.5%	251	VT－3	7.5% 19	3	2			6	2		－	6		

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
※2：第23保全サイクルより維持維持 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、VT-3はVT-1と読み替える。

7.原子炉補機冷却水ポンプ（1／1）

発電用原子力設備規格　維持規格(2008年版) JSME S NA1－2008※1					高浜発電所第4号機検査計画（10ヵ年）													備　考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	
								第20保全サイクル				第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	－	第24保全サイクル	第25保全サイクル	
F1.31	F－A	ポンプ台板脚	VT－3	1台の7.5% 1	20	VT－3	1台の7.5% 1					A1			－			

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

8.弁（1／1）

発電用原子力設備規格　維持規格(2008年版) JSME S NA1－2008※1					高浜発電所第4号機検査計画（10ヵ年）													備　考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	
								第20保全サイクル				第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	－	第24保全サイクル	第25保全サイクル	
F1.31	F－A	支持構造物																
		原子炉補機冷却水系統 4TCV－2342A 4TCV－2342B 4TCV－2342C 4TCV－2342D	VT－3	1台の7.5%	4	VT－3	1台の7.5% 1					4TCV－2342A 1			－			
		原子炉補機冷却水系統 4V－CC－043 4V－CC－044	VT－3	1台の7.5%	4	VT－3	1台の7.5% 1								－	4V－CC－043 1		

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

9. クラス３機器漏えい検査（1／2）

発電用原子力設備規格　維持規格(2008年版) JSME S NA1－2008※1					高浜発電所第4号機検査計画(10ヵ年)												備　考 (漏えい区分)
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	
							第20保全サイクル				第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	－	第24保全サイクル	第25保全サイクル	
		使用済燃料ピット冷却浄化 ・燃料検査ピット水移送系統															
D2.30	D－B	使用済燃料ピットポンプ入口ライン	VT－2	0.10	0.10	VT－2	○							－			(4－1)
D2.10 D2.30	D－B	A－使用済燃料ピットポンプ出口ライン	VT－2	0.59	0.59	VT－2	○							－			(4－2)
		B－使用済燃料ピットポンプ出口ライン	VT－2	0.59	0.59	VT－2		○						－			(4－3)
		原子炉補機冷却水系統															
D2.10 D2.30	D－B	A,B,C－原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	VT－2	0.31	0.31	VT－2		○						－			(4－4)
		D,E－原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	VT－2	0.31	0.31	VT－2					○			－			(4－5)
		原子炉補機冷却水ポンプ出口A供給ライン	VT－2	0.80	0.80	VT－2					○			－			(4－6)
		原子炉補機冷却水ポンプ出口B供給ライン	VT－2	0.80	0.80	VT－2						○		－			(4－7)
		原子炉補機冷却海水系統															
D2.10 D2.30	D－B	A－海水ポンプ出口ライン	VT－2	0.18	0.18	VT－2					○			－			(4－8)
		B－海水ポンプ出口ライン	VT－2	0.18	0.18	VT－2						○		－			(4－9)
		C－海水ポンプ出口ライン	VT－2	0.18	0.18	VT－2						○		－			(4－10)

※1:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

9. クラス３機器漏えい検査（2／2）

発電用原子力設備規格　維持規格(2008年版) JSME S NA1－2008※1					高浜発電所第4号機検査計画(10ヵ年)												備　考 (漏えい区分)
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	
							第20保全サイクル				第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	－	第24保全サイクル	第25保全サイクル	
		制御用空気系統															
D2.10 D2.30	D－B	Ａ－格納容器内制御用空気供給ライン	VT－2	0.66	0.66	VT－2								－	○		(4－11)
		Ｂ－格納容器内制御用空気供給ライン	VT－2	0.66	0.66	VT－2								－		○	(4－12)
		Ａ－格納容器外制御用空気供給ライン	VT－2	0.66	0.66	VT－2								－	○		(4－13)
		Ｂ－格納容器外制御用空気供給ライン	VT－2	0.66	0.66	VT－2								－		○	(4－14)
		ディーゼル発電機始動用空気系統															
D2.10 D2.30	D－B	Ａ－ディーゼル発電機始動用空気ライン	VT－2	2.65	2.65	VT－2								－	○		(4－15)
		Ｂ－ディーゼル発電機始動用空気ライン	VT－2	2.65	2.65	VT－2								－		○	(4－16)

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

供用期間中特別検査のうちクラス１機器Ｎｉ基合金使用部位特別検査

検査間隔延長プログラム

原子炉容器

NISA文書※1,※2					高浜発電所第4号機検査計画（10カ年）																	備 考
番項目号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	
								—	第17回	第18回	—	第19保全サイクル	第20保全サイクル							第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	
—	—	600系Ni基合金製の上蓋及び底部表面(600系Ni基合金製の各原子炉容器上蓋及び底部管台まわり360°を含む。)																					
		底部表面（計測用管台）	BMV	100%/5年	50	BMV	100%/検査間隔の半分 50	—		**50**	—									**50**			（重大事故等クラス2機器）
		呼び径100mm以上の管台とセーフエンドの溶接継手 ※1																					
		入口管台	BMV	100%	0	BMV	100% 0	—		A	—												H23年、690系Ni基合金に補修実施
		出口管台			0		100% 0	—		A	—												

※1：平成26年8月6日以降は、「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（原規技発第1408063号（平成26年8月6日原子力規制委員会決定））を適用する。また、「mm」は「A」と読み替える。
※2：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより亀裂解釈NRA文書改正を適用する。

加圧器

NISA文書※1,※2					高浜発電所第4号機検査計画（10カ年）																	備 考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	
								—	第17回	第18回	—	第19保全サイクル	第20保全サイクル							第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	
—	—	呼び径100mm以上の管台とセーフエンドの溶接継手 ※1																					
		逃がし弁管台	BMV	100%/5年	0	BMV	100%/検査間隔の半分 0	—		1	—												H22年、690系Ni基合金に補修実施
		安全弁管台			0		100%/検査間隔の半分 0	—		ＡＢＣ	—												
		スプレイ管台			0		100%/検査間隔の半分 0	—		1	—												
		サージ管台			0		100%/検査間隔の半分 0	—		1	—												

※1：平成26年8月6日以降は、「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（原規技発第1408063号（平成26年8月6日原子力規制委員会決定））を適用する。また、「mm」は「A」と読み替える。
※2：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより亀裂解釈NRA文書改正を適用する。

検査間隔延長プログラム

蒸気発生器

NISA文書※1,※2						高浜発電所第4号機検査計画（10カ年）																	備 考
番項目号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	
								—	第17回	第18回	—	第19保全サイクル	第20保全サイクル							第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	
—	—	呼び径100mm以上の管台とセーフエンドの溶接継手 ※1																					
		入口管台	BMV	100%	0	BMV	100% 0	—		C	—												H20年、690系Ni基合金に補修実施
		出口管台			0		100% 0	—	C		—												H22年、予防保全対策(USP)の応力腐食割れ防止の有効性が実証(回答通知書)

※1：平成26年8月6日以降は、「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（原規技発第1408063号（平成26年8月6日原子力規制委員会決定））を適用する。また、「mm」は「A」と読み替える。
※2：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより亀裂解釈NRA文書改正を適用する。

供用期間中特別検査のうちクラス２管（原子炉格納容器内）特別検査

検査間隔延長プログラム

NISA文書※1,※2					高浜発電所第4号機検査計画（10ヵ年）																	備　考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
								第19保全サイクル	第20保全サイクル							第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	－	第24保全サイクル	第25保全サイクル	－	
—	—	配管の耐圧部分の溶接継手																					
		抽出水ライン（3B）	体積	25%	19	UT	25% 5	1									2		－	2		－	
		充てんライン（3B）	体積	25%	54	UT	25% 14	3									7		－	4		－	（重大事故等クラス2機器）
		再生熱交換器連絡管（3B）																					
		抽出ライン連絡管	体積	25%	12	UT	25% 3			1							1		－	1		－	
		充てんライン連絡管	体積	25%	12	UT	25% 3			1							1		－	1		－	（重大事故等クラス2機器）

※1：平成26年8月6日以降は、「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(原規技発第1408063号(平成26年8月6日原子力規制委員会決定))を適用する。
※2：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより亀裂解釈NRA文書改正を適用する。

原子炉格納容器供用期間中検査

1．原子炉格納容器（1／1）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年改訂版）　JSME S NA1-2008※1					高浜発電所第４号機検査計画（10カ年）												備　考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	
								第22保全サイクル	第23保全サイクル	―	第24保全サイクル	第25保全サイクル	―	第26保全サイクル	第27保全サイクル	第28保全サイクル	―	
E8.10	E-G	機器搬入口用ボルト締め付け部	VT-4	25%	72	VT-4	25% 18	18		―			―				―	

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス２機器供用期間中検査計画（クラス１機器供用期間中検査範囲）

１．原子炉容器（１／２）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年改訂版）　JSME S NA1-2008※1					高浜発電所第４号機検査計画	備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度		
B1.102	B-A	下部胴の長手溶接継手	体　積	可能範囲各１００％		
B2.111	B-B	上部胴と下部胴との周溶接継手	体　積	５％※2		
		下部胴とトランジションリングとの周溶接継手	体　積	５％※2		
		トランジションリングと下部鏡板との周溶接継手	体　積	５％※2		
B3.105	B-C	上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体　積	可能範囲各１００％		
B3.10	B-D	冷却材入口管台と胴との溶接継手	体　積	可能範囲各１００％		
		冷却材出口管台と胴との溶接継手	体　積	可能範囲各１００％		
B3.20	B-D	冷却材入口管台内面の丸みの部分	体　積	可能範囲各１００％		
		冷却材出口管台内面の丸みの部分	体　積	可能範囲各１００％		
B5.10	B-F	冷却材入口管台とセーフエンドの溶接継手（呼び径100A以上）	体積及び表　面	可能範囲各１００％		H23年、690系Ni基合金に補修実施
		冷却材出口管台とセーフエンドの溶接継手（呼び径100A以上）	体積及び表　面	可能範囲各１００％		H23年、690系Ni基合金に補修実施
B6.10	B-G-1	ナット	ＶＴ－１	１００％		
B6.30	B-G-1	スタッドボルト	体　積	１００％		
B6.40	B-G-1	胴フランジネジ穴のネジ部	体　積	１００％		
B6.50	B-G-1	ワッシャ	ＶＴ－１	１００％		
B7.10	B-G-2	マーマンカップリング	ＶＴ－１	２５％		

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
※2：第23保全サイクルより維持維持 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、「５％」は「可能範囲１００％」と読み替える。

重大事故等クラス２機器供用期間中検査計画（クラス１機器供用期間中検査範囲）

１．原子炉容器（２／２）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年改訂版）　JSME S NA1-2008※1					高浜発電所第４号機検査計画	備　考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度		
G1.10	G-P-1	容器内部	ＶＴ－３	全範囲の７．５％各検査時期毎※3		
G1.40	G-P-1	上部炉心支持構造物の内部取付物	ＶＴ－３	全範囲の７．５％		
		下部炉心支持構造物の内部取付物	ＶＴ－３	全範囲の７．５％		
		炉心内部取付物	ＶＴ－３	全範囲の７．５％		
G1.50	G-P-2	上部炉心支持構造物	ＶＴ－３	全範囲の７．５％		
		下部炉心支持構造物	ＶＴ－３	全範囲の７．５％		
B14.10	B-O	制御棒駆動ハウジングの溶接継手（上部）	体積又は表　面	最外周の２５％		
		制御棒駆動ハウジングの溶接継手（下部）				
B15.10	B-P	圧力保持範囲	ＶＴ－２	可能範囲１００％		
F1.41	F-A	支持構造物（サポートブラケット、サポートシュー、基礎ボルト）	ＶＴ－３	２５％		

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格　JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
※2：第23保全サイクルより維持維持　JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、「全範囲の７．５％ 各検査時期毎」は「全範囲の７．５％」と読み替える。

重大事故等クラス２機器供用期間中検査計画（クラス１機器供用期間中検査範囲）

２．加圧器（１／１）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年改訂版）　JSME S NA1-2008※1					高浜発電所第４号機検査計画	備　考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度		
B2.11	B-B	上部胴と上部鏡板との周継手	体　積	５％	クラス１機器供用期間中検査で管理	
		下部胴と下部鏡板との周継手	体　積	５％		
B2.12	B-B	上部胴の長手継手	体　積	各１０％		
		下部胴の長手継手	体　積	各１０％		
B2.13	B-B	上部胴と下部胴との周継手	体　積	５％		
B3.30	B-D	管台と容器との溶接継手	体　積	２５％		
B3.40	B-D	管台内面の丸みの部分	体　積	２５％		
B5.40	B-F	管台とセーフエンドの溶接継手（呼び径100A以上）				
		加圧器逃がし弁管台	体積及び表　面	２５％		H22年、690系Ni基合金に補修実施
		加圧器安全弁管台				
		加圧器スプレイ管台				
		加圧器サージ管台				
B7.20	B-G-2	マンホールの取付けボルト	ＶＴ－１	２５％		
B8.20	B-H	支持部材の容器への取付け溶接継手（スカート溶接継手）	表　面	７．５％		
B15.20	B-P	圧力保持範囲	ＶＴ－２	可能範囲１００％		
F1.41	F-A	支持構造物（スカート、基礎ボルト）	ＶＴ－３	２５％		

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格　JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス２機器供用期間中検査計画（クラス１機器供用期間中検査範囲）

３．蒸気発生器（１／１）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年改訂版）　JSME S NA1-2008※1					高浜発電所第４号機検査計画	備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度		
B2.40	B-B	管板と水室鏡との溶接継手	体　積	１基の２５％	クラス１機器供用期間中検査で管理	
B3.60	B-D	冷却材入口管台の内面の丸みの部分， 冷却材出口管台の内面の丸みの部分	体　積	１基の２５％		
B5.70	B-F	冷却材入口管台とセーフエンドの溶接継手， 冷却材出口管台とセーフエンドの溶接継手 （呼び径100A以上）	体積及び表　面	１基の２５％		・H20年、入口管台について690系Ni基合金に補修実施 ・H22年、出口管台について予防保全対策(USP)の応力腐食割れ防止の有効性が実証(回答通知書)
B7.30	B-G-2	１次側マンホールの取付けボルト	ＶＴ－１	１基の２５％		
B15.30	B-P	圧力保持範囲	ＶＴ－２	可能範囲１００％		
F1.41	F-A	支持構造物 （支持脚、ベースプレート、基礎ボルト）	ＶＴ－３	１基の２５％		

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス２機器供用期間中検査計画（クラス１機器供用期間中検査範囲）

４．配管（１／４）

発電用原子力設備規格　維持規格(２００８年改訂版)　JSME S NA1-2008※1					高浜発電所第４号機検査計画	備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度		
B9.11	B-J	配管の同種金属溶接継手（呼び径100A以上）			クラス１機器供用期間中検査で管理	
		１次冷却材管 (27.51NID,836.00mm,29INID,311NID) Ａ，Ｂ，Ｃループ	体　積	２５％		
		加圧器サージ管　(14B,355.60mm)	体　積	２５％		
		加圧器安全弁ライン　(6B) Ａ，Ｂ，Ｃライン	体　積	２５％		
		加圧器逃がし弁ライン　(6B)	体　積	２５％		
		余熱除去ポンプ入口ライン　(12B) Ｂ，Ｃループ	体　積	２５％		
		ＳＩＳ蓄圧注入ライン (12B,318.50mm) Ａ，Ｂ，Ｃループ	体　積	２５％		
		ＳＩＳ低温側低圧注入ライン　(6B) Ａ，Ｂ，Ｃループ	体　積	２５％		
B9.21	B-J	配管の同種金属溶接継手（呼び径100A未満）				
		加圧器逃がし弁ライン　(3B)	表　面	２５％		

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格　JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス２機器供用期間中検査計画（クラス１機器供用期間中検査範囲）

４．配管（２／４）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年改訂版）　JSME S NA1-2008※1					高浜発電所第４号機検査計画	備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度		
B9.21	B-J	配管の同種金属溶接継手（呼び径100A未満）			クラス１機器供用期間中検査で管理	
		ＣＶＣＳ充てんライン (3B,89.10mm) Bループ	表　面	２５％		
		ＳＩＳ低温側ほう酸注入ライン (2B,60.50mm) A，B，Cループ	表　面	２５％		
B9.31	B-J	母管と管台との溶接継手（呼び径100A以上）				
		１次冷却材管　(4B,6B,12B,14B) A，B，Cループ	体　積	２５％		
B9.32	B-J	母管と管台との溶接継手（呼び径100A未満）				
		１次冷却材管　(2B,3B,63.50mm) A，B，Cループ	表　面	２５％		
		ＳＩＳ低温側低圧注入ライン　(2B) A，B，Cループ	表　面	２５％		

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス２機器供用期間中検査計画（クラス１機器供用期間中検査範囲）

４．配管（３／４）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年改訂版）　JSME S NA1-2008※1					高浜発電所第４号機検査計画	備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度		
B9.40	B-J	ソケット溶接継手			クラス１機器供用期間中検査で管理	
		ＳＩＳ低温側ほう酸注入ライン(2B) Ａ，Ｂ，Ｃループ	表　面	２５％		
B10.20	B-K	配管の支持部材取付け溶接継手				
		余熱除去ポンプ入口ライン Ｂ，Ｃループ	表　面	７．５％		
B15.50	B-P	圧力保持範囲	ＶＴ－２	可能範囲 １００％		
F1.10	F-A	支持構造物				
		加圧器サージ管	ＶＴ－３	２５％		
		加圧器逃がし弁ライン	ＶＴ－３	２５％		
		余熱除去ポンプ入口ライン Ｂ，Ｃループ	ＶＴ－３	２５％		

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス２機器供用期間中検査計画（クラス１機器供用期間中検査範囲）

４．配管（４／４）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年改訂版）　JSME S NA1-2008※1					高浜発電所第４号機検査計画	備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度		
F1.10	Ｆ－Ａ	支持構造物			クラス１機器供用期間中検査で管理	
		ＣＶＣＳ充てんライン Ｂループ	ＶＴ－３	２５％		
		ＳＩＳ蓄圧注入ライン Ａ，Ｂ，Ｃループ	ＶＴ－３	２５％		
		ＳＩＳ低温側低圧注入ライン Ａ，Ｂ，Ｃループ	ＶＴ－３	２５％		
		ＳＩＳ低温側ほう酸注入ライン Ａ，Ｂ，Ｃループ	ＶＴ－３	２５％		

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格　JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス２機器供用期間中検査計画（クラス１機器供用期間中検査範囲）

５．１次冷却材ポンプ（１／１）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年改訂版）　JSME S NA1-2008※1					高浜発電所第４号機検査計画	備　考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度		
B6.180	B-G-1	スタッドボルト	体　積	１台の25%		
B6.190	B-G-1	フランジ表面	ＶＴ－１	１台の25%		ポンプ分解点検時に実施
B6.200	B-G-1	ナット	ＶＴ－１	１台の25%		
		ワッシャ	ＶＴ－１	１台の25%		
B12.20	B-L-2	ケーシングの内表面	ＶＴ－３	1		ポンプ分解点検時に実施
B15.60	B-P	圧力保持範囲	ＶＴ－２	可能範囲１００%		
F1.41	F-A	支持構造物（支持脚、ベースプレート、基礎ボルト）	ＶＴ－３	１台の25%		

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格　JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス２機器供用期間中検査計画（クラス１機器供用期間中検査範囲）

６．弁（１／２）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年改訂版）　JSME S NA1-2008※1					高浜発電所第４号機検査計画	備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度		
B7.70	B-G-2	圧力保持用ボルト締付け部（直径５０ｍｍ以下）			クラス１機器供用期間中検査で管理	
		加圧器安全弁ライン Ａ，Ｂ，Ｃライン　4V-RC-055 4V-RC-056 4V-RC-057	ＶＴ－１	類似弁ごとに１台の25%		
		加圧器逃がし弁ライン 4V-RC-054A 4V-RC-054B 4V-RC-054C	ＶＴ－１	類似弁ごとに１台の25%		
		4PCV-455A 4PCV-455B 4PCV-454C	ＶＴ－１	類似弁ごとに１台の25%		
		ＣＶＣＳ充てんライン Ｂループ　4V-CS-233 4V-CS-234	ＶＴ－１	類似弁ごとに１台の25%		
		余熱除去ポンプ入口ライン Ｂ，Ｃループ　4PCV-420 4PCV-430	ＶＴ－１	類似弁ごとに１台の25%		
		余熱除去ポンプ入口ライン Ｂ，Ｃループ　4V-RH-003A 4V-RH-003B	ＶＴ－１	類似弁ごとに１台の25%		
		ＳＩＳ蓄圧注入ライン Ａ，Ｂ，Ｃループ4V-SI-134A，136A 4V-SI-134B，136B 4V-SI-134C，136C	ＶＴ－１	類似弁ごとに１台の25%		
		ＳＩＳ低温側低圧注入ライン Ａ，Ｂ，Ｃループ4V-SI-202A，203A 4V-SI-202B，203B 4V-SI-202C，203C	ＶＴ－１	類似弁ごとに１台の25%		

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス２機器供用期間中検査計画（クラス１機器供用期間中検査範囲）

6．弁（2／2）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年改訂版）　JSME S NA1-2008※1					高浜発電所第４号機検査計画	備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度		
B12.50	B-M-2	弁本体の内表面			クラス１機器供用期間中検査で管理	
		加圧器安全弁ライン A，B，Cライン　4V-RC-055 4V-RC-056 4V-RC-057	ＶＴ－３	類似弁ごとに1		
		余熱除去ポンプ入口ライン B，Cループ　4PCV-420 4PCV-430	ＶＴ－３	類似弁ごとに1		
		余熱除去ポンプ入口ライン B，Cループ　4V-RH-003A 4V-RH-003B	ＶＴ－３	類似弁ごとに1		
		ＳＩＳ蓄圧注入ライン A，B，Cループ 4V-SI-134A,136A 4V-SI-134B,136B 4V-SI-134C,136C	ＶＴ－３	類似弁ごとに1		
		ＳＩＳ低温側低圧注入ライン A，B，Cループ 4V-SI-202A,203A 4V-SI-202B,203B 4V-SI-202C,203C	ＶＴ－３	類似弁ごとに1		
B15.70	B-P	圧力保持範囲	ＶＴ－２	可能範囲１００％		
F1.41	F-A	支持構造物				
		加圧器安全弁ライン A，B，Cライン　4V-RC-055 4V-RC-056 4V-RC-057	ＶＴ－３	類似弁ごとに1台の２５％		
		加圧器逃がし弁ライン 4V-RC-054A 4V-RC-054B 4V-RC-054C	ＶＴ－３	類似弁ごとに1台の２５％		
		4PCV-455A 4PCV-455B 4PCV-454C	ＶＴ－３	類似弁ごとに1台の２５％		
		余熱除去ポンプ入口ライン B，Cループ　4PCV-420 4PCV-430	ＶＴ－３	類似弁ごとに1台の２５％		
		余熱除去ポンプ入口ライン B，Cループ　4V-RH-003A 4V-RH-003B	ＶＴ－３	類似弁ごとに1台の２５％		

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格　JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス２機器供用期間中検査計画（クラス１機器Ni基合金使用部位特別検査範囲）

原子炉容器

NRA文書※1,※2					高浜発電所第4号機検査計画	備　考
番項目号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	クラス１機器Ni基合金使用部位特別検査で管理	
—	—	600系Ni基合金製の上蓋及び底部表面(600系Ni基合金製の各原子炉容器上蓋及び底部管台まわり360°を含む。)				
		底部表面（計測用管台）	BMV	100%/5年		

※1：「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（原規技発第1408063号(平成26年8月6日原子力規制委員会決定)）
※2：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより亀裂解釈NRA文書改正を適用する。

重大事故等クラス２機器供用期間中検査計画（クラス２管（原子炉格納容器内）特別検査範囲）

ＮＲＡ文書※1，※2					高浜発電所第4号機検査計画	備　考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度		
—	—	配管の耐圧部分の溶接継手			クラス２管（原子炉格納容器内）特別検査で管理	
		充てんライン（3B）	体積	25%		
		再生熱交換器連絡管（3B）				
		充てんライン連絡管	体積	25%		

※1：「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（原規技発第1408063号（平成26年8月6日原子力規制委員会決定））
※2：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより亀裂解釈NRA文書改正を適用する。

重大事故等クラス２機器供用期間中検査計画

１．格納容器スプレイ冷却器管側（１／１）

発電用原子力設備規格　維持規格(２００８年版)　JSME S NA1－2008※1					高浜発電所第４号機検査計画(10ヵ年)													備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
								第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	－	第24保全サイクル	第25保全サイクル	－	
C1.10	C-A	管側胴と管側フランジとの周溶接継手	体　積	１基の7.5%	２	ＵＴ	１基の7.5%							－	A ７．５%		－	
C1.20	C-A	管側鏡と管側胴との周溶接継手	体　積	１基の7.5%	２	ＵＴ	１基の7.5%						A ７．５%	－			－	

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格　JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス２機器供用期間中検査計画

２．余熱除去冷却器管側（１／１）

発電用原子力設備規格　維持規格(２００８年版)　JSME S NA1－2008※1					高浜発電所第４号機検査計画	備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度		
C1.10	C-A	管側胴と管側フランジとの周溶接継手	体　積	１基の7.5%	クラス２機器供用期間中検査で管理	
C1.20	C-A	管側鏡と管側胴との溶接継手	体　積	１基の7.5%		
C2.21	C-B	管側入口管台及び管側出口管台と管側胴との溶接継手	体積及び表　面	７．５％		

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格　JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス２機器供用期間中検査計画

３．配管（１／３）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1－2008※1					高浜発電所第４号機検査計画（10ヵ年）													備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
								第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	－	第24保全サイクル	第25保全サイクル	－	
C3.20	C-C	配管の支持部材取付け溶接継手																
		格納容器再循環サンプ出口ライン(355.60mm)Aライン（格納容器スプレイ系統）	表　面	７．５％	２	ＰＴ	７．５％1					Ａ１		－			－	
C5.11	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手（呼び径１００Ａを超え公称肉厚９．５ｍｍを超えるもの）																
		格納容器再循環サンプ出口ライン(14B,355.60mm)Aライン（格納容器スプレイ系統）	体積又は表　面	７．５％	６	ＰＴ	７．５％0							－			－	全箇所、ガードパイプ内の溶接継手であり、維持規格IA2360(接近性)の規定を適用し、検査を免除する。
		格納容器スプレイポンプ入口ライン(14B,355.60mm)A、Bライン	体積又は表　面	７．５％	２５	ＰＴ	７．５％2					Ａ１		－	Ｂ１		－	
F1.21	F-A	支持構造物																
		ＳＩＳ高温側低圧注入ラインAライン	ＶＴ－３	７．５％	３	ＶＴ－３	７．５％1						Ａ１	－			－	
		充てん／高圧注入ポンプ入口ライン	ＶＴ－３	７．５％	２２	ＶＴ－３	７．５％2					１		－	１		－	
		原子炉補機冷却水ポンプ出入口ライン	ＶＴ－３	７．５％	１１２	ＶＴ－３	７．５％9				３	３		－	３		－	
		格納容器再循環サンプ出口ラインAライン（格納容器スプレイ系統）	ＶＴ－３	７．５％	１	ＶＴ－３	７．５％1							－	Ａ１		－	
		格納容器スプレイポンプ入口ラインAライン	ＶＴ－３	７．５％	７	ＶＴ－３	７．５％1							－	Ａ１		－	
		格納容器スプレイポンプ出口ラインA、Bライン	ＶＴ－３	７．５％	１０	ＶＴ－３	７．５％1							－		Ａ１	－	
		格納容器スプレイ冷却器出口ラインA、Bライン	ＶＴ－３	７．５％	１８	ＶＴ－３	７．５％2					Ａ１		－		Ｂ１	－	
		格納容器スプレイ系統余熱除去系統連絡ライン	ＶＴ－３	７．５％	１０	ＶＴ－３	７．５％1					１		－			－	
		恒設代替低圧注水ポンプ出口ライン	ＶＴ－３	７．５％	２３	ＶＴ－３	７．５％2					１		－		１	－	
		可搬式代替低圧注水ポンプ出口ライン	ＶＴ－３	７．５％	２	ＶＴ－３	７．５％1							－		１	－	
		アニュラス空気浄化ライン	ＶＴ－３	７．５％	５９	ＶＴ－３	７．５％5				Ｂ１	Ｂ２		－		Ａ２	－	

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス２機器供用期間中検査計画

３．配管（２／３）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1－2008※1					高浜発電所第４号機検査計画	備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度		
C3.20	C-C	配管の支持部材取付け溶接継手			クラス２機器供用期間中検査で管理	
		余熱除去ポンプ入口ライン (318.50mm,355.60mm) Ａ、Ｂライン	表　面	７．５％		
		余熱除去ポンプ出口ライン (267.40mm) Ａ、Ｂライン	表　面	７．５％		
		ＳＩＳ低温側低圧注入ライン (165.20mm,267.40mm) Ａ，Ｂ，Ｃライン	表　面	７．５％		
		ＳＩＳ低温側ほう酸注入ライン (60.50mm,89.10mm) Ａ，Ｂ，共通ライン	表　面	７．５％		
		充てん／高圧注入ポンプ入口ライン (216.30mm)	表　面	７．５％		
		充てん／高圧注入ポンプ出口ライン (89.10mm,114.30mm)	表　面	７．５％		
		１次冷却材管低温側高圧注入ライン ほう酸注入タンク出口側 (89.10mm)	表　面	７．５％		
		格納容器再循環サンプ出口ライン (355.60mm) Ａ，Ｂライン（余熱除去系統）	表　面	７．５％		
C5.11	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手（呼び径１００Ａを超え公称肉厚９．５ｍｍを超えるもの）				
		余熱除去ポンプ入口ライン (12B,14B,318.50mm,355.60mm) Ａ，Ｂライン	体積又は表　面	７．５％		
		ＳＩＳ低温側低圧注入ライン (6B,10B,165.20mm,267.40mm) Ａ，Ｂ，Ｃライン	体積及び表　面	７．５％		
		格納容器再循環サンプ出口ライン (14B,355.60mm) Ａ，Ｂライン（余熱除去系統）	体積又は表　面	７．５％		

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格　JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス２機器供用期間中検査計画

３．配管（３／３）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1－2008※1					高浜発電所第４号機検査計画	備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度		
C5.21	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手（呼び径５０Ａ以上１００Ａ以下で公称肉厚５ｍｍを超えるもの）			クラス２機器供用期間中検査で管理	
		ＳＩＳ低温側ほう酸注入ライン（2B,3B,60.5mm,89.1mm）Ａ，Ｂ，Ｃ，共通ライン	表　面	７．５％		
		充てん／高圧注入ポンプ出口ライン（3B,4B,89.1mm）	表　面	７．５％		
C5.30	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手（ソケット溶接継手）				
		ＳＩＳ低温側ほう酸注入ライン（2B）Ａ，Ｂ，Ｃライン	表　面	７．５％		
F1.21	F-A	支持構造物				
		余熱除去ポンプ入口ライン Ａ，Ｂライン	ＶＴ－３	７．５％		
		余熱除去ポンプ出口ライン Ａ，Ｂライン	ＶＴ－３	７．５％		
		ＳＩＳ低温側低圧注入ライン Ａ，Ｂ，Ｃライン	ＶＴ－３	７．５％		
		ＳＩＳ低温側ほう酸注入ライン Ａ，Ｂ，Ｃ，共通ライン	ＶＴ－３	７．５％		
		充てん／高圧注入ポンプ出口ライン	ＶＴ－３	７．５％		
		格納容器再循環サンプ出口ライン Ａ，Ｂライン（余熱除去系統）	ＶＴ－３	７．５％		

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格　JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス２機器供用期間中検査計画

４．格納容器スプレイポンプ（１／１）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1－2008※1					高浜発電所第４号機検査計画（10ヵ年）													備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
								第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	－	第24保全サイクル	第25保全サイクル	－	
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表　面	１台の7.5%	４	ＰＴ	１台の7.5% 1					Ａ１		－			－	
F1.43	F-A	ポンプの台板脚	ＶＴ－３	１台の7.5%	４	ＶＴ－３	１台の7.5% 1				Ａ１			－			－	

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格　JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス２機器供用期間中検査計画

５．余熱除去ポンプ（１／１）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1－2008※1					高浜発電所第４号機検査計画	備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	クラス２機器供用期間中検査で管理	
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表　面	１台の7.5%		
F1.43	F-A	ポンプの台板脚	ＶＴ－３	１台の7.5%		

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格　JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス２機器供用期間中検査計画

６．原子炉補機冷却水ポンプ（１／１）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1－2008※1					高浜発電所第４号機検査計画（10ヵ年）												備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
								第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	－	第24保全サイクル	第25保全サイクル	－	
F1.43	F-A	ポンプの台板脚	ＶＴ－３	１台の7.5%	１２	ＶＴ－３	１台の7.5% 1						Ａ１	－			－	対象はＡ、Ｂ、Ｃ原子炉補機冷却水ポンプ

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格　JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス２機器供用期間中検査計画

7．恒設代替低圧注水ポンプ（１／１）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1－2008※1					高浜発電所第４号機検査計画（10ヵ年）												備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
								第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	－	第24保全サイクル	第25保全サイクル	－	
F1.43	F-A	ポンプの台板脚	ＶＴ－３	１台の7.5%	２	ＶＴ－３	１台の7.5% 1						1	－			－	

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格　JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス２機器供用期間中検査計画

８．弁（１／２）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1－2008※1					高浜発電所第４号機検査計画（10ヵ年）												備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
								第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	－	第24保全サイクル	第25保全サイクル	－	
F1.43	F-A	支持構造物																
		原子炉補機冷却水ポンプ出入口ライン 4V-TCV-2342A 4V-TCV-2342B	ＶＴ－３	類似弁ごとに１台の７．５％	２	ＶＴ－３	類似弁ごとに１台の７．５％1							－	4V-TCV-2342A 1		－	
		格納容器スプレイ系統余熱除去系統連絡ライン 4V-RH-100 4V-RH-101	ＶＴ－３	類似弁ごとに１台の７．５％	２	ＶＴ－３	類似弁ごとに１台の７．５％1							－	4V-RH-100 1		－	

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格　JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス２機器供用期間中検査計画

８．弁（２／２）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1－2008※1					高浜発電所第４号機検査計画	備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度		
F1.43	F-A	支持構造物			クラス２機器供用期間中検査で管理	
		余熱除去ポンプ入口ライン Ａ，Ｂライン　4V-RH-041A 4V-RH-041B	ＶＴ－３	類似弁ごとに１台の７．５％		
		余熱除去ポンプ出口ライン Ａ，Ｂライン　4V-RH-024A 4V-RH-024B	ＶＴ－３	類似弁ごとに１台の７．５％		
		余熱除去ポンプ出口ライン Ａ，Ｂライン　4PCV-601 4PCV-611	ＶＴ－３	類似弁ごとに１台の７．５％		
		余熱除去ポンプ出口ライン Ａ，Ｂライン　4HCV-603 4HCV-613	ＶＴ－３	類似弁ごとに１台の７．５％		
		余熱除去ポンプ出口ライン Ａ，Ｂライン　4FCV-604 4FCV-614	ＶＴ－３	類似弁ごとに１台の７．５％		
		ＳＩＳ低温側低圧注入ライン Ａ，Ｃライン　4V-SI-197A 4V-SI-197B	ＶＴ－３	類似弁ごとに１台の７．５％		
		ＳＩＳ低温側ほう酸注入ライン 4V-SI-042A 4V-SI-042B	ＶＴ－３	類似弁ごとに１台の７．５％		
		充てん／高圧注入ポンプ出口ライン 4V-SI-023A 4V-SI-023B	ＶＴ－３	類似弁ごとに１台の７．５％		

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格　JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス２機器供用期間中検査計画

９．クラス２機器漏えい検査（１／４）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1-2008※1				高浜発電所第４号機検査計画（10ヵ年）												備考（漏えい区分）
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	ＳＡ使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	－	第24保全サイクル	第25保全サイクル	－	
		化学体積制御系統															
C7.30 C7.70	C-H	体積制御タンク及び出入口ライン	VT－２	1.4	1.4	VT－２							－		○	－	（SA-1）
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	Ａ－充てん／高圧注入ポンプ出口ライン	VT－２	18.8	18.8	VT－２					○		－			－	（SA-2）
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	Ｂ－充てん／高圧注入ポンプ出口ライン	VT－２	18.8	18.8	VT－２					○		－			－	（SA-3）
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	Ｃ－充てん／高圧注入ポンプ出口ライン	VT－２	18.8	18.8	VT－２					○		－			－	（SA-4）
C7.30 C7.70	C-H	ほう酸タンク出入口ライン	VT－２	大気圧	水張り	VT－２				○			－			－	（SA-5）
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	ほう酸ポンプ出口ライン	VT－２	0.98	0.98	VT－２							－		○	－	（SA-6）
C7.30 C7.70	C-H	B-充てん／高圧注入ポンプ自己冷却ライン（充てん／高圧注入ポンプ出口側）	VT－２	18.8	18.8	VT－２				○			－			－	（SA-7）
C7.30 C7.70	C-H	B-充てん／高圧注入ポンプ自己冷却ライン（充てん／高圧注入ポンプ入口側）	VT－２	1.4	1.4	VT－２				○			－			－	（SA-8）

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格　JSME　S　NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス２機器供用期間中検査計画

９．クラス２機器漏えい検査（２／４）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1-2008※1				高浜発電所第４号機検査計画（10ヵ年）													備考（漏えい区分）
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	ＳＡ使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	－	第24保全サイクル	第25保全サイクル	－	
		余熱除去系統															
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	Ａ－余熱除去ポンプ入口ライン	VT－２	4.1	4.1	VT－２							－		○	－	（SA-9）
		Ｂ－余熱除去ポンプ入口ライン	VT－２	4.1	4.1	VT－２						○	－			－	（SA-10）
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	Ａ－余熱除去ポンプ出口ライン	VT－２	4.1	4.1	VT－２					○		－			－	（SA-11）
		Ｂ－余熱除去ポンプ出口ライン	VT－２	4.1	4.1	VT－２					○		－			－	（SA-12）
		燃料取替用水系統															
C7.30 C7.70	C-H	燃料取替用水タンク出口ライン	VT－２	大気圧	水張り	VT－２					○		－			－	（SA-13）
		安全注入系統															
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	蓄圧タンク及び出入口ライン	VT－２	4.9	4.9	VT－２					○		－			－	（SA-14）
		ほう酸注入タンク及び出入口ライン	VT－２	18.8	18.8	VT－２					○		－			－	（SA-15）
C7.30 C7.70	C-H	充てん／高圧注入ポンプ出口安全注入ライン（2）	VT－２	17.16	17.16	VT－２					○		－			－	（SA-16）
		格納容器再循環サンプ出口ライン（余熱除去ポンプ側）	VT－２	4.1	4.1	VT－２							－		○	－	（SA-17）

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格　JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス２機器供用期間中検査計画

９．クラス２機器漏えい検査（３／４）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1-2008※1				高浜発電所第４号機検査計画（10ヵ年）												備考（漏えい区分）
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	ＳＡ使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	－	第24保全サイクル	第25保全サイクル	－	
		格納容器スプレイ系統															
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A－格納容器スプレイポンプ入口ライン	VT－2	2.7	2.7	VT－2							－		○	－	（SA-18）
		B－格納容器スプレイポンプ入口ライン	VT－2	2.7	2.7	VT－2							－		○	－	（SA-19）
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A－格納容器スプレイポンプ出口ライン	VT－2	2.7	2.7	VT－2							－		○	－	（SA-20）
		B－格納容器スプレイポンプ出口ライン	VT－2	2.7	2.7	VT－2							－		○	－	（SA-21）
C7.30 C7.70	C-H	格納容器スプレイポンプ出口ライン	VT－2	2.7	2.7	VT－2					○		－			－	（SA-22）
		格納容器再循環サンプ出口ライン（格納容器スプレイポンプ側）	VT－2	0.35	0.35	VT－2						○	－			－	（SA-23）
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	恒設代替低圧注水ポンプ入口ライン	VT－2	1.4	1.4	VT－2				○			－			－	（SA-24）
		恒設代替低圧注水ポンプ出口ライン	VT－2	2.7	2.7	VT－2				○			－			－	（SA-25）
C7.30 C7.70	C-H	可搬式代替低圧注水ポンプ出口ライン	VT－2	1.55	1.55	VT－2				○			－			－	（SA-26）
		換気空調装置系統															
C7.30 C7.70	C-H	アニュラス空気浄化ライン	VT－2	0.01	0.01	VT－2						○	－			－	（SA-27）
C7.30	C-H	中央制御室換気空調設備入口ライン	VT－2	-0.00392	－	(*1)						○ (*2)	－	○ (*2)	○ (*2)	－	（SA-56）
		中央制御室換気空調設備出口ライン	VT－2	0.00392	－	(*1)						○ (*2)	－	○ (*2)	○ (*2)	－	（SA-57）

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
(*1)技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」により外観点検を実施
(*2)分割して外観点検を実施

重大事故等クラス２機器供用期間中検査計画

９．クラス２機器漏えい検査（４／４）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1-2008※1				高浜発電所第４号機検査計画（10ヵ年）												備考（漏えい区分）
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	ＳＡ使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	－	第24保全サイクル	第25保全サイクル	－	
		原子炉補機冷却水系統															
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A、B、C-原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	VT－2	0.98	0.98	VT－2							－		○	－	（SA-42）
		原子炉補機冷却水ポンプ出口A供給ライン	VT－2	0.98	0.98	VT－2							－	○		－	（SA-43）
		原子炉補機冷却水ポンプ出口B供給ライン	VT－2	0.98	0.98	VT－2							－		○	－	（SA-44）
C7.30 C7.70	C-H	B-充てん／高圧注入ポンプ自己冷却ライン（原子炉補機冷却水側）	VT－2	0.98	0.98	VT－2						○	－			－	（SA-45）
		空気系統															
C7.30 C7.70	C-H	制御用空気加圧器逃がし弁用供給ライン（1）	VT－2	0.98	0.98	VT－2						○	－			－	（SA-53）
		制御用空気加圧器逃がし弁用供給ライン（2）	VT－2	0.98	0.98	VT－2						○	－			－	（SA-54）
		アニュラスダンパ作動用窒素供給ライン	VT－2	0.83	0.83	VT－2				○			－			－	（SA-55）
		補助給水系統															
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	燃料取替用水タンク補給用移送ポンプ出口ライン	VT－2	0.98	0.98	VT－2				○			－			－	（SA-40）

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格　JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス２機器供用期間中検査計画

１０．原子炉補機冷却水冷却器胴側（１／１）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1－2008※1					高浜発電所第４号機検査計画（10ヵ年）													備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
								第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	－	第24保全サイクル	第25保全サイクル	－	
C1.10	C-A	胴側胴と胴側フランジとの周溶接継手	体　積	１基の7.5%	４	ＵＴ	１基の7.5%							－	A ７．５%		－	対象はＡ、Ｂ原子炉補機冷却水冷却器
		胴側胴の周溶接継手	体　積	１基の7.5%	４	ＵＴ	１基の7.5%						A ７．５%	－			－	対象はＡ、Ｂ原子炉補機冷却水冷却器
C3.10	C-C	胴と当板との溶接継手	表　面	１基の7.5%	４	ＰＴ	１基の7.5% １					Ａ１		－			－	対象はＡ、Ｂ原子炉補機冷却水冷却器
F1.43	F-A	支持脚	ＶＴ－３	１基の7.5%	４	ＶＴ－３	１基の7.5% １					Ａ１		－			－	対象はＡ、Ｂ原子炉補機冷却水冷却器

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格　JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス２機器供用期間中検査計画

１１．クラス２機器漏えい検査（１／２）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1-2008※1				高浜発電所第４号機検査計画（10ヵ年）													備考（漏えい区分）
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	ＳＡ使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	－	第24保全サイクル	第25保全サイクル	－	
		主給水系統															
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	A－蒸気発生器給水入口ライン	VT－2	8	8	VT－2						○	－			－	（SA-28）
		B－蒸気発生器給水入口ライン	VT－2	8	8	VT－2							－	○		－	（SA-29）
		C－蒸気発生器給水入口ライン	VT－2	8	8	VT－2							－		○	－	（SA-30）
		主蒸気系統															
C7.30 C7.70	C-H	A－蒸気発生器出口ライン	VT－2	8	8	VT－2						○	－			－	（SA-31）
		B－蒸気発生器出口ライン	VT－2	8	8	VT－2							－	○		－	（SA-32）
		C－蒸気発生器出口ライン	VT－2	8	8	VT－2							－		○	－	（SA-33）
		補助給水系統															
C7.30 C7.70	C-H	タービン動補助給水ポンプ蒸気ライン	VT－2	8	8	VT－2							－	○		－	（SA-34）
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	タービン動補助給水ポンプ・燃料取替用水タンク補給用移送ポンプ入口ライン	VT－2	大気圧	水張り	VT－2							－		○	－	（SA-35）
	C-H	タービン動補助給水ポンプ出口ライン	VT－2	12.3	12.3	VT－2							－		○	－	（SA-36）
	C-H	電動補助給水ポンプ入口ライン	VT－2	大気圧	水張り	VT－2							－		○	－	（SA-37）
	C-H	電動補助給水ポンプ出口ライン	VT－2	12.3	12.3	VT－2							－		○	－	（SA-38）
C7.30 C7.70	C-H	補助給水ポンプ出口ライン	VT－2	8.6	8.6	VT－2							－		○	－	（SA-39）
		2次系補助給水系統															
C7.30 C7.70	C-H	復水タンク給水ライン	VT－2	1.55	1.55	VT－2						○	－			－	（SA-41）

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格　JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス２機器供用期間中検査計画

１１．クラス２機器漏えい検査（２／２）

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1-2008※1				高浜発電所第４号機検査計画（10ヵ年）													備考（漏えい区分）
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	ＳＡ使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	－	第24保全サイクル	第25保全サイクル	－	
		原子炉補機冷却海水系統															
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-海水ポンプ出口ライン（海水ストレーナ入口）	VT－2	0.7	0.7	VT－2							－	○		－	（SA-46）
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	A-海水ポンプ出口ライン（A原子炉補機冷却水冷却器海水出入口ライン）	VT－2	1.2	1.2	VT－2							－	○		－	（SA-47）
		A-海水ポンプ出口ライン（B原子炉補機冷却水冷却器海水出入口ライン）	VT－2	0.7	0.7	VT－2							－	○		－	（SA-48）
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	B-海水ポンプ出口ライン	VT－2	0.7	0.7	VT－2						○	－			－	（SA-49）
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	C-海水ポンプ出口ライン	VT－2	0.7	0.7	VT－2						○	－			－	（SA-50）
C7.30 C7.70	C-H	A,B原子炉補機冷却水冷却器海水出口ライン	VT－2	0.7	0.7	VT－2							－	○		－	（SA-51）
		C,D原子炉補機冷却水冷却器海水出口ライン	VT－2	0.7	0.7	VT－2						○	－			－	（SA-52）

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス２機器供用期間中検査計画（原子炉格納容器供用期間中検査範囲）

1．原子炉格納容器（1／1）

発電用原子力設備規格　維持規格(2008年版) JSME S NA1－2008※1					高浜発電所第4号機検査計画（10ヵ年）												備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
								第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	－	第24保全サイクル	第25保全サイクル	－	
E8.10	E-G	機器搬入口用ボルト締め付け部	VT-4	25%	72	VT-4	25% 18					18		－			－	

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年6月5日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格JSMESNA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス３機器供用期間中検査計画

１．クラス３機器漏えい検査

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1-2008※1				高浜発電所第４号機検査計画（10ヵ年）												備考（漏えい区分）
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	ＳＡ使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	－	第24保全サイクル	第25保全サイクル	－	
		原子炉補機冷却水系統															
D2.30	D-B	可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ出入口ライン	VT－2	0.33	0.33	VT－2							－	○		－	（SA3－1）
D2.10	D-B	原子炉補機冷却水サージタンク加圧用窒素ボンベ	VT－2	14.7	14.7	VT－2							－	○		－	（SA3－2）
D2.30	D-B	原子炉補機冷却水サージタンク加圧用窒素供給ライン	VT－2	17.16	17.16	VT－2							－	○		－	（SA3－3）
D2.30	D-B	Ａ－ガスサンプル冷却水屋外排水ライン	VT－2	大気圧	水張り	VT－2							－	○		－	（SA3－4）
		制御用空気系統															
D2.10	D-B	アニュラスダンパ作動用窒素ボンベ	VT－2	14.7	14.7	VT－2							－		○	－	（SA3－5）
D2.30	D-B	アニュラスダンパ作動用窒素供給ライン	VT－2	0.83	0.83	VT－2							－		○	－	（SA3－6）
		試料採取系統															
D2.30	D-B	可搬型格納容器ガス試料圧縮装置及び可搬型格納容器水素濃度計測装置供給ライン	VT－2	0.5	0.5	VT－2							－		○	－	（SA3－7）

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
1．クラス3機器漏えい検査

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1-2008　※１				高　浜　発　電　所　第　４　号　機　検　査　計　画（10ヵ年）												備　考 （漏えい区分）
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	ＳＡ使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル		第24保全サイクル	第25保全サイクル		
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT－２	1.2	1.2	VT－２							○				T250-5-33
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT－２	1.2	1.2	VT－２							○				T250-5-34
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT－２	1.2	1.2	VT－２								○			T250-5-35
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT－２	1.2	1.2	VT－２								○			T250-5-37
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT－２	1.2	1.2	VT－２										○	T250-5-38
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT－２	1.2	1.2	VT－２										○	T250-5-40
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT－２	1.2	1.2	VT－２										○	T250-10-10
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT－２	1.2	1.2	VT－２										○	T250-10-11
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT－２	1.2	1.2	VT－２										○	T250-10-12
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT－２	1.2	1.2	VT－２										○	T250-10-14
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT－２	1.2	1.2	VT－２									○		T250-10-21
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT－２	1.2	1.2	VT－２									○		T250-10-22
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT－２	1.2	1.2	VT－２									○		T250-10-23
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT－２	1.2	1.2	VT－２									○		T250-10-24
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT－２	1.2	1.2	VT－２									○		T250-10-25
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT－２	1.2	1.2	VT－２									○		T250-10-26
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT－２	1.2	1.2	VT－２									○		T250-10-45
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT－２	1.2	1.2	VT－２									○		T250-10-46
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT－２	1.2	1.2	VT－２								○			T250-10-47
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT－２	1.2	1.2	VT－２								○			T250-10-48
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT－２	1.2	1.2	VT－２								○			T250-10-49
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT－２	1.2	1.2	VT－２								○			T250-10-50
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT－２	1.2	1.2	VT－２								○			T250-10-51
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT－２	1.2	1.2	VT－２								○		○	T250-10-52
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT－２	1.2	1.2	VT－２										○	T250-50-1
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT－２	1.2	1.2	VT－２										○	T250-50-2
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT－２	1.2	1.2	VT－２							○				T250-50-3
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT－２	1.2	1.2	VT－２							○				T250-50-4
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT－２	1.2	1.2	VT－２							○				T250-50-5
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT－２	1.2	1.2	VT－２							○				T250-50-6
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT－２	1.2	1.2	VT－２							○				T250-50-7
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT－２	1.2	1.2	VT－２							○				T250-50-8

重大事故等クラス３機器供用期間中検査計画

１．クラス３機器漏えい検査

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1-2008　※１				高　浜　発　電　所　第　４　号　機　検　査　計　画（10ヵ年）												備　考 （漏えい区分）
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	ＳＡ使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル		第24保全サイクル	第25保全サイクル		
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT－２	1.2	1.2	VT－２								○			T250-50-9
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT－２	1.2	1.2	VT－２								○			T250-50-26
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT－２	1.2	1.2	VT－２								○			T250-50-27
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT－２	1.2	1.2	VT－２								○			T250-50-30
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT－２	1.2	1.2	VT－２										○	T250-50-31
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT－２	1.2	1.2	VT－２										○	T250-50-32
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT－２	1.2	1.2	VT－２									○		T250-50-37
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT－２	1.2	1.2	VT－２									○		T250-50-39
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT－２	1.2	1.2	VT－２							○				T250-50-40
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT－２	1.2	1.2	VT－２							○				T250-50-41

※１：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、亀裂解釈NRA文書改正の施行（令和元年６月５日）後は、維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画

1．クラス3機器漏えい検査

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1-2008　※１				高　浜　発　電　所　第　４　号　機　検　査　計　画（10ヵ年）													備　考 （漏えい区分）
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	ＳＡ使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル		第24保全サイクル	第25保全サイクル		
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２									○		P-1
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２									○		P-2
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２									○		P-3
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２									○		P-10
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２									○		P-11
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２								○			P-12
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２								○			P-21
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２								○			P-22
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２								○			P-23
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２								○			P-24
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-25
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-26
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-27
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-28
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-68
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-69
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-13
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-30
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-31
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-32
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-33
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-34
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-35
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-37
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-38
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-39
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.33	1.33	VT－２										○	P-54
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-63
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-70
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.33	1.33	VT－２										○	P-75
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-112
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-113
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-114
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-115

重大事故等クラス３機器供用期間中検査計画

１．クラス３機器漏えい検査

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1-2008　※１				高浜発電所第４号機検査計画（10ヵ年）												備考（漏えい区分）
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	ＳＡ使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル		第24保全サイクル	第25保全サイクル		
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-116
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-117
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-118
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-119
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-120
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-121
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-122
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-123
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.33	1.33	VT－２										○	P-124
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.33	1.33	VT－２										○	P-125
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.33	1.33	VT－２										○	P-126
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.33	1.33	VT－２										○	P-127
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-137
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-138
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-139
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-140
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-141
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-142
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-143
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-144
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-145
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-146
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-147
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-148
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-149
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-150
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-151
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-152
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-153
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-154
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-155
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-156
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-157
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-158

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
1．クラス3機器漏えい検査

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1-2008　※１				高　浜　発　電　所　第　４　号　機　検　査　計　画（10ヵ年）													備　考 （漏えい区分）
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	ＳＡ使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル		第24保全サイクル	第25保全サイクル		
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-159
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-160
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-184
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT－２	1.4	1.4	VT－２										○	P-185
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２									○		P-1　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２									○		P-2　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２									○		P-3　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２									○		P-10　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２									○		P-11　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２								○			P-12　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２								○			P-21　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２								○			P-22　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２								○			P-23　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２								○			P-24　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-25　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-26　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-27　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-28　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-68　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-69　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-13　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-30　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-31　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-32　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-33　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-34　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-35　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-37　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-38　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-39　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-54　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-63　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-70　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-75　※当該設備の燃料油にて実施。

重大事故等クラス３機器供用期間中検査計画

１．クラス３機器漏えい検査

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1-2008　※１				高　浜　発　電　所　第　４　号　機　検　査　計　画（10ヵ年）													備　考 （漏えい区分）
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	ＳＡ使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル		第24保全サイクル	第25保全サイクル		
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-112　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-113　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-114　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-115　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-116　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-117　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-118　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-119　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-120　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-121　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-122　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-123　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-124　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-125　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-126　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-127　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-137　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-138　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-139　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-140　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-141　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-142　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-143　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-144　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-145　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-146　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-147　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-148　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-149　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-150　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-151　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-152　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-153　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-154　※当該設備の燃料油にて実施。

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
1．クラス3機器漏えい検査

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1-2008　※１				高　浜　発　電　所　第　４　号　機　検　査　計　画（10ヵ年）													備　考 （漏えい区分）
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	ＳＡ使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル		第24保全サイクル	第25保全サイクル		
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-155　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-156　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-157　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-158　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-159　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-160　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-184　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	P-185　※当該設備の燃料油にて実施。
D2.30	D-B	消防ポンプ吸水用10mホース	VT－２	大気圧	水張り	VT－２									○		S-114
D2.30	D-B	消防ポンプ吸水用10mホース	VT－２	大気圧	水張り	VT－２									○		S-115
D2.30	D-B	消防ポンプ吸水用10mホース	VT－２	大気圧	水張り	VT－２									○		S-116
D2.30	D-B	消防ポンプ吸水用10mホース	VT－２	大気圧	水張り	VT－２									○		S-117
D2.30	D-B	消防ポンプ吸水用10mホース	VT－２	大気圧	水張り	VT－２								○			S-118
D2.30	D-B	消防ポンプ吸水用10mホース	VT－２	大気圧	水張り	VT－２								○			S-119
D2.30	D-B	消防ポンプ吸水用10mホース	VT－２	大気圧	水張り	VT－２								○			S-120
D2.30	D-B	消防ポンプ吸水用10mホース	VT－２	大気圧	水張り	VT－２								○			S-121
D2.30	D-B	消防ポンプ吸水用10mホース	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	S-122
D2.30	D-B	消防ポンプ吸水用10mホース	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	S-123
D2.30	D-B	消防ポンプ吸水用10mホース	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	S-124
D2.30	D-B	消防ポンプ吸水用10mホース	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	S-125
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1452
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1453
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1454
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1455
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1456
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1457
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1458
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1459
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1460
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1461
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1462
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1463
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1464
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1465

重大事故等クラス３機器供用期間中検査計画

１．クラス３機器漏えい検査

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1-2008　※１				高　浜　発　電　所　第　４　号　機　検　査　計　画（10ヵ年）												備　考 （漏えい区分）
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	ＳＡ使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル		第24保全サイクル	第25保全サイクル		
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1466
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1467
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1468
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1469
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1470
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1471
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1472
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1473
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1474
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1475
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1476
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1477
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1478
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1479
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1480
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1481
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1482
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1483
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1484
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1485
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1486
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1487
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1488
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1489
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1490
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1491
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1492
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1493
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1494
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1495
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1496
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1497
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1498
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1499

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
1．クラス3機器漏えい検査

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1-2008　※１				高　浜　発　電　所　第　４　号　機　検　査　計　画（10ヵ年）													備　考 （漏えい区分）
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	ＳＡ使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル		第24保全サイクル	第25保全サイクル		
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1500
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1501
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1502
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1503
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1504
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1505
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1506
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1507
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1509
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1510
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1511
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1512
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1514
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1515
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1516
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1517
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1518
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1519
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1520
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1521
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1522
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1523
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1524
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1525
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1526
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1527
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1528
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1529
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1530
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1531
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1532
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1533
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1534
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1535

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
1．クラス3機器漏えい検査

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1-2008　※１				高　浜　発　電　所　第　４　号　機　検　査　計　画（10ヵ年）													備　考 （漏えい区分）
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	ＳＡ使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル		第24保全サイクル	第25保全サイクル		
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1536
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1537
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1538
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1539
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1540
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1541
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1542
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1543
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1544
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1545
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1546
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1547
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1548
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1549
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1550
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1551
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1552
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		H65-1553
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1554
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1555
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1558
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1559
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1560
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1561
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1562
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1563
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1564
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1565
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1566
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1567
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1568
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1569
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1570
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1571

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
1．クラス3機器漏えい検査

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1-2008　※１				高　浜　発　電　所　第　４　号　機　検　査　計　画（10ヵ年）												備　考 （漏えい区分）
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	ＳＡ使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル		第24保全サイクル	第25保全サイクル		
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1572
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1573
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1574
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1575
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1576
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1577
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1578
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1579
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1580
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1581
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1582
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1583
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1584
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1585
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1586
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1587
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1588
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1589
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1590
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1591
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1592
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1593
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1594
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1595
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1596
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1597
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1598
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1599
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1600
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1601
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1602
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1603
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1604
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1605

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
1．クラス3機器漏えい検査

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1-2008　※１				高　浜　発　電　所　第　４　号　機　検　査　計　画（10ヵ年）													備　考 （漏えい区分）
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	ＳＡ使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル		第24保全サイクル	第25保全サイクル		
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1606
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1607
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1608
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1609
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1610
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1611
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1612
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1613
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1614
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1615
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1616
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1617
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1618
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1619
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1620
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1621
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1622
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1623
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1624
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1625
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1626
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1627
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1628
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1629
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1630
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1631
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1632
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1633
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1634
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1635
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1636
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1637
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1638
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1639

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
1．クラス3機器漏えい検査

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1-2008　※１				高　浜　発　電　所　第　４　号　機　検　査　計　画（10ヵ年）													備　考 （漏えい区分）
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	ＳＡ使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル		第24保全サイクル	第25保全サイクル		
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1640
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1641
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1642
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1643
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1644
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1645
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1646
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1647
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1648
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1649
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1650
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1651
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1652
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1653
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1654
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２								○			H65-1655
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1656
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1657
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1658
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1659
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1660
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1661
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1662
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1663
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1664
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1665
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1666
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1667
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1668
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1669
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1670
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1671
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1672
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1673

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
1．クラス3機器漏えい検査

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1-2008　※１				高　浜　発　電　所　第　４　号　機　検　査　計　画（10ヵ年）													備　考 （漏えい区分）
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	ＳＡ使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル		第24保全サイクル	第25保全サイクル		
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1674
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1675
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1676
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1677
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1678
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1679
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1680
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1681
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1682
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1683
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1684
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1685
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1686
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1687
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1688
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1689
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1690
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1691
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1692
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1693
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1694
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1695
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1696
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1697
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1698
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1699
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1700
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1701
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1702
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1703
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1704
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1705
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1706
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1707

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
1．クラス3機器漏えい検査

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1-2008　※１				高　浜　発　電　所　第　４　号　機　検　査　計　画（10ヵ年）													備　考 （漏えい区分）
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	ＳＡ使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル		第24保全サイクル	第25保全サイクル		
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1708
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1709
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1710
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1711
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1712
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1713
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1714
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1715
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1716
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1717
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1718
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1719
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1720
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1721
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1722
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1723
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1724
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1725
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1726
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1727
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1728
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1729
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1730
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1731
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1732
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1733
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1734
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1735
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1736
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1737
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1738
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1739
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1740
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1741

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
1．クラス3機器漏えい検査

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1-2008　※１				高　浜　発　電　所　第　４　号　機　検　査　計　画（10ヵ年）													備　考（漏えい区分）
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	ＳＡ使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル		第24保全サイクル	第25保全サイクル		
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1742
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1743
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1744
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1745
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1746
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1747
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1748
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1749
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1750
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1751
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1752
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1753
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1754
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1755
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1756
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1757
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1758
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1759
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1760
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1761
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1762
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1763
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1764
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1765
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1766
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1767
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1768
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1769
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1770
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1771
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1772
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1773
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1774
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1775

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
1．クラス3機器漏えい検査

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1-2008　※１				高　浜　発　電　所　第　４　号　機　検　査　計　画（10ヵ年）													備　考 （漏えい区分）
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	ＳＡ使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル		第24保全サイクル	第25保全サイクル		
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1776
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1777
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1778
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1779
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1780
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1781
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1782
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1783
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1784
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1785
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1786
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1787
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1788
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1789
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1790
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1791
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1792
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1793
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1794
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1795
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1796
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1797
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1798
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1799
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1800
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1801
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1802
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1803
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1804
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1805
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1806
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1807
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1808
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1809

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
1．クラス3機器漏えい検査

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1-2008　※１				高　浜　発　電　所　第　４　号　機　検　査　計　画（10ヵ年）													備　考 （漏えい区分）
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	ＳＡ使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル		第24保全サイクル	第25保全サイクル		
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1810
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1811
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1812
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1813
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1814
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1815
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1816
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1817
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1818
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1819
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1820
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1821
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1822
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1823
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1824
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1825
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1826
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1827
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1828
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1829
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1830
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1831
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1832
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1833
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1834
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1835
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1836
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1837
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1838
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1839
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1840
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1841
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1842
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1843

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
1．クラス3機器漏えい検査

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1-2008　※１				高　浜　発　電　所　第　４　号　機　検　査　計　画（10ヵ年）													備　考 （漏えい区分）
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	ＳＡ使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル		第24保全サイクル	第25保全サイクル		
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1844
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1845
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1846
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1847
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1848
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1849
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1850
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1851
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1852
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1853
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1854
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1855
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1856
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1857
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1858
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1859
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1860
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1861
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1862
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1863
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1864
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1865
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1866
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1867
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1868
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1869
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1870
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1871
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1872
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1873
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1874
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1875
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1876
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1877

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
1．クラス3機器漏えい検査

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1-2008　※１				高　浜　発　電　所　第　４　号　機　検　査　計　画（10ヵ年）													備　考 （漏えい区分）
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	ＳＡ使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル		第24保全サイクル	第25保全サイクル		
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1878
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1879
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1880
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1881
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1882
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1883
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1884
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1885
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1886
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1887
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1888
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1889
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1890
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1891
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1892
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1893
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1894
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1895
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1896
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1897
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1898
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1899
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1900
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1901
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1902
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1903
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1904
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1905
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1906
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1907
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1908
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1909
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1910
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1911

重大事故等クラス３機器供用期間中検査計画

１．クラス３機器漏えい検査

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1-2008　※１				高浜発電所第４号機検査計画（10ヵ年）												備考（漏えい区分）
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	ＳＡ使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル		第24保全サイクル	第25保全サイクル		
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1912
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1913
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1914
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1915
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1916
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1917
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1918
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1919
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1920
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1921
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1922
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1923
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1924
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1925
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1926
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1927
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1928
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	H65-1929

※１：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、亀裂解釈NRA文書改正の施行（令和元年６月５日）後は、維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス３機器供用期間中検査計画

１．クラス３機器漏えい検査

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1-2008　※１				高浜発電所第４号機検査計画（10ヵ年）												備考（漏えい区分）
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	ＳＡ使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル		第24保全サイクル	第25保全サイクル		
D2.30	D-B	4A可搬式代替低圧注水ポンプ	VT－２	1.55	1.55	VT－２							○				
D2.30	D-B	4A可搬式代替低圧注水ポンプ～可搬式代替低圧注水ポンプ出口接	VT－２	1.55	1.55	VT－２							○				
D2.30	D-B	4A可搬式代替低圧注水ポンプ吸水用3mホース	VT－２	大気圧	水張り	VT－２							○				
D2.30	D-B	4B可搬式代替低圧注水ポンプ	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	
D2.30	D-B	4B可搬式代替低圧注水ポンプ～可搬式代替低圧注水ポンプ出口接	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	
D2.30	D-B	4B可搬式代替低圧注水ポンプ吸水用3mホース	VT－２	大気圧	水張り	VT－２										○	
D2.10	D-B	4A仮設組立式水槽	VT－２	大気圧	水張り	VT－２								○			
D2.10	D-B	4B仮設組立式水槽	VT－２	大気圧	水張り	VT－２								○			
D2.30	D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ送水用10mホース（フランジ継手付、フランジ継手なし）	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		T-100-10-6
D2.30	D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ送水用10mホース（フランジ継手付、フランジ継手なし）	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		T-100-10-7
D2.30	D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ送水用10mホース（フランジ継手付、フランジ継手なし）	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		T-100-10-8
D2.30	D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ送水用10mホース（フランジ継手付、フランジ継手なし）	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		T-100-10-9
D2.30	D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ送水用10mホース（フランジ継手付、フランジ継手なし）	VT－２	1.55	1.55	VT－２							○				T-100-10-10
D2.30	D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ送水用10mホース（フランジ継手付、フランジ継手なし）	VT－２	1.55	1.55	VT－２							○				T-100-10-11
D2.30	D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ送水用10mホース（フランジ継手付、フランジ継手なし）	VT－２	1.55	1.55	VT－２							○				T-100-10-12
D2.30	D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ送水用10mホース（フランジ継手付、フランジ継手なし）	VT－２	1.55	1.55	VT－２							○				T-100-10-13
D2.30	D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ送水用10mホース（フランジ継手付、フランジ継手なし）	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		T-100-10-19
D2.30	D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ送水用10mホース（フランジ継手付、フランジ継手なし）	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		T-100-10-20
D2.30	D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ送水用10mホース（フランジ継手付、フランジ継手なし）	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		T-100-10-21
D2.30	D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ送水用10mホース（フランジ継手付、フランジ継手なし）	VT－２	1.55	1.55	VT－２									○		T-100-10-22
D2.30	D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ送水用10mホース（フランジ継手付、フランジ継手なし）	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	T-100-10-23
D2.30	D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ送水用10mホース（フランジ継手付、フランジ継手なし）	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	T-100-10-24
D2.30	D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ送水用10mホース（フランジ継手付、フランジ継手なし）	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	T-100-10-25
D2.30	D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ送水用10mホース（フランジ継手付、フランジ継手なし）	VT－２	1.55	1.55	VT－２										○	T-100-10-26

※１：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年６月５日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年８月５日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、亀裂解釈NRA文書改正の施行（令和元年６月５日）後は、維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス３機器供用期間中検査計画

１．クラス３機器漏えい検査

発電用原子力設備規格　維持規格（２００８年版）　JSME S NA1-2008				高　浜　発　電　所　第　3　号　機　検　査　計　画（10ヵ年）												備　考 （漏えい区分）
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	ＳＡ使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	－	第24保全サイクル	－	第25保全サイクル	
		非常用電源															
D2.10	D-B	燃料タンク（4A電源車）	VT－2	大気圧	水張り	VT－2							－	○	－		
D2.10	D-B	燃料タンク（4B電源車）	VT－2	大気圧	水張り	VT－2							－	○	－		
D2.10	D-B	燃料タンク（4A電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用））	VT－2	大気圧	水張り	VT－2							－	○	－		
D2.10	D-B	燃料タンク（4B電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用））	VT－2	大気圧	水張り	VT－2							－	○	－		

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画

1. クラス3機器漏えい検査

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1−2008 (ID−2500) ※1				検査内容			高浜発電所第4号機 検査計画(10ヵ年)										備考 (漏えい区分)
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	SA使用時の圧力 (MPa)	検査圧力 (MPa)	検査方法	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	
							第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	−	第24保全サイクル	−	第25保全サイクル	
		制御用空気系統															
D2.10	D−B	4窒素ボンベ(加圧器逃がし弁作動用)(A系用)	VT−2	14.7	14.7	VT−2							−		−	○	(SA3−1)
D2.10	D−B	4窒素ボンベ(加圧器逃がし弁作動用)(A系用予備)	VT−2	14.7	14.7	VT−2							−		−	○	(SA3−2)
D2.10	D−B	4窒素ボンベ(加圧器逃がし弁作動用)(B系用)	VT−2	14.7	14.7	VT−2							−		−	○	(SA3−3)
D2.10	D−B	4窒素ボンベ(加圧器逃がし弁作動用)(B系用予備)	VT−2	14.7	14.7	VT−2							−		−	○	(SA3−4)
D2.30	D−B	4加圧器逃がし弁A系用窒素マニホールド	VT−2	17.16	17.16	VT−2							−	○	−		(SA3−5)
				0.98	0.98	VT−2							−	○	−		(SA3−6)
D2.30	D−B	4加圧器逃がし弁B系用窒素マニホールド	VT−2	17.16	17.16	VT−2							−	○	−		(SA3−7)
				0.98	0.98	VT−2							−	○	−		(SA3−8)
D2.30	D−B	4加圧器逃がし弁A系用窒素マニホールド(予備)	VT−2	17.16	17.16	VT−2							−	○	−		(SA3−9)
				0.98	0.98	VT−2							−	○	−		(SA3−10)
D2.30	D−B	4加圧器逃がし弁B系用窒素マニホールド(予備)	VT−2	17.16	17.16	VT−2							−	○	−		(SA3−11)
				0.98	0.98	VT−2							−	○	−		(SA3−12)
D2.30	D−B	4加圧器逃がし弁用制御用空気ライン窒素供給用 30m、8mホース(A系用30m)	VT−2	0.98	0.98	VT−2							−		−	○	(SA3−13)
D2.30	D−B	4加圧器逃がし弁用制御用空気ライン窒素供給用 30m、8mホース(B系用8m)	VT−2	0.98	0.98	VT−2							−		−	○	(SA3−14)
D2.30	D−B	4加圧器逃がし弁用制御用空気ライン窒素供給用 30m、8mホース(30m予備)	VT−2	0.98	0.98	VT−2							−		−	○	(SA3−15)
D2.30	D−B	4加圧器逃がし弁用制御用空気ライン空気供給用 20m、18m、12mホース(A系用12m)	VT−2	0.98	0.98	VT−2							−		−	○	(SA3−16)
D2.30	D−B	4加圧器逃がし弁用制御用空気ライン空気供給用 20m、18m、12mホース(B系用18m)	VT−2	0.98	0.98	VT−2							−		−	○	(SA3−17)
D2.30	D−B	4加圧器逃がし弁用制御用空気ライン空気供給用 20m、18m、12mホース(20m予備)	VT−2	0.98	0.98	VT−2							−		−	○	(SA3−18)

※1 NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、亀裂解釈NRA文書改正の施行(令和元年6月5日)後は、維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス３機器供用期間中検査計画（原子燃料課所掌分）

１．クラス３機器漏えい検査（１／１）

発電用原子力設備規格　維持規格（JSME）				高浜発電所第４号機検査計画（10ヵ年）													備考（漏えい区分）
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	ＳＡ使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	－	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル	
		SFPスプレイ系統															
D2.30	D-B	スプレイヘッダ（A）	VT－2	1．4	1．4	VT－2							－			○	SA3-1
D2.30	D-B	スプレイヘッダ（B）	VT－2	1．4	1．4	VT－2							－			○	SA3-2
D2.30	D-B	スプレイヘッダ（1～4u共用予備）	VT－2	1．4	1．4	VT－2							－			○	SA3-3

別図

定期事業者検査時の安全管理の計画

高浜発電所４号機　第２３回定期事業者検査時の安全管理の計画

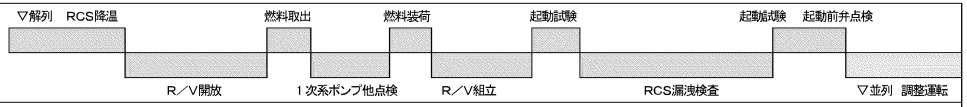
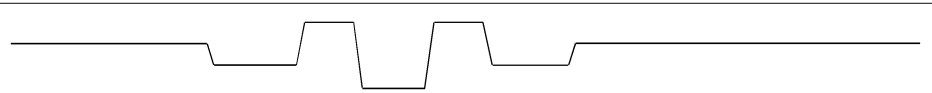
主要工程	▽解列　RCS降温	燃料取出	燃料装荷	起動試験	起動試験　起動前弁点検
	R／V開放	１次系ポンプ他点検	R／V組立	RCS漏洩検査	▽並列　調整運転

RCS 水位	キャビティ満水
	RCS 満水
	ミッドループ
	RCS 全ブロー



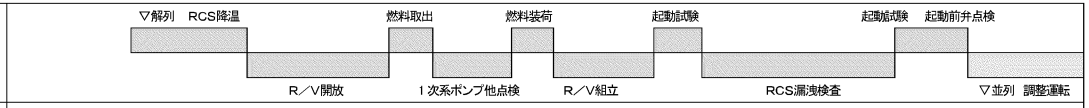
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3
未臨界維持機能	第20条 停止余裕	モード3、4	・停止余裕：1.8%Δk/k 以上	－	×	×										×		×	×
		モード5	・停止余裕：1.0%Δk/k 以上	－			×	×						×	×		×		
	第22条 減速材温度係数	モード3	・減速材温度係数：−78×10^{-5}Δk/k/℃以上	－	×														×
	第55条 ほう酸注入タンク	モード3	・ほう酸注入タンクほう素濃度：21000ppm 以上 ・ほう酸注入タンクほう酸水量（有効水量）：3.4m^3以上 ・ほう酸注入タンクほう酸水温度：65℃以上	・ほう酸注入タンク	×														×
	第81条 １次冷却材中のほう素濃度	モード6	・１次冷却材中のほう素濃度：2800ppm 以上	－					×	×		×	×						
放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	第50条 １次冷却材中のよう素131濃度	モード3（１次冷却材温度が 260℃以上）	・１次冷却材中のよう素131濃度：6.2×10^4Bq/cm^3以下	－	△														△
	第56条 原子炉格納容器	モード3、4	(1) 原子炉格納容器の機能が健全であること (2) 原子炉格納容器圧力：9.8kPa[gage]以下 (3) 原子炉格納容器エアロックが動作可能（原子炉格納容器エアロックのインターロック機構が健全であること、および原子炉格納容器エアロックが閉止可能（閉止状態であることを含む）であること。モード4の原子炉格納容器パージ後、直ちに閉止できることを条件に原子炉格納容器エアロックの両方のドアを開放する場合、適用しない。） (4) 原子炉格納容器隔離弁が動作可能（閉止可能（閉止状態であることを含む））	・原子炉格納容器 ・原子炉格納容器エアロック ・原子炉格納容器隔離弁	×	△										×		×	×
	第57条 原子炉格納容器真空逃がし系	モード3、4	・原子炉格納容器真空逃がし系：2系統動作可能（真空逃がし機能が確保されていること）	・原子炉格納容器真空逃がし弁	×	×										×		×	×
	第58条 原子炉格納容器スプレイ系	モード3、4	(1) 原子炉格納容器スプレイ系：2系統動作可能 (2) よう素除去薬品タンクの苛性ソーダ濃度および苛性ソーダ溶液量 ・苛性ソーダ濃度：30wt%以上 ・苛性ソーダ溶液量（有効水量）：11.7m^3以上 原子炉格納容器スプレイ系が動作不能時は、第85条（表85－4および表85－6）の運転上の制限も確認。	・原子炉格納容器スプレイ系 ・よう素除去薬品タンク	×	×										×		×	×
	第59条 アニュラス空気浄化系	モード3、4	・アニュラス空気浄化系：2系統動作可能（Aアニュラス空気浄化系動作不能時は、第85条（表85－11）の運転上の制限も確認）	・アニュラス空気浄化系	×	×										×		×	×
	第60条 アニュラス	モード3、4	・アニュラスの機能が健全であること（アニュラス内点検、原子炉格納容器エアロック点検、原子炉格納容器内点検等を行う場合、適用しない）	・アニュラス	△	△										△		△	△

高浜発電所４号機　第２３回定期事業者検査時の安全管理の計画

主要工程	
RCS 水位	

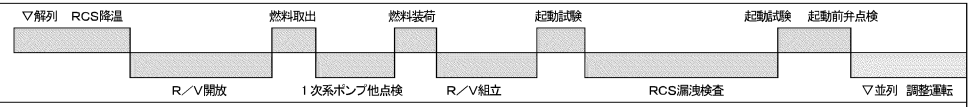
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3
	第71条 安全補機室空気浄化系	モード3、4	・安全補機室空気浄化系：2系統動作可能	・安全補機室空気浄化系	×	×												×	×
放射性物質放出の防止機能	第34条（表34－8） 燃料落下および燃料建屋空気浄化系計装	使用済燃料ピットでの照射済燃料移動中	・燃料建屋空気浄化系作動論理回路：2系統 ・手動起動：1チャンネル ・燃料落下検知：2チャンネル （照射終了後、所定の期間を経過した照射済燃料を取り扱う場合は除外）	・燃料落下および燃料建屋空気浄化系計装 ・左記信号検出、伝送ライン	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	第72条 燃料取扱建屋空気浄化系	使用済燃料ピットでの照射済燃料移動中	・燃料取扱建屋空気浄化系：2系統動作可能（照射終了後の所定期間を経過した照射済燃料を取り扱う場合は適用しない）	・燃料取扱建屋空気浄化系	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	第82条 原子炉キャビティ水位	モード6（キャビティ高水位）	・原子炉キャビティ水位：EL31.4m以上（原子炉格納容器内での燃料移動中以外の期間において、計画的な原子炉キャビティ水抜きによりモード6（低水位）に移行する場合、運転上の制限を適用しない）	・1次冷却材系統						△		△							
	第83条の2 原子炉格納容器貫通部	モード5、6	(1) 機器ハッチが全ボルトで閉じられていること （原子炉格納容器内で燃料移動を行っていない場合、速やかに閉止できることを条件に以下のいずれかを満足する場合に開放することを許容する。この場合、運転上の制限を満足していないとはみなさない。 ・1 次冷却材ポンプ停止中で余熱除去系統による冷却時、加圧器安全弁が健全であることおよび加圧器水位が10～30%である場合 ・原子炉キャビティ水位がEL31.4m以上である場合） (2) 各エアロックが1つ以上のドアで閉止可能（閉止状態であることを含む） (3) その他の貫通部のうち、隔離弁については閉止可能であること（閉止状態であることを含む）、隔離弁以外については閉止フランジまたは同等なものによって閉じられていること（原子炉格納容器内で燃料移動を行っていない場合は、速やかに閉止できることを条件に開放することが許容される。この場合、運転上の制限を満足していないとはみなさない）	・原子炉格納容器機器ハッチ ・原子炉格納容器エアロック ・原子炉格納容器隔離弁 ・原子炉格納容器貫通部			△	△	△	△		△	△	△	△					
	第84条 使用済燃料ピットの水位および水温	全モード	・使用済燃料ピット水位：EL31.4m以上（照射済燃料の移動を行っていない場合は適用しない）	・使用済燃料ピット	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
			・使用済燃料ピット水温：65℃以下	・使用済燃料ピット冷却系	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
原子炉停止後の除熱機能	第37条 1次冷却系	モード3	(1) 制御棒の引抜き操作が行える状態である場合は、蒸気発生器による熱除去系2系統以上が運転中 (2) 制御棒の引抜き操作が行える状態でない場合は、蒸気発生器による熱除去系2系統以上が動作可能であり、そのうち 1 系統以上が運転中 蒸気発生器による熱除去系が動作不能時は、第85条（表85－8）の運転上の制限も確認	・蒸気発生器 ・1次冷却材系統 ・1 次冷却材ポンプ	×														×

高浜発電所４号機　第２３回定期事業者検査時の安全管理の計画

主要工程	
RCS 水位	キャビティ満水 RCS 満水 ミッドループ RCS 全ブロー

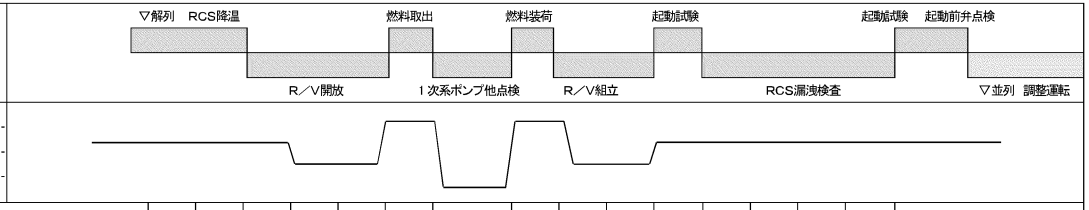
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3	
	第38条 １次冷却系	モード4	・余熱除去系または蒸気発生器による熱除去系のうち、2系統以上が動作可能であり、そのうち１系統以上が運転中 余熱除去系が動作不能時は、第85条（表85－4）の運転上の制限も確認 蒸気発生器による熱除去系が動作不能時は、第85条（表85－8）の運転上の制限も確認	・余熱除去系統 ・蒸気発生器 ・１次冷却材系統 ・１次冷却材ポンプ		×										×		×		
	第39条 １次冷却系	モード5－1 （１次冷却系満水）	(1) 余熱除去系1系統が運転中※ (2) 他の余熱除去系が動作可能または運転中であるか、2基以上の蒸気発生器の水位（狭域）が計器スパンの 5%以上であること※ ※：計画的にモード4に加熱する場合は、蒸気発生器1基以上の水位（狭域）が計器スパンの 5%以上であることを条件に全ての余熱除去系を隔離することを許容 余熱除去系が動作不能時は、第85条（表85－4）の運転上の制限も確認	・余熱除去系統 ・蒸気発生器 ・１次冷却材系統			×								×		×		×	
	第40条 １次冷却系	モード5－2 （１次冷却系非満水）	余熱除去系2系統が動作可能であり、そのうち１系統以上が運転中 ・１次冷却材ポンプによる１次冷却系空気抜きを行う場合は2時間に限り全ての余熱除去系を隔離することを許容 ・ポンプの切替を行う場合は、a,b,c の全てを満足させることを条件に15分に限り全ての余熱除去ポンプを停止することを許容 a. 炉心出口温度が飽和温度より 5.6℃以上下回るように維持されていること b. １次冷却材中のほう素濃度が低下する操作が行われていないこと c. １次冷却系水量低下につながる操作が行われていないこと 余熱除去系が動作不能時は、第85条（表85－4）の運転上の制限も確認	・余熱除去系統 ・１次冷却材系統				×						×						
	第41条 １次冷却系	モード6－2 （キャビティ高水位）	(1) 余熱除去系1系統以上が運転中（１次冷却材中のほう素濃度を低下させる操作を行わないことを条件に、8時間あたり1時間に限り、余熱除去ポンプを停止することを許容） (2) １次冷却材温度：65℃以下 余熱除去系が動作不能時は、第85条（表85－4）の運転上の制限も確認	・余熱除去系統 ・１次冷却材系統						×			×							
	第42条 １次冷却系	モード6－1 （キャビティ低水位）	(1) 余熱除去系2系統が動作可能であり、そのうち１系統以上運転中（キャビティ水張りおよび水抜きを行っている場合は、余	・余熱除去系統 ・１次冷却材系統					×				×							

高浜発電所４号機　第２３回定期事業者検査時の安全管理の計画

主要工程	
RCS 水位	キャビティ満水 RCS 満水 ミッドループ RCS 全ブロー

項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3
			熱除去系への切替操作が可能であること、および他の１系統が運転中であることを条件に1系統を隔離することを許容） (2)　１次冷却材温度:65℃以下 余熱除去系が動作不能時は、第85条（表85－4）の運転上の制限も確認																
	第61条 主蒸気安全弁	モード3（原子炉起動時のモード3から主蒸気安全弁機能検査完了までを除く）	・主蒸気安全弁が蒸気発生器毎に下記の個数以上動作可能 原子炉熱出力25%以下:　2個	・主蒸気安全弁	×														△
	第62条 主蒸気隔離弁	モード3	・主蒸気隔離弁が閉止可能（閉止状態にある場合は、適用しない）	・主蒸気隔離弁	△														△
	第63条 主給水隔離弁、主給水制御弁および主給水バイパス制御弁	モード3	・主給水隔離弁、主給水制御弁および主給水バイパス制御弁が閉止可能（閉止または手動弁で隔離された状態にある場合は、適用しない）	・主給水隔離弁 ・主給水制御弁 ・主給水バイパス制御弁	△														△
	第64条 主蒸気逃がし弁	モード3、4（蒸気発生器が熱除去のために使用されている場合）	・主蒸気逃がし弁：手動での開弁ができること 主蒸気逃がし弁が動作不能時は、第85条（表85－9）の運転上の制限も確認	・主蒸気逃がし弁	×	△										△		△	×
	第65条 補助給水系	モード3	・電動補助給水ポンプによる2系統およびタービン動補助給水ポンプによる1系統が動作可能（タービン動補助給水ポンプについては原子炉起動時のモード3において試運転に係る調整を行っている場合は適用しない） 補助給水系が動作不能時は、第85条（表85－8）の運転上の制限も確認	・補助給水系 ・電動補助給水ポンプ ・タービン動補助給水ポンプ	×														△
		モード4（蒸気発生器が熱除去のために使用されている場合）	・電動補助給水ポンプによる１系統以上が動作可能 補助給水系が動作不能時は、第85条（表85－8）の運転上の制限も確認	・補助給水系 ・電動補助給水ポンプ		△										△		△	
	第66条 復水タンク	モード3、4（蒸気発生器が熱除去のために使用されている場合）	・復水タンク水量（有効水量）:520m³以上 復水タンク水量（有効水量）を確認する場合は、第85条（表85－14）の運転上の制限も確認	・復水タンク	×	△										△		△	×

高浜発電所４号機　第２３回定期事業者検査時の安全管理の計画



項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3	
炉心冷却機能	第51条 蓄圧タンク	モード３（１次冷却材圧力が6.89MPa[gage]超） （原子炉起動時のモード３（１次冷却圧力が6.89MPa[gage]を超えた時点）から、全ての出口弁が全開となるまでの間は除く）	(1) ほう素濃度、ほう酸水量、圧力が制限値内 ・蓄圧タンクほう素濃度：2800ppm 以上 ・蓄圧タンクほう酸水量（有効水量）：29.0m^{3}以上 ・蓄圧タンク圧力：4.04MPa[gage]以上 (2) 蓄圧タンク出口弁全開 蓄圧タンクが運転上の制限を逸脱した場合は、第85条（表85－4）の運転上の制限も確認	・蓄圧タンク ・蓄圧タンク出口弁	△														△	
	第52条 非常用炉心冷却系	モード3	(1) 高圧注入系：2系統動作可能 (2) 低圧注入系：2系統動作可能 高圧注入系が動作不能時は、第85条（表85－3および表85－4）の運転上の制限も確認 低圧注入系動作不能時は、第85条（表85－4）の運転上の制限も確認	・高圧注入系 ・低圧注入系	×														×	
	第53条 非常用炉心冷却系	モード4	(1) 高圧注入系または充てん系：1系統以上動作可能 (2) 低圧注入系：１系統以上動作可能（余熱除去ポンプを用いて余熱除去運転を行っている場合は、低圧注入系への切替操作が可能であることを条件に、動作不能とはみなさない） 高圧注入系動作不能時は第85条（表85－3および表85－4）、充てん系および低圧注入系動作不能時は第85条（表85－4）の運転上の制限も確認	・高圧注入系 ・充てん系 ・低圧注入系		×											×		×		
	第54条 燃料取替用水タンク	モード3、4	・燃料取替用水タンクほう素濃度：2800ppm 以上 ・燃料取替用水タンクほう酸水量（有効水量）：1600m^{3}以上 燃料取替用水タンクが運転上の制限を逸脱した場合は、第85条（表85－14）の運転上の制限も確認	・燃料取替用水タンク	×	×											×		×	×	
原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	第36条 １次冷却材の温度・圧力および1次冷却材温度変化率	通常の１次冷却系の加熱・冷却時（原子炉起動、原子炉停止（異常時を除く）、１ 次冷却系の耐圧・漏えい検査および安全注入系逆止弁漏えい検査のための昇温、降温操作開始から終了まで）	・1次冷却材温度・圧力が原子炉容器の非延性破壊防止のための1次冷却材温度・圧力の制限範囲内 ・1次冷却材温度変化率（原子炉容器）：55℃/h 以下 ・1次冷却材温度変化率（加圧器）加熱率：55℃/h 以下 ・1次冷却材温度変化率（加圧器）冷却率：110℃/h 以下	・1次冷却材系統	×	×	×								×	×	×	×	×	
	第43条 加圧器	モード3	(1) 加圧器水位：計器スパンの 94%以下 (2) 所内非常用母線から受電している加圧器ヒータ：2系統動作可能	・加圧器 ・加圧器ヒータ	×														×	
	第44条 加圧器安全弁	モード３、４（１次冷却材温度130℃超）	・加圧器安全弁全てが動作可能 （3個のうち1個は 17.16MPa[gage]以下 他は 17.31MPa[gage]以下）	・加圧器安全弁	×	△										△		△	×	

高浜発電所４号機　第２３回定期事業者検査時の安全管理の計画

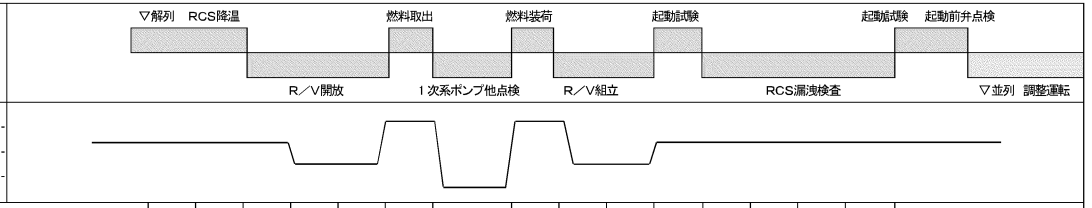
主要工程	▽解列　RCS降温	燃料取出	燃料装荷	起動試験	起動試験　起動前弁点検
	R／V開放	1次系ポンプ他点検	R／V組立	RCS漏洩検査	▽並列　調整運転

RCS 水位	キャビティ満水
	RCS 満水
	ミッドループ
	RCS 全ブロー



項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3
	第45条 加圧器逃がし弁	モード3	・加圧器逃がし弁全てが動作可能（動作不能時は、第85条（表85－3）の運転上の制限も確認） ・加圧器逃がし弁元弁全てが動作可能	・加圧器逃がし弁 ・加圧器逃がし弁元弁	×														×
	第46条 低温過加圧防護	モード4（1次冷却材温度 130℃以下。ただし加圧器逃がし弁が低圧設定になるまでの間を除く）、5、6（原子炉容器の蓋が閉められている場合）	(1)-1　2台の加圧器逃がし弁が低圧設定で動作可能であり、2台の加圧器逃がし弁元弁が開状態 　または (1)-2　1台以上の加圧器安全弁が取り外されていること および (2)　動作可能な充てん／高圧注入ポンプ 1 台以下（ポンプの切替を行う場合 15 分に限り、充てん／高圧注入ポンプを2台運転することを許容） および (3)　蓄圧タンク全基が隔離されていること（蓄圧タンク出口弁の開閉確認を行う場合、蓄圧タンク圧力が1次冷却材圧力以下であることを条件に、1基毎に隔離解除を許容）	・加圧器逃がし弁 ・加圧器逃がし弁元弁 ・加圧器安全弁 ・充てん／高圧注入ポンプ ・蓄圧タンク出口弁 ・蓄圧タンク		△	×	×	△				△	×	×	△	×	△	
	第47条 1次冷却材漏えい率	モード3、4	・原子炉格納容器サンプ水位計または凝縮液量測定装置によって測定される漏えい率のうち原子炉冷却材圧力バウンダリからの漏えいでないことが確認されていない漏えい率（未確認の漏えい率）：0.23m^3/h 以下 ・原子炉格納容器サンプ水位計または凝縮液量測定装置によって測定される漏えい率のうち原子炉冷却材圧力バウンダリからの漏えいでないことは確認されているが1次冷却系からの漏えいでないことが確認されていない漏えい率（原子炉冷却材圧力バウンダリ以外からの漏えい率）：2.3m^3/h 以下 ・原子炉格納容器サンプ水位計が動作可能	・1次冷却材系統 ・原子炉格納容器サンプ水位計 ・凝縮液量測定装置	×	×									×		×	×
	第48条 蒸気発生器細管漏えい監視	モード3、4	・蒸気発生器細管に漏えいがないこと ・蒸気発生器細管漏えい監視装置（蒸気発生器ブローダウン水モニタ）が動作可能（プラント状態により監視ができない場合、または洗浄中を除く）	・蒸気発生器細管 ・蒸気発生器ブローダウン水モニタ	×	×										×		×	×
	第49条 余熱除去系への漏えい監視	モード3、4（余熱除去系隔離弁が閉止している場合）	・1次冷却系から余熱除去系への漏えいがないこと（余熱除去系の逃がし弁が作動していないこと）	・余熱除去系隔離弁 ・余熱除去系の逃がし弁	×	△										△		△	×
工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能	第34条（表34－2） 原子炉保護系計装	モード3、4、5（原子炉トリップしゃ断器が閉し、制御棒の引き抜きが行える場合）	・原子炉保護系論理回路：2系統 ・手動原子炉トリップ：2チャンネル ・中性子源領域中性子束高：2チャンネル（「中間領域中性子束高」2チャンネルが動作可能であることを条件に、P－6リセット時においては、2チャンネルをバイパスすることを許容。「中性子源領域炉停止時中性子束高」の警報を設定する場合は、残りのチャンネルが動作可能であることを条件に、2時間に限り、1チャンネルをバイパスをすることを許容。）	・原子炉保護系計装 ・左記信号検出、伝送ライン	△	△	△	△						△	△	△	△	△	△

高浜発電所４号機　第２３回定期事業者検査時の安全管理の計画



項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3
		モード3、4、5（原子炉トリップしゃ断器が開放されている場合）	・中性子源領域中性子束高：1チャンネル（監視機能のみ）	・原子炉保護系計装 ・左記信号検出、伝送ライン	△	△	△	△						△	△	△	△	△	△
		モード6（原子炉格納容器内での燃料移動中でない場合）	・中性子源領域中性子束高：1チャンネル（監視機能のみ）	・原子炉保護系計装 ・左記信号検出、伝送ライン					△	△		△	△						
		モード6（原子炉格納容器内での燃料移動中の場合）	・中性子源領域中性子束高：2チャンネル（監視機能のみ）	・原子炉保護系計装 ・左記信号検出、伝送ライン						△		△							
	第34条（表34－3） 工学的安全施設等作動計装	モード3、4	（非常用炉心冷却系） ・非常用炉心冷却系作動論理回路：2系統※1 ・手動起動：2チャンネル （原子炉格納容器スプレイ系） ・原子炉格納容器スプレイ系作動論理回路：2系統※1 ・手動起動：4チャンネル （原子炉格納容器隔離A） ・原子炉格納容器隔離A作動論理回路：2系統※1 ・手動起動：2チャンネル ・非常用炉心冷却系作動　：上記非常用炉心冷却系を参照 （原子炉格納容器隔離B） ・原子炉格納容器隔離B作動論理回路：2系統※1 ・原子炉格納容器スプレイ手動起動：4チャンネル （原子炉格納容器隔離Aと非常用高圧母線低電圧信号による隔離） ・原子炉格納容器隔離Aと非常用高圧母線低電圧信号による隔離作動論理回路：2系統※1 ・原子炉格納容器隔離A：上記原子炉格納容器隔離A参照 ・非常用高圧母線低電圧：3チャンネル（1母線あたり） （原子炉格納容器換気空調隔離） ・原子炉格納容器換気空調隔離作動論理回路：2系統※1 ・原子炉格納容器スプレイ手動起動：4チャンネル ・原子炉格納容器隔離A手動起動：2チャンネル ・非常用炉心冷却系作動　：上記非常用炉心冷却系を参照 ※1：原子炉保護系論理回路の機能検査時において残り1系統が動作可能であることを条件に 2 時間に限り 1 系統バイパスすることを許容。（表34において同じ）	（工学的安全施設等作動計装） ・非常用炉心冷却系 ・原子炉格納容器スプレイ系 ・原子炉格納容器隔離A ・原子炉格納容器隔離B ・原子炉格納容器隔離Aと非常用高圧母線低電圧信号による隔離 ・原子炉格納容器換気空調隔離 ・左記信号検出、伝送ライン	×	×										×		×	×